Panasonic®

取扱説明書

SDカーナビステーション



品番 CN-AS300D



品番 CN-AS300WD



ご使用前に、「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をしてください

PC http://panasonic.jp/navi/

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。









AVCHD™









HDMI

Made for iPod iPhone

保証書別添付

安全上のご注意
はじめに
ナビゲーション
オーディオ
BLUETOOTH
その他
その他の機能
別売品
設定
困ったとき
必要なとき

直観的に操作できるインターフェース

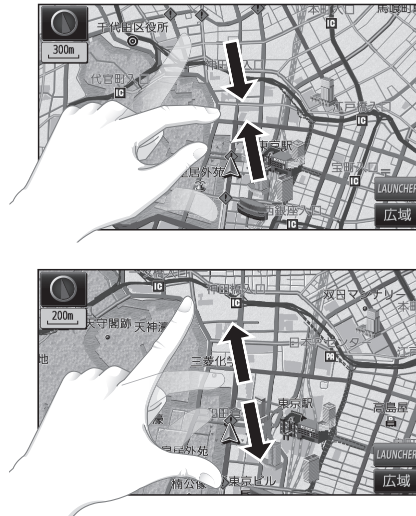
従来のタッチ操作に加え、ドラッグ（なぞる）、フリック（はらう）、ピンチイン（狭める）、ピンチアウト（広げる）の操作ができるようになりました。
画面の切り換えやスクロール操作などをより直観的に行うことができます。

- 詳しくは、P.13「タッチパネルの操作について」をご覧ください。

■ フリック / ドラッグ
メニュー画面の切り換え（P.22）や、スクロール操作ができます。（P.42、52）



■ ピンチイン / ピンチアウト
地図の縮尺切り換えができます。（P.43）



DSRC車載器対応

別売のDSRC車載器（CY-DSR140D）※を接続すると、DSRCからのVICS情報を受信できます。

- DSRC車載器の取扱説明書も併せてご覧ください。

※本機は電波・光ビーコンサービスに対応していません。サービスを受けるには、別売のVICSビーコンユニット（CY-TBX55D）との接続が必要です。

落下物情報



渋滞末尾情報



前方静止画像情報



専用アプリケーションでスマートフォンと連携

Drive P@ss（ドライブ パス）

スマートフォン用アプリケーション「Drive P@ss」を利用すると、スマートフォンが表示するニュースを本機で閲覧したり、スマートフォンに保存された音楽を本機で楽しむことができます。スマートフォンにインストールしたDrive P@ssのアプリケーションを本機の画面を通して操作できるので便利です。

- Drive P@ssを利用するには、別売のケーブルなどが必要です。
詳しくは、P.148「Drive P@ssを利用する（スマートフォン連携）」をご覧ください。
- 対応機種については、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/



おでかけナビサポート ここいこ♪

スマートフォン用アプリケーション「おでかけナビサポート ここいこ♪」を利用すると、スマートフォンで検索した地点情報をナビゲーションに送信し、目的地・経由地として利用できます。

- 詳しくは、P.146「おでかけナビサポート ここいこ♪（スマートフォン連携）」をご覧ください。





（例）
おすすめスポット
グルメスポット
最寄りの施設
観光スポット
など…

本書の読みかた

- 本書では、CN-AS300Dを例に説明しています。
- 機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。
  AS300 ：CN-AS300D
  AS300W ：CN-AS300WD
- タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。
  例） 行き先設定 案内開始 ：タッチキー
  AUDIO MENU 現在地 ：ナビゲーションユニットのボタン

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

(禁止)	してはいけない内容です。
(強制)	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

本機はDC12 V⊖アース車専用です
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付けや配線をするとき

警告

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品※を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの※を使用する
火災や発煙、発火、故障の原因となります。
※最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。


接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意



本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、モニターの開閉や角度調整の際にご注意ください。
けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

開いたモニターの上に物を置かない
液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

●エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

●接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

●電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

●先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。

●表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。

●車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光があたらないように、車のサンシェードなどをお使いください。

●低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。

●冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。

●高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。

●市販の液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。

●液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。
そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

●火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。

●本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

●本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。

●プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録ポイントの位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。

●番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。

●**次の場合、補償はできません。**

- **誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合**
- **誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合**

大切な情報(登録ポイントなど)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

●本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。

●**本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。**

地上デジタル放送の受信について

●受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。

●家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。

●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

●本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

●本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式※を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

※新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

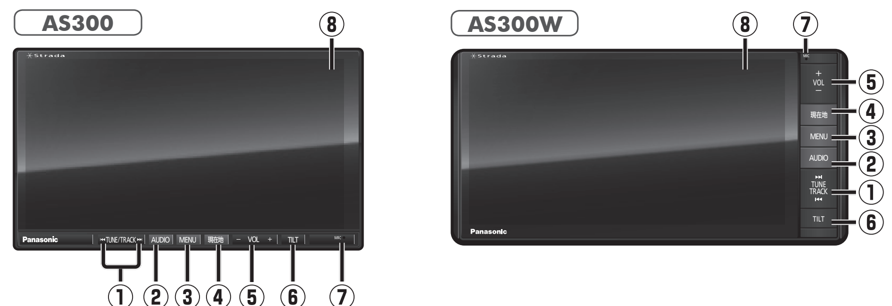
低温時の動作について

極端に寒いときは、起動しないことがあります。本機が低温状態になっているためで、故障ではありません。

●**内部の温度が上がると、自動的に起動しますので、しばらくお待ちください。**

●**オーディオに関する一部の情報や設定がお買い上げ時の状態に戻ります。**
(オーディオOFFにしたときのような状態になります。)

各部のなまえとはたらき



①	**TUNE/TRACK**（チューン トラック）	DVD CD MP3/WMA iPod MEMORY MUSIC for SD SD音楽再生 SD動画再生 Bluetooth® Audio USB-Audio Drive P@ss※1	●頭出し ●早送り・早戻し（押し続ける） ※1アプリによって動作しないものがあります。
		FM/AM	●選局する ●シーク選局（2秒以上押す）
		デジタルTV	●選局する ● ▶▶I おでかけ初期スキャン（1秒以上押す） ● I◀◀ おでかけ再スキャン（1秒以上押す）
②	**AUDIO**（オーディオ）	●オーディオ画面に切換 ●切換タッチキーを表示	
③	**MENU**（メニュー）	●ツートップメニューを表示 ●画質調整画面を表示（2秒以上押す）	
④	**現在地**	●自車位置（現在地）を表示	
⑤	**VOL**（ボリューム）	●オーディオ／ハンズフリーの音量を調整	
⑥	**TILT**（チルト）	●チルト／イジェクト画面の表示／消去 ●モニターを閉じる	
⑦	**MIC**（マイク）	●ハンズフリー通話時に使用	
⑧	**タッチパネル**	●タッチ操作時に使用	

＜モニター開＞

CN-AS300Dを例に説明しています。

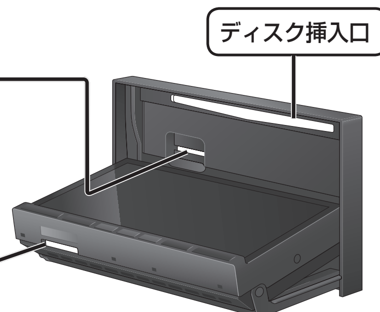
SDメモリーカード挿入口

●市販のSDメモリーカード（P.26）を挿入する。

地図SDHCメモリーカード挿入口

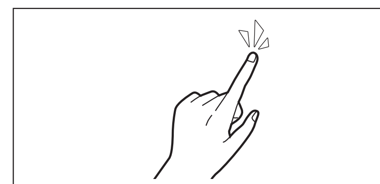
●地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入済みです。

●バージョンアップなど、必要なとき以外は取り出さないでください。



タッチパネルの操作について

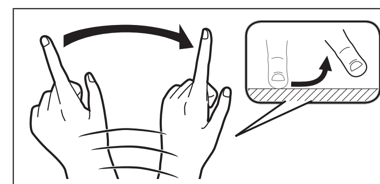
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

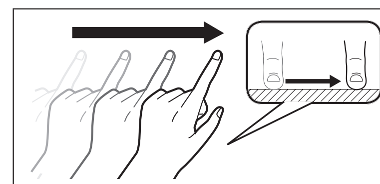
- 本書で「○○**を選ぶ**」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「**1秒以上タッチする**」「**タッチし続ける**」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

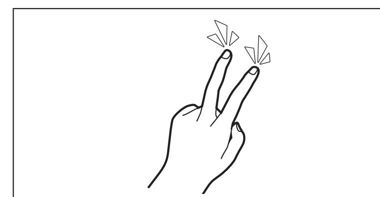
- **メニュー画面**をフリックした方向に切り換える。
- **リストの項目**をフリックした方向に移動させる。
- **地図画面**をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

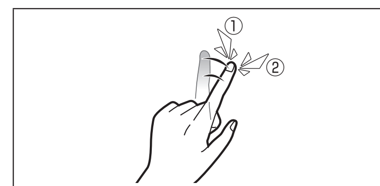
- **メニュー画面**をドラッグした方向に切り換える。
- **リストの項目**をドラッグした方向に移動させる。
- **地図画面**をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ（同時に2カ所をタッチ）

同時に2カ所をタッチする。

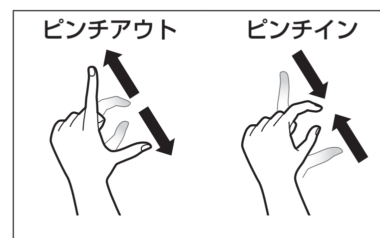
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ（連続して2回タッチ）

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる／狭めるようになぞる。

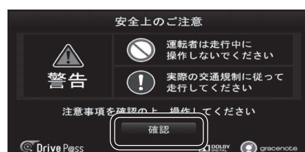
- **ピンチアウト（広げる）**
  地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
  ・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン（狭める）**
  地図の縮尺を「広域」に切り換える。

準備する（確認・調整）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）
- 本機の電源が入ります。
- パスワード認証画面が表示されたら→P.25

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、現在地を押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のDSRC車載器(CY-DSR140D)を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。

お知らせ
- 起動時に、エコドライブをすすめる音声案内が出力される場合があります。（P.75「eco運転アドバイス」）

電源を切るには

車のエンジンを止める（ACCをOFFにする）
- 本機の電源が切れます。

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSマーク（GPS）を確認する



- 時計が表示されます。
- 時計表示する/しないの設定→P.164

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する（60分以上）
- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ
- **GPSマークが表示されないときや、点滅が継続するときは、GPS情報(P.15)から受信状態を確認してください。**

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー(P.22)から情報を選ぶ

2 GPSを選ぶ



3 GPS情報を確認する



- 緯 度：現在位置の緯度を表示
- 経 度：現在位置の経度を表示
- 日 付：現在の日付を表示
- 時 間：現在時刻を表示
- ：受信状態を表示（点灯の数が多いほど受信状態が良好）

自車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

1 ツートップメニュー(P.22)から設定を選ぶ

2 各種設定を選ぶ

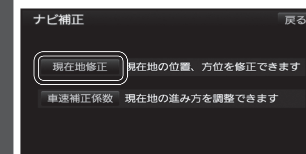
3 各種設定画面から その他を選ぶ

4 ナビ補正の 補正する を選ぶ

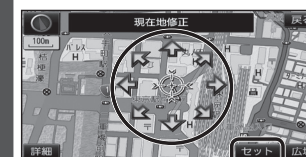


リストをスクロール

5 現在地修正を選ぶ



6 位置を調整し、セットを選ぶ



7 で自車マークを進行方向に合わせ、セットを選ぶ



音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

1 設定メニュー(P.23)から ナビ案内音量設定 を選ぶ



2 ナビの音量を調整し、完了 を選ぶ



- 小 ・ ・ 中 ・ ・ 大
  音量小◀━━▶音量大
  [お買い上げ時の設定：中]
- 消音：音声案内なし
- 試聴：音量の確認
- 高速時の自動音量切換：
  選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
  [お買い上げ時の設定：ON]
  ・時速80 ㎞以上で走行時に、音声案内を自動で1ステップ大きくします。（音量設定が 消音 のときは、音量は大きくなりません。）

お知らせ

- 音声案内を出力するスピーカーを設定するには→P.166
- ナビゲーションの音量は、VOL(＋－)では調整できません。
- 音声案内および操作音は、リヤスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

＋ － を押して、音量を調整する

- ＋：大きくなる
- －：小さくなる

お知らせ

- デジタルTV、ハンズフリー、DVDの音量は、他のオーディオとは別にそれぞれ記憶されます。
- SD動画再生、HDMI、Drive P@ssの音量は、デジタルTVと同じになります。
- －を押し続けると、3ステップずつ音量が下がります。

オーディオの音量を一時的に消音するには（ミュート）

ステアリングスイッチ設定(P.165)でミュート機能を設定している場合に操作できます。

MUTEを割りあてたステアリングスイッチを押す

- もう一度押すと解除します。

お知らせ

- 消音時は、画面左下に「MUTE」と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内などもミュートされます。
- ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)はミュートされません。
- オーディオをOFFにするには→P.89

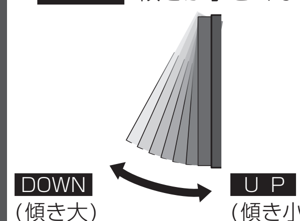
モニターの角度を調整する(TILT)

1 TILT を押す

2 角度を調整する（7段階）



- DOWN：傾きが大きくなる
- UP：傾きが小さくなる



DOWN（傾き大）　UP（傾き小）

3 TILT を押す

お願い

- **周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。**
- **手で動かすなど、無理な力を加えないでください。**
- **可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。**

お知らせ

- エンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(右記)

画質を調整する

1 画質調整画面が表示されるまで、MENU を2秒以上押す

- カメラ画質を調整する場合は、カメラスケール表示の調整画面を表示させてください。(P.165)

2 画質を調整する



色あい※1

- 緑：緑みが強くなる
- 赤：赤みが強くなる

色の濃さ※1

- 濃：濃くなる
- 淡：薄くなる

コントラスト

- 強：明暗の差が大きくなる
- 弱：明暗の差が小さくなる

明るさ

- 明：明るくなる
- 暗：暗くなる

※1 ナビゲーション画面では調整できません。

3 調整完了 を選ぶ

画面を一時的に消す

画質調整画面（上記）から 画面消 を選ぶ

画面を再度表示させるには

AUDIO MENU 現在地 TILT のいずれかを押す

取り付け・配線を確認する

車両信号情報を確認する

1 **情報メニュー**(P.22)**から** **車両情報** **を選ぶ**

2 **車両信号情報を確認する**（右記）

※1 本書では、「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」「パーキングブレーキ」などのことを、「サイドブレーキ」と呼称し、表記しています。

確認項目	内　容
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ※1	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度が表示されます。
ACC電圧	約12 V(11 V～16 V)ですか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？ ●リセットすると「0」になります。
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●レベルは「4」が最大です。 ●リセットすると「0」になります。
ジャイロ角度補正	走行後、「補正完」になっていますか？ ●リセットすると「未補正」になります。
3Dセンサー補正	走行後、「補正完」になっていますか？ ●リセットすると「未補正」になります。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
  - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
  - ・右左折が多い
  - ・右左折が極端に少ない
  - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
  - ・別の車に本機を載せかえた
  - ・タイヤを交換した
  - ・タイヤをローテーションした
- 「車両信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号中継コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニット情報を確認する

1 **情報メニュー**(P.22)**から** **拡張ユニット** **を選ぶ**

2 **拡張ユニット情報を確認する**（右記）

ダウンロードキー出力
(P.161)
インターネットで年度更新地図データをダウンロードする際に使用します。

固有番号
製造番号が不明な場合（本機が盗難にあった場合など）の確認用番号です。

確認項目	内　容
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
DSRCユニット	別売のDSRC車載器(CY-DSR140D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
iPod※1※2	市販のiPodを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB-Audio※1	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
マルチエクスパンドユニット	別売フロントインフォディスプレイ(CY-DF100D)を接続している場合、ON表示になっていますか？ ● 詳細 ：マルチエクスパンドユニット詳細画面を表示 **バージョン** ・「プロジェクションユニット」がON表示になっていますか？ ・ 更新 ：マルチエクスパンドユニットのソフトウェアを更新

※1 同時には接続できません。
※2 Drive P@ss接続時(P.134)は、iPhoneやiPodをiPod/USB接続用中継ケーブルで接続してもON表示になりません。iPhoneやiPodの接続を確認する場合は、Drive P@ss接続を解除(P.135)してください。

はじめに　取り付け・配線を確認する

初期設定をする

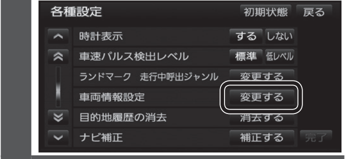
車両情報を設定する

車両情報は、有料道路の料金計算や駐車場検索に利用されます。

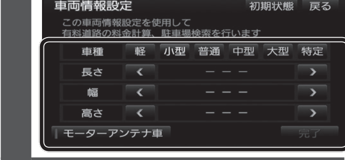
1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から その他 を選ぶ

3 車両情報設定の 変更する を選ぶ



4 車両情報(右記)を設定し、 完了 を選ぶ



項　目	設　定
車種	● 軽 : 軽自動車 ● 小型 : 小型車両[お買い上げ時の設定] ● 普通 : 普通車両 ● 中型 : 中型車両 ● 大型 : 大型車両 ● 特定 : 特定車両
長さ	< > で設定する
幅	[お買い上げ時の設定 : ーーー(未設定)]
高さ	
モーターアンテナ車	モーターアンテナ車 を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。 [お買い上げ時の設定 : OFF] **■モーターアンテナ車の場合**※1 ONに設定する。(インジケーター**点灯**) **●オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。** **■モーターアンテナ車以外の場合** OFFに設定する。(インジケーター**消灯**)

※1 モーターアンテナ車で本機をお使いになる時の留意点

- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

自宅を登録する

初めて登録するときは

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 自宅 を選ぶ

2 はい を選ぶ

3 自宅の場所を検索する

- 現在地周辺から登録 :
  現在地周辺の地図から場所を検索する
- 住所から登録 :
  「住所で探す」(P.55 手順**2**～**4**)と同じ方法で、場所を検索する

4 決定 を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 登録した自宅を呼び出すには
  →P.55

自宅を変更するときは

すでに自宅が登録されているときは、左記の手順では自宅登録できません。
下記の手順で変更してください。

1 自宅に設定したい地点を登録ポイントとして登録する (P.77)

2 登録ポイント修正画面を表示させる

→P.78「登録ポイントを修正する」手順**1**～**3**

3 自宅に設定 を選ぶ

4 はい を選ぶ

- 登録ポイントが自宅に設定されます。
- 今までの自宅は、通常の登録ポイントとして残ります。
- 登録した自宅を呼び出すには→P.55

お知らせ

- 現在の自宅を解除(P.79)してから再度左記手順で登録することもできます。

メニュー画面の操作

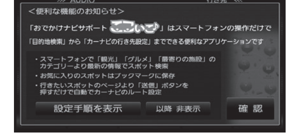
ツートップメニューを表示する

MENU を押す

●ツートップメニューが表示されます。

●お知らせ画面が表示されたら

■便利な機能のお知らせ



● 設定手順を表示 :「ここいこ♪」手順画面を表示 →P.146 手順2へ

● 以降 非表示 :以降、画面を表示しない

● 確 認 :ツートップメニューを表示

オーディオメニュー

ハンズフリー　Bluetooth® Audio　VTR　交通情報　AM

SD音楽再生　SD動画再生　HDMI　FM

カスタマイズ

カスタマイズ
●オーディオ選択タッチキーを変更する(P.24)

オーディオ選択タッチキー

ツートップメニュー

iPod/USB　デジタルTV　名 称　電話番号

MEMORY MUSIC for SD　DISC　登録ポイント　自 宅

AUDIO OFF　情 報　Drive P@ss　設 定　目的地消去

Drive P@ss(P.152)

AUDIO OFF(P.89)　目的地消去(P.53)

お知らせ

●ツートップメニューに表示する項目は変更できます。(P.24)

行き先メニュー

住 所　おでかけ旅ガイド　周辺ジャンル　郵便番号

履 歴　主要施設　マップコード

カスタマイズ

カスタマイズ
●行き先選択タッチキーを変更する(P.24)

行き先選択タッチキー

メニュー画面の切り換えかた

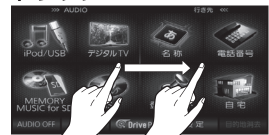
左右にフリック/ドラッグすると、メニュー画面がフリック/ドラッグした方向に切り換わります。

フリック





ドラッグ





情報メニュー※2

GPS　車両情報　拡張ユニット　電話帳

ecoドライブ　ここいこ♪　高速料金表示

MENU ボタンを2秒押すと画質を調整できます

設定メニュー※3

案内再開　VICS/DSRC　登録ポイント　渋 滞 データバンク

ナビ案内 音量設定　ランチャーメニュー カスタマイズ　BLUETOOTH 設定　各種設定

※1 本機で録音された音楽データの再生

※2 ツートップメニューから 情報 を選んでも表示できます。

※3 ツートップメニューから 設定 を選んでも表示できます。

メニュー画面の操作

ツートップメニューの項目を変更する

ツートップメニューに表示する項目をお好みで設定できます。

行き先選択タッチキーを変更する

1 行き先メニュー(P.23)から カスタマイズ を選ぶ

2 現在選ばれている項目(黄色枠の項目)を選ぶ



●項目が解除されます。

3 よく使う項目を4つ選ぶ



●同じ項目をもう一度選ぶと、その項目は解除されます。
● 初期設定 :お買い上げ時の状態に戻る

4 完了 を選ぶ

●ツートップメニューに表示される行き先選択タッチキーが、選んだ項目に切り換わります。
●選んだ順に、下記のように並びます。



オーディオ選択タッチキーを変更する

1 オーディオメニュー(P.22)から カスタマイズ を選ぶ

2 現在選ばれている項目(黄色枠の項目)を選ぶ



●項目が解除されます。

3 よく使う項目を4つ選ぶ



●同じ項目をもう一度選ぶと、その項目は解除されます。
● 初期設定 :お買い上げ時の状態に戻る

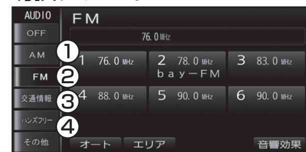
4 完了 を選ぶ

●ツートップメニューに表示されるオーディオ選択タッチキーが、選んだ項目に切り換わります。
●オーディオ画面の切換タッチキーも、ツートップメニューに表示されるオーディオ選択タッチキーの内容に連動して切り換わります。
●選んだ順に、下記のように並びます。

ツートップメニューの
オーディオ選択タッチキー



切換タッチキー



起動パスワードを設定する

万一盗難にあった場合でも、起動パスワードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

> パスワードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
> お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
> パスワード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

●文字入力のしかた→P.182
●全角12文字(半角24文字)まで

設定する

●未走行の場合は設定できません。
●パスワードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から その他 を選ぶ

3 起動パスワードの 設定する を選ぶ

4 起動パスワード画面から 設定 を選ぶ

5 (すでに起動パスワードが設定されている場合のみ)

1 はい を選ぶ

2 現在のパスワードを入力し、 完了 を選ぶ

6 パスワードを設定する

マルチワードで設定する場合

ヒントおよびパスワードの両方を自由に設定できます。

1 マルチワードで設定 を選ぶ

2 ヒントを入力し、 完了 を選ぶ

3 パスワードを入力し、 完了 を選ぶ

固定文より設定する場合

固定文からヒントを選び、パスワードを自由に設定できます。

1 固定文より設定 を選ぶ

2 リストからヒントを選ぶ

3 パスワードを入力し、 完了 を選ぶ

7 パスワードのヒントとパスワードを確認し、 完了 を選ぶ

解除する

他人に譲渡する場合などは、起動パスワードの設定を解除してください。

1 起動パスワード画面から 解除 を選ぶ

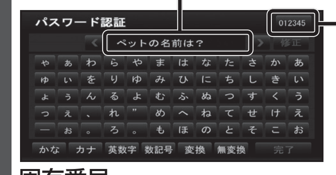
2 はい を選ぶ

3 パスワードを入力し、 完了 を選ぶ

本機を起動時にパスワード認証画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、パスワード認証画面(下記)が表示されます。パスワードを入力してください。

1 パスワード認証画面でヒントを確認する



固有番号
製造番号が不明な場合(本機が盗難にあった場合など)の確認用番号です。

2 パスワードを入力する

3 完了 を選ぶ

4 確認 を選ぶ

●ロックが解除され、本機が再起動します。

SDメモリーカードについて

本機では、SDメモリーカードを使用して下記のことができます。
- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用→P.57
- 本機を使って音楽CDからSDメモリーカードに録音した音楽データの再生（本機のみで再生可能な音楽データ）
- パソコンを使ってSDメモリーカードに保存した音楽データ（MP3/WMA）の再生
- 当社製HDDレコーダーなどで録画した動画（SD動画）の再生→P.117

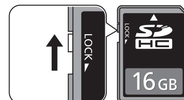
■**本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード（32 GB以下）※とSDメモリーカード（2 GB以下）に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。**
- microSDHCメモリーカード※、miniSD/microSDメモリーカードも使用できます。

※SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。

■**SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。（P.166）**
- または、パソコンで「SDフォーマッター」（フォーマットソフトウェア）を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ
- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い



- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- **SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。**
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

次のことをお守りください。
- 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
- 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
- 貼られているラベルをはがさない
- シールやラベルを重ねて貼り付けない
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない

お願い
- microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

SDメモリーカードを出し入れする

- SDメモリーカードを挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- SDメモリーカードが正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 モニターを開く

1 TILT を押す

2 チルト/イジェクト画面から DISPLAY-OPEN を選ぶ



- モニターが開きます。

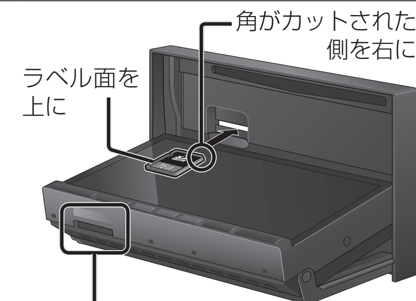
2 奥までまっすぐに挿入する
- カチッと音がするまで差し込んでください。
- 自動的にモニターが閉まります。
- **モニターが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。**

取り出すときは

1



2 TILT を押す
- モニターが閉まります。

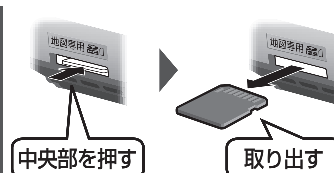


地図SDHCメモリーカード（付属品）について

- **付属の地図SDHCメモリーカードは本機専用です。**
- **お買い上げ時に、ナビゲーションユニットのモニター底面に挿入されています。**

- **本機を使用するときは、地図SDHCメモリーカードが必要です。地図のバージョンアップなど、必要なとき以外は取り出さないでください。**
- **他の機器に挿入しても、使用できません。**
- **地図SDHCメモリーカードをSDメモリーカード挿入口に挿入しても使用できません。**
- **データを他のSDメモリーカードにコピーしても使用できません。**
- **データを、解析・変更・消去・フォーマットしないでください。本機が正常に動作しなくなります。**

取り出すときは

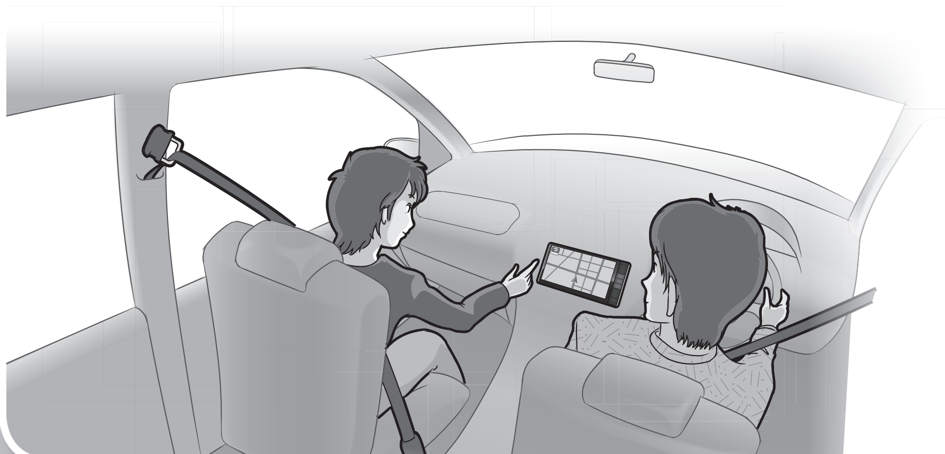


挿入するときは

奥までまっすぐに挿入する
- カチッと音がするまで差し込んでください。



ナビゲーション

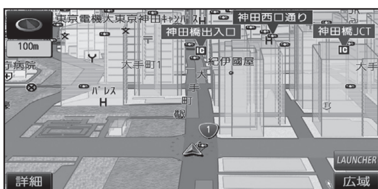


地図の紹介

市街地図



建物の形まで、詳細に表示されます。(一部地域のみ)



3D表示に切り換える(P.44)と、建物が立体的に表示されます。

●市街地図を表示させたまま、市街地図が収録されていない地域に移動すると、広域地図が拡大表示されます。

広域地図

●道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
●走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。
●地図強調表示する/しないの設定(P.162)に連動して、地図表示が切り換わります。



■ 地図強調表示「する」の場合

建物の形状が表示され、道路の幅に応じて異なる太さの道路が表示されます。

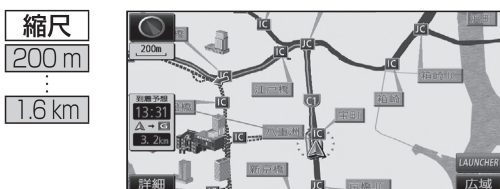
●地図の配色を「タウン」に設定すると、街区を色分けし、市街情報をより際立たせます。(P.41)



■ 地図強調表示「しない」の場合

道路の幅に関わらず、道路の太さが均一の、シンプルな地図が表示されます。

都市高マップ



ルート案内中に都市高速道路を走行すると表示されます。都市高速のIC・JCTの名称、路線番号がわかりやすく表示されます。

●200 m〜1.6 ㎞以外の縮尺の地図が表示されているときは、都市高マップに切り換わりません。
●自動表示する/しないの設定→P.162
●手動で切り換えるには→P.46

※1「100 m縮尺市街図表示」(P.162)の設定により地図画面表示が変わります。
・「す　る」: 縮尺が100 mのときに、市街地図が表示されます。[お買い上げ時の設定]
・「しない」: 縮尺が100 mのときに、広域地図が表示されます。

案内図表示



■ レーンリスト

レーンのある分岐交差点と通過する交差点の名称、車線情報が表示されます。

●約700 m手前から
●自車からレーンのある分岐交差点までの間に、レーンのある交差点を4つ以上通過(直進)する場合は表示されません。
●レーンのある分岐交差点が連続する場合、最初の分岐交差点までのレーンリストが表示されます。
●自動表示する/しないの設定→P.162
●手動で切り換えるには→P.46



■ ターンリスト

案内分岐点での進路情報が表示されます。

●自動表示する/しないの設定→P.162
●手動で切り換えるには→P.46

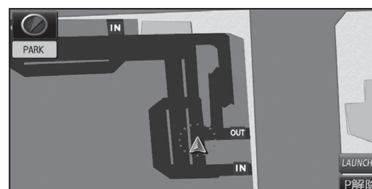


SA・PAの施設情報が表示されます。

■ ハイウェイマップ

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
SA・PA・IC・JCTの名称、自車からの距離、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

●∧ ∨を選ぶと、スクロールできます。
●ルート案内していないときは、最大10施設まで表示されます。
●手動で切り換えるには→P.46



■ 駐車場マップ

立体駐車場や地下駐車場などに進入すると、駐車場内の詳しい地図が表示されます。

●地図の情報がない駐車場では表示されません。
●駐車場に進入しても、実際の駐車場の形状や走行のしかたにより、正しく表示されない場合があります。
●駐車場から出ると、自動的に駐車場マップを解除します。
●「ジャイロ角度補正」と「3Dセンサー補正」(P.18)が未補正の場合は、表示されません。
●自動表示する/しないの設定→P.162
●手動で切り換えるには→P.46

解除するには

P解除 を選ぶ

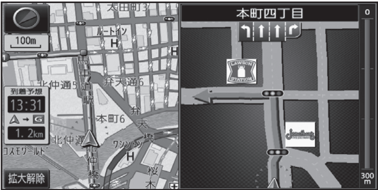
●駐車場マップが解除されます。

地図の紹介

拡大図表示

●ルート案内中に自動的に表示されます。
●**地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合もあります。**

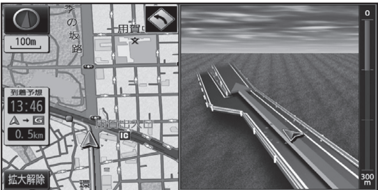
一般道路では



■ **交差点拡大図**

交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。

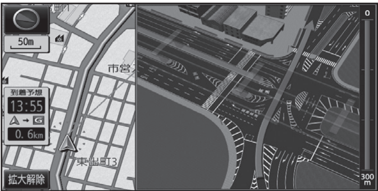
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●2D/3Dを切り換えられます。(P.163)
●自動表示する/しないの設定→P.162



■ **立体交差点拡大図**

立体交差点で表示されます。

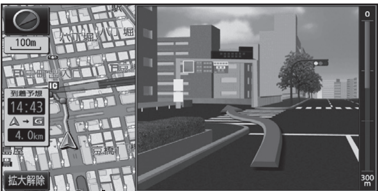
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図自動表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.162)



■ **難交差点拡大図**

複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図自動表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.162)



補助地図
●地図スクロール(P.42)と向きの切り換えができます。(P.44)

■ **ハイウェイ入口案内**

都市高速の入口付近で表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図自動表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.162)

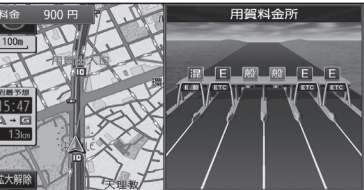
高速道路では



■ **ハイウェイ分岐図**

高速道路や主要有料道路を走行中に、分岐点までの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。

●約1 km手前から
●直進でも表示される場合があります。
●自動表示する/しないの設定→P.162



■ **ETC拡大図**

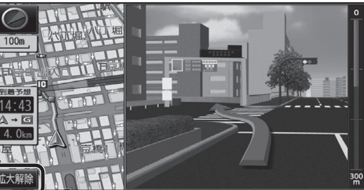
料金所手前でレーン拡大図が表示されます。

●約500 m手前から
●表示する/しないの設定→P.163
●レーンの種類は下記のマークで表示されます。

E	ETC専用レーン
混	ETC/一般混在レーン
般	一般レーン
?	種類が不明なレーン
···	同じ種類のレーンが4つ以上続く
	表示できないレーンがある

※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

拡大図を消去・再表示するには



■ **消去するには**

補助地図から 拡大解除 を選ぶ

●拡大図が消去されます。

■ **再表示するには**

1 **現在地メニューまたは地点メニュー**(P.38)**から 案内切換 を選ぶ**

2 **切り換えたい拡大図を選ぶ**(P.46)

地図の見かた

地図画面

時計表示
- GPS衛星から信号を受信して、時刻が自動的に調整されます。（手動では調整できません）
- 表示する/しないの設定→P.164

抜け道表示※1
- 抜け道は**緑色の線**で表示されます。
- 抜け道データ収録エリア→P.197
- 表示する/しないの設定→P.162
- 抜け道を考慮したルートを探索できます。(P.40)

方位マーク（地図の向きを表示）

ノースアップ（北が上の地図）

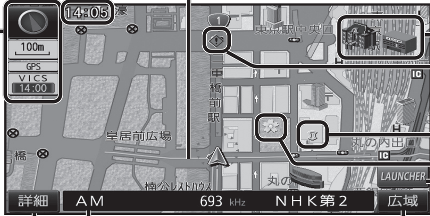
ヘディングアップ（進行方向が上の地図）

選ぶと、地図の向きが切り換わる(P.44)

100m 現在の縮尺を表示

GPS **GPSマーク**
GPS衛星による自車位置の測定を行っているときに表示

VICS 14:00 **VICSマーク**
VICSの情報が提供された時刻を表示(P.50)



オーディオ情報表示
再生中のオーディオ情報を表示
- 表示する/しないの設定→P.164

詳細 **詳細**/ 広域 **広域**
地図の縮尺が切り換わる(P.43)

LAUNCHER **ランチャー**
地図画面にタッチキーを表示(P.38)

立体ランドマーク※1
全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示
- 表示する/しないの設定→P.162
- 3Dの市街地図には表示されません。

事故多発地点マーク
- 表示する/しないの設定→P.163

シーズンレジャーランドマーク※1
桜と紅葉の季節になると観光スポットの場所をマークで表示
- 表示する/しないの設定→P.162

桜　紅葉

お知らせ
- 縮尺によっては、地図上の文字が重なって表示されます。読みづらい場合は、縮尺を変更してください。

ランドマーク※1
目印となる施設などを地図上にマークで表示
- 表示させるランドマークを選ぶには→P.47
- ランドマークの情報を見るには→P.47

※1 縮尺25 m～800 mで表示されます。

凡例

表示	内容
	高速・有料道路(青)
	国道(赤)
	主要地方道(緑)
	一般都道府県道(緑)
	他の道路(灰色)(幅5.5 m以上)
	他の道路(灰色)(幅3～5.5 m)
	J R
	私鉄
	水路(水色)
	都道府県境
	緑地(緑)
	庁舎・敷地など(灰色)
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村・東京以外区役所
	NTT
	銀行・信用金庫
	デパート・スーパーなど
H	ホテル・旅館など

表示	内容
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城跡
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	インターチェンジ(緑)
IC	スマートIC(紫)
SA	サービスエリア
PA	パーキングエリア
	交差点
P	駐車場
	駅
	フェリーのりば
	港湾

表示	内容
	空港・飛行場
	道の駅
	踏切(黄)
	ボトルネック踏切(橙)
文	学校
幼	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	海水浴場
	アイススケート場
	ヨットハーバー
	競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	その他の施設

- 地図データの整備上、全ての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

地図の見かた

現在地画面

現在地 を押すと、現在地画面が表示されます。

道路名称・交差点名称表示
走行中の道路名称や、次に通過する交差点名称を表示

レーン看板表示
交差点の車線情報を表示



自車マーク
自車位置と進行方向を表示
- 大きさと色を変更するには→P.41

踏切警告
踏切にさしかかると表示

合流警告
高速道路を走行中に注意の必要な合流地点にさしかかると表示

カーブ警告
急なカーブにさしかかると表示
- カーブの形状や走行速度によっては、表示されない場合があります。

レーン警告
高速道路を走行中に、車線が減少する地点にさしかかると表示

事故多発地点案内
事故多発地点にさしかかると表示

- マークが表示されている付近にさしかかると、音声でも案内されます。(P.72～73)
- 案内する/しないの設定→P.163

地図モード画面

現在地からスクロール(P.42)すると地図モード画面になります。

地図スクロール時の地名表示
カーソルの中心付近の地名や道路名称を表示(縮尺:25 m～3 ㎞)
- 表示する/しないの設定→P.162



地図の中心にカーソルを表示

自車位置からカーソルまでの距離を表示

ルート案内中の画面

目的地方向直線表示
現在地から次の経由地・目的地の方向を直線で表示
- 表示する/しないの設定→P.164

目的地・経由地マーク
目的地(P.59)に設定した場所を、Gと表示
- 経由地(P.60)を設定した場合は、G1～G5と表示されます。

例:経由地を2つ設定した場合
G1:最初の経由地
G2:2つ目の経由地
G3:目的地

案内レーン看板表示
交差点の通るべき車線を青色で表示

通過道路マーク
通過道路(P.65)に設定した場所を、❶と表示
- 通過道路を2つ設定した場合、2つ目の通過道路は、❷と表示されます。



案内ポイントマーク
車線案内、交差点名称、拡大図などが表示される地点にマークを表示

(赤):拡大図が表示される地点
(黄):踏切・合流のある地点
(灰):信号機がない交差点※1
:信号機がある交差点※1

※1 交差点名称またはレーン看板が表示される交差点のみ

案内ルート
目的地までの案内ルートを表示
- 太さと色を変更するには→P.41

到着予想時刻表示

残距離表示

目的地または経由地に到着する予想時刻と道なりの距離を表示
- 渋滞データバンク探索(P.164)を「する」に設定時は、渋滞データバンクの情報も考慮された到着予想時刻が表示されます。
- 到着予想時刻表示設定のVICS情報考慮(P.163)を「ON」に設定時は、VICS情報も考慮された到着予想時刻が表示されます。
- ルートから外れた場合は、目的地までの直線距離と方向を示す矢印が表示されます。
- 経由地(P.60)を設定している場合、目的地・各経由地の中から表示させる地点を選べます。(P.74)

地図画面にタッチキーを表示する

地図画面で LAUNCHER を選ぶ

●タッチキーが表示されます。

ランチャーメニュー

ランチャーメニューによく使う機能を登録しておくと、地図画面から直接その機能を呼び出すことができます。

ランドマーク表示切換

ランドマークを表示/消去(P.47)

●表示させるランドマークを選ぶには →P.47

終了 終了

タッチキーを消去

現在地メニュー ［**現在地画面**(P.36)のときに表示］

- 再探索 — 再探索メニューを表示※1(P.76)
- ポイント登録 — 現在地を登録ポイントとして登録(P.77)
- 表示変更 — 表示変更メニューを表示(P.44)
- 案内切換 — 案内表示切換メニューを表示※2(P.46)

地点メニュー ［**地図モード画面**(P.36)のときに表示］

- 行き先設定 — カーソルの位置を、行き先/経由地に設定(P.59、60)
- ポイント登録 — カーソルの位置を、登録ポイントとして登録(P.77)
- 表示変更 — 表示変更メニューを表示(P.44)
- 案内切換 — 案内表示切換メニューを表示※2(P.46)

※1 ルート案内中のみ操作できます。
※2 切り換えられる案内図が存在する場合のみ操作できます。

お知らせ

●下記の場合も、タッチキーが消去されます。
・地図をスクロールしたとき
・現在地メニュー/地点メニューから操作したとき(上記)
・約10秒間何も操作しなかったとき

ランチャーメニューの項目を変更する

1 設定メニュー(P.23)から、ランチャーメニューカスタマイズ を選ぶ

2 変更したいタッチキーを選ぶ

● TUNE は、変更できません。

3 割りあてたい機能(下記)を選ぶ

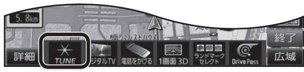
■ランチャーメニュー機能一覧

	項目	機能
地図切換	1画面2D/3D	1画面2D/1画面3Dに切換(P.44)
	2画面2D/3D	2画面2D/2画面3Dに切換(P.44)
	右画面2D/3D	2画面表示時の右画面の2D/3Dを切換(P.45)
	ランドマークセレクト	地図上に表示するランドマークを選ぶ(P.47)
地点登録	ポイント登録	地点を登録ポイントとして登録(P.77)
	方向付きポイント登録	地点を方向付き登録ポイントとして登録(P.78)※1※2
	音声付きポイント登録	地点を音声付き登録ポイントとして登録(P.78)
地点呼出	登録ポイント	登録ポイントから行き先を探索(P.54)
	おでかけ旅ガイド	おでかけスポット/プランから行き先を探索(P.57)
	自宅	● 未登録の場合:自宅を登録(P.21) ● 登録済みの場合:自宅へ帰る(P.55)
ルート案内	案内音量＋	ナビ案内音量を大きくする(P.16)※3
	案内音量－	ナビ案内音量を小さくする(P.16)※3
	案内再開/中止	ルート案内を再開/中止(P.53)
	ルート確認	全ルート図を表示(P.69)※4
VICS表示	VICS表示/消去	地図上のVICS情報を全道路表示/消去(P.48)
	割込情報	電波・光ビーコンの割り込み情報を表示(P.84)
	DSRC割込情報	DSRCの割り込み情報を表示(P.84)
AUDIO	デジタルTV※5	デジタルTVに切換(P.90)
	CD/DVD※5※6	CD(P.102)・MP3/WMA(P.103)・DVD(P.98)に切換
	FM	FMに切換(P.97)
	AM	AMに切換(P.97)
	交通情報	交通情報に切換(P.125)
	SD動画再生※5	SD動画再生に切換(P.117)
	MEMORY MUSIC for SD	MEMORY MUSIC for SDに切換(P.106)
	Bluetooth® Audio	Bluetooth® Audioに切換(P.124)
	SD音楽再生	SD音楽再生に切換(P.116)
	iPod※5/USB	iPod/USBに切換(P.122/P.119)
	HDMI※5	HDMIに切換(P.160)
	VTR※5	VTRに切換(P.160)
	AUDIO ON/OFF	AUDIOをON/OFFにする(P.89)
その他	Drive P@ss※5	Drive P@ssに切換(P.152)
	電話をかける	ハンズフリー画面を表示(P.140)※7
	フロントインフォディスプレイON/OFF	画面表示する/しないを切換
	入力切換	フロントインフォディスプレイの入力切換の設定(案内情報/外部入力)を切換

※1 地図モード画面表示中のみ。
※2 自車の進行方向で登録されます。
※3 案内音声出力中に変更した場合、変更は次回の案内音声から反映されます。
※4 ルート案内中のみ。
※5 走行中は、デジタルTV、DVD、SD動画、iPodビデオ、HDMI、VTR、Drive P@ss(動画など)の映像は表示されません。
※6 入っているディスクの種類によってランチャーメニューの表示が異なります。
※7 電話帳を登録(P.142)している場合、電話帳が表示されます。(P.141)

本機の設定をアレンジする（ストラーダチューン）

1 ランチャーメニュー(P.38)から TUNE を選ぶ



2 設定する
- ●ルート探索に関する設定→下記
- ●地図に関する設定→P.41

ルート（ルート探索に関する設定）

ルート を選ぶ

有料道路優先※1

現在の探索条件(P.70)で、高速道路・有料道路を通るレベルを設定する

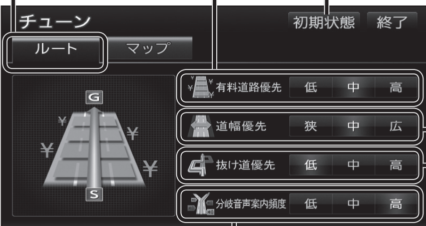
低	乗り継ぎを変えるなどして少しでも節約
中	標準
高	割高でも有料道路を使用

[お買い上げ時の設定：中]

●有料道路優先レベルと探索条件の「有料優先」「一般優先」とでは、探索条件が優先されます。



お買い上げ時の設定に戻す



道幅優先※1

通る道路の広さ(幅員、車線数等)の優先度のレベルを設定する

狭	できるだけ遠回りせず距離優先(狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。)
中	標準
広	多少遠回りでも広い道を使用

[お買い上げ時の設定：中]

- ●広い道路を通るルートが最短距離になる場合、レベルを低くしてもルートは変わりません。
- ●長距離のルートを探索時にレベル調整した場合、出発地・目的地周辺で大きな効果があります。

分岐音声案内頻度

分岐点の手前で音声案内する頻度を設定する

低	音声案内の頻度を低くする
中	音声案内の頻度をやや高くする
高	音声案内の頻度を最も高くする

[お買い上げ時の設定：高]

●頻度が変わるのは音声のみです。拡大図やレーンリストなどの表示は変わりません。

抜け道優先※1

抜け道を優先して通るレベルを設定する

低	抜け道を優先しない
中	抜け道をやや優先する
高	抜け道を最優先で使う

[お買い上げ時の設定：低]

●抜け道データ収録エリアでのみ有効です。(P.197)

※1 ルート案内中に変更すると、ルートを再探索します。

マップ（地図に関する設定）

マップ を選ぶ

お買い上げ時の設定に戻す



昼画面/夜画面を選択

昼画面/夜画面を選択する

●昼画面/夜画面でそれぞれテーマ/道路色/文字サイズを設定できます。(下記)

テーマ

地図の配色を設定する

- ● クルージング ：ルートが見やすい
  [昼画面のお買い上げ時の設定]
- ● トラフィック ：VICS情報が見やすい
- ● タウン ：街区を色分けし、市街情報をより際立たせる
- ● トワイライト ：夕暮れや夜間など、暗い車内で見やすい
  [夜画面のお買い上げ時の設定]

道路色

道路の色を設定する
(テーマごとに設定できます。)

● A B C D

[お買い上げ時の設定：
・クルージング：B　・タウン：A
・トラフィック：D　・トワイライト：C]

文字サイズ

文字の大きさを設定する

● 小 中 大

[お買い上げ時の設定：中]

ルート

ルートの太さと色を設定する

ルートの太さ

● 標準 太 極太

[お買い上げ時の設定：標準]

ルートの色

● (青) (黄) (赤) (緑)

[お買い上げ時の設定：青]

自車マーク

自車マークの大きさと色を設定する

自車マークの大きさ

● 小 中 大

[お買い上げ時の設定：中]

自車マークの色

● (青) (黄) (赤) (緑)

[お買い上げ時の設定：赤]

■有料道路優先レベル・道幅優先レベル・抜け道優先レベルについて

「探索条件」(P.70)と組み合わせて、ルート探索の条件をより細かくお好みに調整できます。

- ●区間ごとに優先レベルを調整することはできません。
- ●レベルを調整しても、ルートが変わらない場合があります。
- ●有料道路優先レベルをダウンさせても、料金が上がってしまう場合があります。逆の場合もあります。
- ●道幅優先レベルや抜け道優先レベルだけを調整したときでも、高速・有料道路の利用区間が変わる場合があります。
- ●探索条件が「eco」の場合、各優先レベルは考慮されません。

地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。(タッチパネルの操作→P.13)

- スクロールした地図の中心にはカーソル(⊕)が表示されます。(地図モード画面→P.36)
- 地図スクロール時の地名表示(P.162)が「する」に設定されているときは、画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。

タッチでスクロールする

地図画面をタッチする

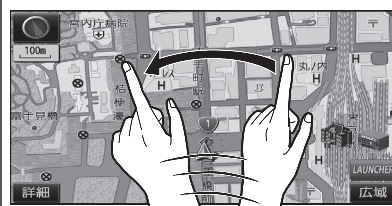


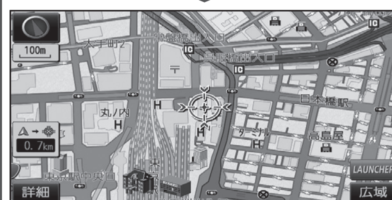


- タッチした地点が画面の中心になります。

フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする

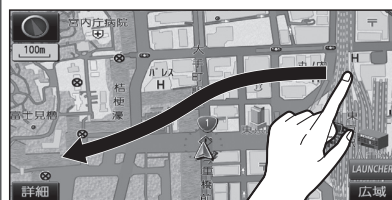


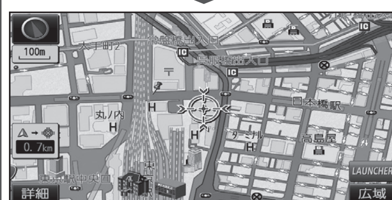


- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする





- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。
  市街地図(P.30)以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。
  (フリック/ドラッグでは操作できません。)
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。(P.45)
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。(タッチパネルの操作→P.13)

- 縮尺の範囲:25 m〜200 ㎞

タッチキーで縮尺を切り換える

詳細 / 広域 を選ぶ



- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。(走行中はできません)
- 縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り換わります。

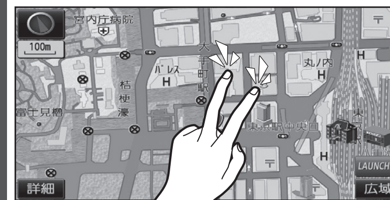


「目的地までの地図を表示する」→P.74

2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

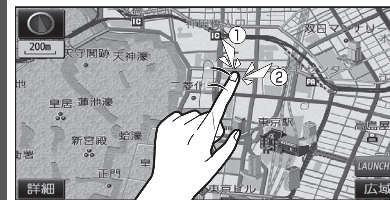
■ 広域に切り換えるには

2点タッチする



■ 詳細に切り換えるには

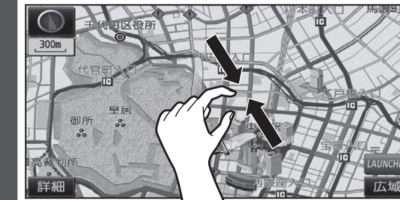
ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

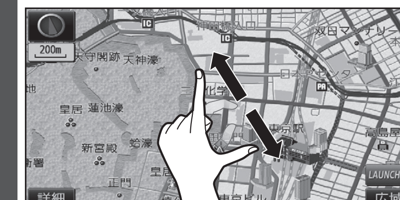
■ 広域に切り換えるには

ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには

ピンチアウトする



- 指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

地図の操作

向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ）

ヘディングアップ(進行方向が上の地図)とノースアップ(北が上の地図)とを、切り換えることができます。
➡方位マーク(P.34)

ヘディングアップからノースアップに切り換える

[アイコン] を選ぶ



● ノースアップに切り換わります。

ノースアップからヘディングアップに切り換える

[アイコン] を選ぶ



●ヘディングアップに切り換わります。

お知らせ

●地図モード画面(P.36)表示中は、ノースアップからヘディングアップに切り換えられません。
●3D画面は、ノースアップに切り換えられません。(ヘディングアップのみ)

1画面/2画面、2D/3Dを切り換える

1 現在地メニューまたは地点メニュー(P.38)から 表示変更 を選ぶ

2 表示変更メニューから 2D/3D/2画面 を選ぶ



3 地図表示メニューから切り換えたい画面を選ぶ



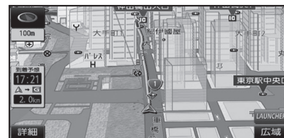
● 1画面2D :平面(2D)の1画面表示



● 2画面2D :左画面が平面(2D)の2画面表示



● 1画面3D :立体(3D)の1画面表示



● 2画面3D :左画面が立体(3D)の2画面表示



お知らせ

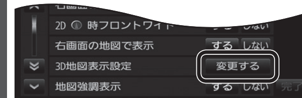
●2画面時の左画面は、1画面時と同じ操作ができます。
●2画面時の右画面の操作は
➡P.45「2画面時の右画面を操作する」へ

3Dの地図の角度を調整する

1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から 地図表示設定 を選ぶ

3 3D地図表示設定の 変更する を選ぶ

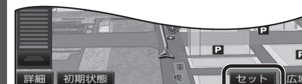


4 [アイコン] / [アイコン] を選んで調整する



● [アイコン] :傾きが小さくなる
● [アイコン] :傾きが大きくなる
● 初期状態 :お買い上げ時の設定に戻る

5 セット を選ぶ

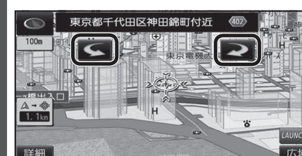


●現在地画面に切り換わります。
●3Dの地図に切り換えたときに、設定した角度で表示されます。

3Dの地図を回転させる

3Dの地図をスクロールすると、回転させることができます。

[アイコン] / [アイコン] を選ぶ



● [アイコン] :地図が**時計回り**に回転
● [アイコン] :地図が**反時計回り**に回転

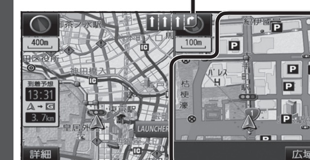
お知らせ

●現在地画面に戻すと、回転させる前の向きに戻ります。
●3Dの現在地画面および2Dの地図は、回転させることはできません。
●走行中に回転させることはできません。

2画面時の右画面を操作する

1 右画面をタッチする

ノースアップ/ヘディングアップを切り換えられます。



2 各項目を設定する



縮尺を切り換えられます。

● 3D表示 :
右画面を3D表示に切換
・再度選ぶと、2Dに切り換わります。
● ランドマーク表示 :
右画面にランドマークを表示
・再度選ぶと、消去されます。
・表示させるランドマークを選ぶには
➡P.47
● VICS表示 :
右画面にVICS情報を表示
・再度選ぶと、消去されます。
・表示させるVICS情報を選ぶには
➡P.49

お知らせ

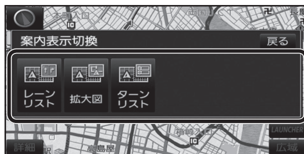
●3D表示の角度・表示されるランドマーク・VICS情報は、左画面と同じです。

地図の操作

地図・案内図・拡大図を切り換える

1 現在地メニューまたは地点メニュー(P.38)から 案内切換 を選ぶ

2 案内表示切換メニューから地図・案内図・拡大図を選ぶ



● 地図 :
現在地画面(通常の地図表示)に切換
● レーンリスト :
レーンリストに切換
● 拡 大 図 :
交差点拡大図・立体交差点拡大図・ハイウェイ入口案内のいずれかに切換
● ターンリスト :
ターンリストに切換
● ETC拡大図 :
ETC拡大図に切換
● ハイウェイマップ :
ハイウェイマップに切換
● 分 岐 図 :
ハイウェイ分岐案内に切換
● 駐車場マップ :
駐車場マップに切換

お知らせ

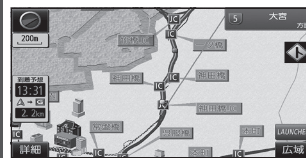
●切り換えられる地図・案内図・拡大図は、走行中の道路やルートの状態によって異なります。
●切り換えられる案内図・拡大図がひとつしかない場合、 案内切換 を選ぶごとに地図・案内図・拡大図が切り換わります。
●各地図・案内図・拡大図については、P.30〜33をご覧ください。

都市高マップに切り換える

ルート案内中は、都市高速道路走行中に都市高マップに切り換えられます。

地図表示メニュー(P.44)から 都市高マップ表示 を選ぶ





お知らせ

●都市高マップは、ルート案内中に都市高速を走行している場合のみ表示できます。
●200 m〜1.6 ㎞以外の縮尺の地図が表示されているときは、都市高マップに切り換えられません。
●2画面表示中は、左画面が都市高マップに切り換わります。

都市高マップを解除するには

地図表示メニュー(P.44)から 都市高マップ解除 を選ぶ

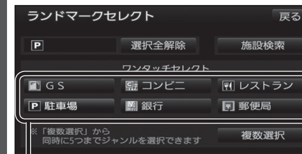
●広域地図に切り換わります。

地図上に表示するランドマークを選ぶ (ランドマークセレクト)

1 表示変更メニュー(P.44)から ランドマークセレクト を選ぶ



2 ランドマークを選ぶ



●ワンタッチセレクトからランドマークを選ぶと、地図画面に戻り、選択したランドマークが表示されます。
●ワンタッチセレクトの項目は、変更できます。(P.164「ランドマーク走行中呼出ジャンル」)
● 選択全解除 : 選択中のランドマークを全て解除
● 施設検索 : 現在地周辺の周辺ジャンル検索を開始(P.58「周辺ジャンル検索」手順 **4**※1)
● 複数選択 : リストから、ランドマークを複数選択(下記)

※1 ジャンル変更 と エリア変更 は表示されません。

■リストから選ぶには

1 ランドマークを選ぶ(5つまで)



● 選択解除 : 右からひとつずつ解除

2 完了 を選ぶ

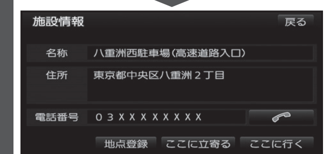
3 (続けてランドマークを選択する場合のみ) 選択する を選び、ランドマークを選ぶ

● 選択完了 を選ぶと、ランドマークセレクトを終了します。

ランドマークの情報を見るには

ランドマークにカーソルを合わせ、 情報 を選ぶ





● 地 点 登 録 : 登録ポイント(P.77)として登録
● [電話ボタン] :
電話をかける(BLUETOOTH接続中のみ)
・通話中の操作について→P.138

ルートが設定されていないとき

● ここに行く : 行き先に設定(P.59)

ルートが設定されているとき

● ここに行く : 現在のルートを消去して、行き先に設定(P.59)
● ここに立寄る : 経由地に設定(P.60)

ランドマークセレクトで選んだランドマークをワンタッチで表示/消去する

地図画面にタッチキーを表示させ(P.38)、 [ランドマーク] を選ぶ



●選ぶごとに、ランドマークの表示/消去が切り換わります。

お知らせ

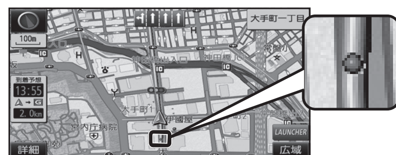
●ランドマークセレクトで何も選択されていないときは、[ランドマーク] は表示されません。

ナビゲーション 地図の操作

走行軌跡を表示する

1 表示変更メニュー(P.44)から 走行軌跡表示 を選ぶ





●自車が走行した軌跡が赤い点で表示されます。(200 kmまで保存)

走行軌跡を消去するには

1 表示変更メニュー(P.44)から 走行軌跡解除 を選ぶ



2 はい / いいえ を選ぶ

● はい :走行軌跡の表示・情報ともに消去

● いいえ :走行軌跡の表示のみ消去(情報は消去されません。)

VICS情報を表示させる道路を切り換える

1 表示変更メニュー(P.44)から VICS を選ぶ



2 VICSメニューから表示させたい道路を選ぶ



● 全て :高速道路・一般道路の情報を表示 [お買い上げ時の設定]

● 高速道のみ :高速道路の情報のみ表示

● 一般道のみ :一般道路の情報のみ表示

● 非表示 :VICS情報を表示しない

お知らせ

●地図上に表示されるVICS情報 →P.50〜51

●VICSを受信するFM放送局を選ぶには →P.84

地図上に表示させるVICS情報を設定する

1 VICSメニュー(P.48)から 表示設定 を選ぶ



2 表示させたい情報を選び、完了 を選ぶ



● 渋滞・混雑 :渋滞情報(渋滞・混雑) [お買い上げ時の設定:表示]

● 渋滞なし :渋滞情報(渋滞なし) [お買い上げ時の設定:表示]

● 規制情報 :事象・規制マーク [お買い上げ時の設定:表示]

● 駐車場 :駐車場、SA・PA情報 [お買い上げ時の設定:非表示]

● 道路種別表示 :道路種別表示(右記) [お買い上げ時の設定:表示]

●選ぶごとに、表示/非表示が切り換わります。

お知らせ

●地図上に表示されるVICS情報 →P.50〜51

●VICSを受信するFM放送局を選ぶには →P.84

道路種別表示について

道路種別を表示すると、VICS情報受信中も、一般道の種類(国道、主要地方道、一般都道府県道など)ごとに道路が色分けして表示されます。

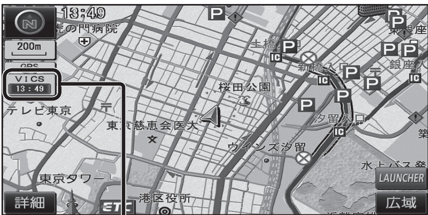
非表示にすると、VICS情報受信中は一般道が下記のように色分けされます。

●**緑**:VICS情報提供の対象となる道路

●**灰**:VICS情報提供の対象外の道路

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICSマーク





タイムスタンプ
情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- 表示している地図に交通情報がないときは、時刻は表示されません。
- ルート案内中、ルート上の情報により背景を色分けします。
  - ・**赤**：渋滞あり
  - ・**黄**：規制あり
  - ・**灰**：情報なし
  または、渋滞・規制・混雑なし
- タイムスタンプの背景が赤（渋滞）、黄（規制）のときにタイムスタンプをタッチすると、渋滞・規制の音声案内を聞くことができます。

お知らせ

- 別売のDSRC車載器（CY-DSR140D）※を接続すると、DSRCからのVICS情報を受信できます。

※本機は電波・光ビーコンサービスに対応していません。サービスを受けるには、別売のVICSビーコンユニット（CY-TBX55D）との接続が必要です。

ハイウェイマップ表示中は

- **規制情報：**
区間ごとにマークを表示（2件まで）



- **渋滞・混雑区間：**
道路を色分けして表示

渋滞情報

道路の進行方向の矢印の色で表示されます。

色	渋滞度	内容	表示スケール
赤	渋滞	交通の流れが非常に悪い	25 m〜1.6 km
橙	混雑	交通の流れがやや悪い	
緑	渋滞なし	交通の流れが良い	

- 表示のしかたを設定できます。（P.48、49）

駐車場、SA・PA情報

形状 駐車場	形状 SA・PA	色	混雑度	内容	表示スケール
P	SA PA	青	空車	利用が可能	25 m〜1.6 km
		赤	満車	ほぼ満車	
		橙	混雑	利用率が高い	
		黒	不明	情報がない	25 m〜400 m
P	SA PA	赤	閉鎖	閉鎖されている	

- 表示する/しないの設定→P.49

事象・規制マーク

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		進入禁止
	故障車		対面通行
	障害物、路上障害		徐行
	工事		大型通行止め
	凍結		入口閉鎖
	作業		入口制限
	通行止め・閉鎖		出口規制
	片側交互通行		速度規制
	チェーン規制		車線規制
	イベント（行事など）		雪
	右折禁止		雨
	左折禁止		注意
	直進禁止		火災

- 表示スケールは、マークによって異なります。
例：（進入禁止）：25 m〜800 m
（入口閉鎖）：25 m〜800 m
（事故）：25 m〜200 m
（工事）：25 m〜200 m
- 通行止め、出入口の閉鎖区間は、黒い線で表示されます。
（表示スケール：25 m〜800 m）
- マークの内容を確認できます。（P.82）
- 表示する/しないの設定→P.49

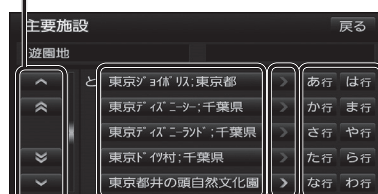
行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

ツートップメニュー ⟷ 行き先メニュー

行き先選択タッチキー

検索結果画面（例：主要施設）



スクロールタッチキー

● ∧ / ∨ ：前/次の**項目**に移動

● ⩓ / ⩔
50 音 順：前/次の**音**（おん）に移動
マーク順：前/次の**マーク**に移動
種　類　順：前/次の**種類**に移動
そ　の　他：前/次の**ページ**に移動

●リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。※1
・フリック：前/次の音（おん）・種類・マーク・ページに移動
・ドラッグ：前/次の項目に移動



枠内でフリック/ドラッグしてください。

文字スクロールタッチキー

リストの名称が全て表示できないときに、表示されます。

● ＞ ：名称の続きを表示
　＜ ：名称の先頭に戻る

あかさたなタッチキー

リストが50音順に並んでいるときに表示されます。

●「あ」「か」「さ」「た」「な」「は」「ま」「や」「ら」「わ」の行ごとにリストを切り換えます。



※1 デジタルTV、SD動画再生のリストでは、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。

2 行き先に設定する

ここに行く：ルート探索を開始し、探索結果画面を表示

●カーソルの位置を微調整できます。

● ここに立寄る ：経由地に設定（P.60）
● 情　報 ：施設の情報を表示（P.59）
● 提携P ：検索した施設と提携している駐車場を検索※2（P.61）

※2 情報がない場合は表示されません。



探索結果画面



案内開始：ルート案内を開始

●探索結果画面について、詳しくはP.62～67をご覧ください。

ルート案内を中止する

設定メニュー（P.23）**から**
案内中止 を選ぶ

ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

●ルートそのものは消去されません。

ルート案内を再開するには

設定メニュー（P.23）**から**
案内再開 を選ぶ

ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

1 **ツートップメニュー**（P.22）**から** **目的地消去 を選ぶ**

2 （経由地がある場合のみ）**全消去 を選ぶ**

3 **はい を選ぶ**

ルートそのものが消去されます。

行き先を探す

施設の名称で探す

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 名称 を選ぶ

2 名称を入力し、完了 を選ぶ
- 修正：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。

3 リストから施設を選ぶ
- 読み修正：入力した名称を修正

施設を絞り込む

現在地周辺の施設に絞り込むには

周辺 を選ぶ

住所で絞り込むには

1 エリア変更 ▶ 県別で探す を選ぶ

2 都道府県/東京23区/政令指定都市▶市区町村を選ぶ
- 全エリア：住所絞り込みを解除

地方で絞り込むには

1 エリア変更 ▶ 地域で探す を選ぶ

2 絞り込む地方を選ぶ
- 全エリア：地方絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1 ジャンル変更 を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ
- 全ジャンル：ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.59)

お知らせ
- 現在地周辺の施設を絞り込んだ状態で 全エリア を選ぶと、現在地周辺の施設の絞り込みは解除されます。

電話番号で探す

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 電話番号 を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、完了 を選ぶ
- 修正：1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
- 市内局番までしかわからない場合は、市内局番までを入力して 完了 を選びます。
(下記「該当する電話番号がない場合」へ)

3 (個人宅の電話番号を検索したときのみ)
名字を入力し、完了 を選ぶ
- 修正：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。

地図が表示されます。(P.59)

該当する電話番号がない場合

1 住所一覧 を選ぶ

2 リストから住所を選ぶ
→P.55「住所で探す」手順**2**～**4**

地図が表示されます。(P.59)

登録ポイントから探す

準 備
- 地点を登録してください。(P.77)

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 登録ポイント を選ぶ

2 リストから登録ポイントを選ぶ
- 種別順：自宅、登録ポイントの順に並べ替え
- マーク順：マーク(P.78)順で表示
- 登録順：登録日付順で表示

地図が表示されます。(P.59)

住所で探す

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 住所 を選ぶ

2 都道府県/東京23区/政令指定都市▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、○○主要部 を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 番地指定 を選ぶ

4 番地・号を入力し、完了 を選ぶ
- 番地・号は、「－」で区切ってください。
- 修正：1文字削除

地図が表示されます。(P.59)

番地・号に該当する住所がない場合

その地域の主要部の地図が表示されます。

1 周辺住所 を選ぶ

2 リストから住所を選ぶ

地図が表示されます。(P.59)

自宅へ帰る

準 備
- 自宅を登録してください。(P.21)

行き先選択タッチキー(P.23)から 自宅 を選ぶ

ルートが設定されていない場合

現在地から自宅までのルートが探索され、探索結果画面が表示されます。(P.62)

ルートが設定されている場合

地図が表示されます。(P.59)

目的地・経由地の履歴から探す

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 履歴 を選ぶ
- 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選ぶ
- 前回出発地：
前回ルート案内したときに、出発地だった場所の地図を表示

地図が表示されます。(P.59)

お知らせ
- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に消去されます。
- 手動で履歴を消去するには→P.164
- 目的地・経由地のほかに、前回の出発地もリストに表示されます。

行き先を探す

おでかけ旅ガイドで探す

おでかけ旅ガイドとは

当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」からおでかけスポットやおでかけプランをダウンロードし、本機で利用できます。

http://navi-cafe.panasonic.jp/

- **おでかけスポットとは**
  おすすめの施設の詳細情報・写真・バーコード(QRコード)などを添付した地点情報です。
- **おでかけプランとは**
  おでかけスポットを目的地・経由地にしたドライブコースのデータです。
  - **おでかけプランナー：**
    お好みで、おでかけスポットを巡るおでかけプランを編集できます。
  - **おすすめおでかけプラン：**
    当サイトがおすすめするおでかけプランです。
- パソコンでWEBサイトYahoo!ロコ 地図から検索した地点を、おでかけスポットとして利用できます。詳しくは、サイトをご覧ください。

お知らせ

- 「おでかけ旅ガイド」以外のサービスを利用するには、「ナビcafe」の会員登録(無料)が必要です。
  詳しくは、サイトをご覧ください。

準 備

- **下記サイトで「ユーザー登録」をしてください。**
  http://panasonic.jp/navi/

1 パソコンでの操作

当社サイト「ナビcafe」から「おでかけ旅ガイド」にログインする

http://navi-cafe.panasonic.jp/

2 **おでかけスポット/おでかけプランをダウンロードする**

3 **ダウンロードしたデータをSDメモリーカードに保存する**

- **拡張子**：「SIG」(おでかけスポット)
  「DCF」(おでかけプラン)
- **ルートフォルダの直下に保存するか、ルートフォルダの直下に「Strada」または「IMEXPORT」という名称のフォルダを作成し、その直下に保存してください。それ以外の階層・フォルダに保存しても、本機で認識できません。**
- おでかけスポットとおでかけプランのデータはそれぞれ50件まで保存できます。

4 本機での操作

SDメモリーカードを本機に挿入する(P.27)

▼

おでかけスポット/おでかけプランを利用できます。(P.57)

おでかけスポットを利用する

準 備

- おでかけスポットのデータを準備してください。(P.56)

1 **行き先選択タッチキー**(P.23)**から おでかけ旅ガイド を選ぶ**

2 **おでかけスポット を選ぶ**

- 新しい順に50件までリストが表示されます。
- お知らせ ：「ナビcafe」のサービスのお知らせを表示

3 **リストからおでかけスポットを選ぶ**

- 説明 ：おでかけスポットの説明を表示

4 **リストから施設を選ぶ**

- エリア変更 ：絞り込む都道府県を選ぶ
  - 全エリア を選ぶと、都道府県からの絞り込みを解除します。
- キーワード ：絞り込むキーワードを入力
- 近 い 順 ：自車位置から近い順に並べ替え
- ５０音順 ：50音順で並べ替え
  - Yahoo!ロコ 地図で取得したデータは、50音順に並ばないことがあります。

▼

- おでかけスポット詳細画面(下記)が表示されます。

5 **決定 を選ぶ**

▼

地図が表示されます。(P.59)

おでかけプランを利用する

準 備

- おでかけプランのデータを準備してください。(P.56)

1 **行き先選択タッチキー**(P.23)**から おでかけ旅ガイド を選ぶ**

2 **おでかけプラン を選ぶ**

- 新しい順に50件までリストが表示されます。
- お知らせ ：「ナビcafe」のサービスのお知らせを表示

3 **リストからおでかけプランを選ぶ**

- 説明 ：おでかけプランの説明を表示

4 **このプランを利用する を選ぶ**

区間ごとの探索条件

ルート全体を広域の地図で表示

詳 マークの付いた項目を選ぶと、おでかけプラン・スポット詳細画面(下記)を表示

- おでかけプランの経由地は、目的地履歴(P.55)に保存されません。

▼

ルートが探索され、探索結果画面が表示されます。(P.62)

おでかけスポット詳細画面/おでかけプラン・スポット詳細画面の見かた

例：おでかけスポット詳細画面

- バーコード(QRコード)※1を携帯電話で読み取ると、施設の情報が携帯電話に表示されます。
  ※1 画面の傷や汚れ、光の反射、バーコード(QRコード)のバージョンによっては読み取れない場合があります。

行き先/経由地に設定(おでかけスポット詳細画面の場合のみ)→P.59、60

電話をかける(BLUETOOTH接続中のみ)
・通話中の操作について→P.138

バーコード/画像情報を切換(画像とバーコード情報がある場合のみ)

画像/バーコード情報を表示(情報がある場合のみ)

行き先を探す

周辺の施設をジャンルで探す（周辺ジャンル検索）

指定した地点の周辺の施設を、ジャンルから検索できます。(最大200件)
●周辺ジャンル一覧→P.200

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 周辺ジャンル を選ぶ

2 施設分類名/施設ジャンル/企業名・小分類を選び、完了 を選ぶ
- ●企業名・小分類は選択しない場合があります。
- ●5ジャンルまで選べます。
- ●施設分類の異なる小分類・施設（例：「駅」と「レストラン」など）は、組み合わせられません。
- ● 選択解除：右からひとつずつ解除

3 基準点※1 を選び、決定 を選ぶ
- ● 駅から設定 ：選んだ駅周辺
- ● 住所から設定 ：選んだ住所周辺
- ● 目的地周辺 ：選んだ目的地・経由地周辺
- ● 現在地周辺 ：現在地周辺を検索
- ● 先程設定した場所 ：前回指定した地点周辺

※1 基準点：検索する範囲の中心となる地点

4 リストから施設を選ぶ
- ● ジャンル変更：再度企業名・小分類を選ぶ
- ● エリア変更：再度基準点を選ぶ
- ● ルートサイド：ルート沿いの施設を絞り込み
- ● 距離順：基準点に近い順に並べ替え
- ● 種類順：ジャンルの種類ごとに並べ替え

地図が表示されます。(P.59)

主要施設を探す

公共施設・交通機関などの主要施設を、ジャンルから検索できます。

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 主要施設 を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ
- ●主要施設一覧→P.200
- ● 全て：主要施設のジャンルを全て表示

3 都道府県を選ぶ
- ● 全国（表示された場合のみ）：全国の施設リストを表示

4 リストから施設を選ぶ

地図が表示されます。(P.59)

マップコードで探す

マップコードについて、詳しくはP.193をご覧ください。

1 行き先選択タッチキー(P.23)から マップコード を選ぶ

2 マップコードを入力し、完了 を選ぶ
- ● 修正：1文字削除

地図が表示されます。(P.59)

郵便番号で探す

1 行き先選択タッチキー(P.23)から 郵便番号 を選ぶ

2 郵便番号を入力し、完了 を選ぶ
- ● 修正：1文字削除

地図が表示されます。(P.59)

入力した郵便番号に該当する住所の一覧から検索する場合

1 地図が表示されたら、住所一覧 を選ぶ
- ●ビルや事務所など、個別に割りあてられた郵便番号から地図を表示した場合、住所一覧 は表示されません。

2 住所を検索する
→P.55「住所で探す」手順**2**～**4**

地図が表示されます。(P.59)

ルートを探索する

行き先に設定する

行き先選択タッチキーから検索する

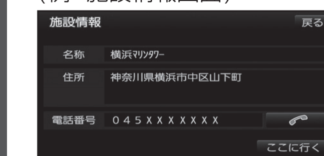
1 地点を検索する
- ●検索のしかた→P.54～58

2 ここに行く を選ぶ



- ●カーソルの地点を行き先に設定し、ルート探索を開始します。
- ● 情報：情報画面を表示

（例：施設情報画面）



- ・名称/住所/電話番号が表示されます。
- ・ ここに行く：施設を行き先に設定して、ルート探索を開始
- ・ （電話アイコン）：電話をかける（BLUETOOTH接続中のみ）
  - ・通話中の操作について→P.138

3 案内開始 を選ぶ
- ●ルート案内を開始します。
- ●車を発進させると、案内開始 を選ばなくてもルート案内を開始します。

お知らせ
- ●ルートが設定されている場合、現在のルートは消去されます。

地図から直接探す

1 地図をスクロールさせる

2 地図画面にタッチキーを表示させ(P.38)、行き先設定 を選ぶ



3 ここに行く を選ぶ



- ●カーソルの地点を行き先に設定し、ルート探索を開始します。
- ●地点が有料道路付近などの場合「○○上に目的地を設定しますか？」と表示されます。設定する/他の道路 を選んでください。

4 案内開始 を選ぶ
- ●ルート案内を開始します。
- ●車を発進させると、案内開始 を選ばなくてもルート案内を開始します。

お知らせ
- ●ルートが設定されている場合、現在のルートは消去されます。

ルートを探索する

経由地に設定する

行き先選択タッチキーから検索する

1 地点を検索する

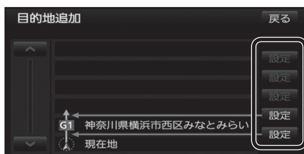
●検索のしかた→P.54～58

●行き先・経由地を合わせて５地点まで設定できます。

2 ここに立寄る を選ぶ



3 追加する区間の、設定 を選ぶ



●最後の区間に追加すると、目的地として設定されます。

4 （通過道路、入口/出口ICが設定されている直前または直後の区間に追加した場合のみ）

通過道路、入口/出口ICを解除する

はい を選ぶ

●通過道路（P.65）、入口/出口IC（P.66）が解除されます。

●いいえ を選ぶと、適正なルートが探索できない場合があります。

5 案内開始 を選ぶ

●ルート案内を開始します。

●車を発進させると、案内開始 を選ばなくてもルート案内を開始します。

地図から直接探す

1 地図をスクロールさせる

2 地図画面にタッチキーを表示させ（P.38）、行き先設定 を選ぶ



3 ここに立寄る を選ぶ



●カーソルの地点を次の経由地に設定し、ルート探索を開始します。

●地点が有料道路付近などの場合「○○上に目的地を設定しますか？」と表示されます。設定する/他の道路 を選んでください。

4 案内開始 を選ぶ

●ルート案内を開始します。

●車を発進させると、案内開始 を選ばなくてもルート案内を開始します。

提携駐車場を検索する

提携駐車場の情報がある場合のみ、検索できます。

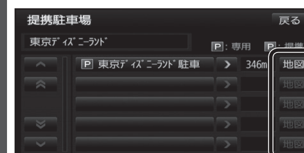
1 地点を検索する

●検索のしかた→P.54～58

2 提携 P を選ぶ



3 地図に表示させたい駐車場の 地図 を選ぶ



●リストを選ぶと駐車場の詳細情報を表示します。

4 行き先・経由地に設定する



●行き先→P.59

●経由地→P.60

お知らせ

●施設の専用駐車場は青、提携駐車場は緑の P で表示されます。

●表示される駐車場は、車両情報（P.20）の設定に基づいています。

探索結果画面から設定・確認する

ルート探索が完了すると、探索結果画面が表示されます。

探索結果画面



- ●ルート情報 .... 下記
- ●5ルート探索.................... 右記
- ●ルート変更
  - ・探索条件の変更 P.63
  - ・季節規制区間の回避........... P.63
  - ・経由地・目的地の編集......... P.64
  - ・通過道路の編集 P.65
  - ・入口/出口ICの編集 P.66
- ●通過道路指定 P.65
  （スクロール時のみ表示されます。）
- ●シミュレーション P.67

ルート情報を見る

1 探索結果画面（上記）から **情報** を選ぶ

- ●区間ごとの通過予想時刻、距離、料金※1などが表示されます。

2 ルート情報を確認する

∧：目的地方向に進む
∨：出発地方向に戻る



各地点の地図を表示

ルート案内を開始するには



現在地 を押す

お知らせ

- ●全ルート図からも、ルート情報を見ることができます。(P.69)

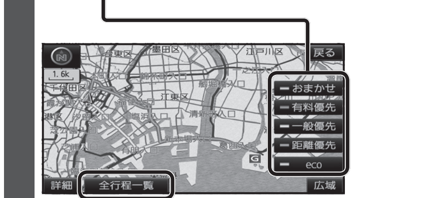
５つの条件のルートから選ぶ

1 探索結果画面（左記）から **5ルート** を選ぶ

- ●5通りのルートが表示されます。
- ●同じルートが表示される場合があります。
- ●下記の場合、5ルート探索できません。
  - ・経由地(P.60)、通過道路(P.65)、入口/出口IC(P.66)を設定したとき
  - ・ルート変更画面（P.63）から探索条件を変更したとき

2 ルートを選ぶ

- ● **おまかせ**※2：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
- ● **有料優先**※2：高速道路・有料道路を優先して通るルート
- ● **一般優先**※2：一般道路を優先して通るルート
- ● **距離優先**　：距離が短くなるルート
- ● **eco**※3：燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート



ルートごとの走行距離、料金※1、所要時間などを比較できます。

- ●選んだルートの探索結果画面が表示されます。

※1 料金（目安）は、車両情報（P.20）に基づいて案内されます。

※2 渋滞データバンク探索(P.164)を「する」に設定時は、青枠が表示されます。

※3 渋滞データバンク探索(P.164)を「する」に設定時、渋滞データは考慮されますが、青枠は表示されません。

区間ごとの探索条件を変更する

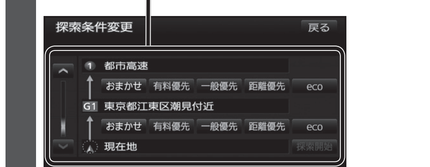
1 探索結果画面（P.62）から **ルート変更** を選ぶ

2 ルート変更画面から **探索条件変更** を選ぶ



3 変更する区間の探索条件を選び、**探索開始** を選ぶ

- ● **おまかせ**※2：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
- ● **有料優先**※2：高速道路・有料道路を優先して通るルート
- ● **一般優先**※2：一般道路を優先して通るルート
- ● **距離優先**　：距離が短くなるルート
- ● **eco**※3：燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート



- ●設定した条件でルート探索されます。
- ●渋滞データバンク探索(P.71)は、現在地から次の地点までの区間のみ探索できます。

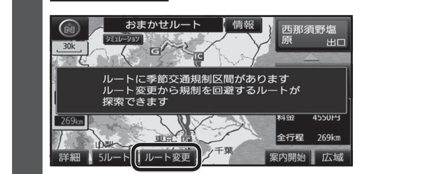
お知らせ

- ●全ルート図(P.69)または再探索メニュー(P.76)から **ルート変更** を選んでも、ルート変更画面を表示できます。

季節規制区間を回避する

ルート上に季節規制区間がある場合、規制区間を避けるルートを探索できます。

1 探索結果画面（P.62）から **ルート変更** を選ぶ



2 ルート変更画面から **季節規制回避** を選ぶ



- ●季節規制区間を回避するルートが探索されます。

お知らせ

- ●季節規制メッセージ表示(P.164)を「する」に設定している場合は、季節規制区間を通るルートが探索されるとメッセージが表示されます。
- ●季節規制区間を通るルートは、他のルートとは色が異なります。
- ●季節規制区間を回避するルートを設定しても、規制区間を通るルートを探索する場合があります。
- ●季節規制を回避するルートを探索したあと、ルート変更画面から **季節規制通過** を選ぶと、規制区間を通るルートが探索されます。

探索結果画面から設定・確認する

経由地・目的地を編集する

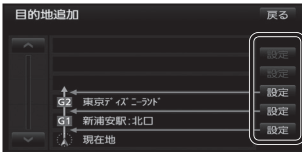
追加する（5地点まで）

1 ルート変更画面(P.63)から 追加 を選ぶ

2 施設を検索し、ここに行く を選ぶ

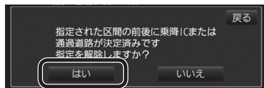
● 検索のしかた→P.54～58

3 追加する区間の 設定 を選ぶ



● 経由地・目的地が追加されます。

● メッセージが表示された場合は、 はい を選び、入口/出口ICまたは通過道路を解除してください。



・ いいえ を選ぶと、適正なルートが探索できない場合があります。

4 探索開始 を選ぶ

消去する

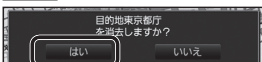
1 ルート変更画面(P.63)から 消去 を選ぶ

2 （経由地がある場合のみ）
経由地・目的地を選ぶ



● 全消去 ：ルートを消去

3 はい を選ぶ



● 選択した経由地・目的地が消去されます。

4 探索開始 を選ぶ

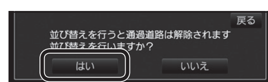
お知らせ

● ツートップメニューから 目的地消去 を選んでも、経由地・目的地を消去できます。(P.53)

並べ替える

1 ルート変更画面(P.63)から 並び替え を選ぶ

● メッセージが表示された場合は、 はい を選び、入口/出口ICまたは通過道路を解除してください。

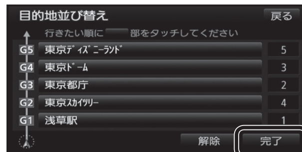


2 経由地・目的地を
並べ替える順に選ぶ



● 解除 ：並び替えを１地点ずつ解除

3 完了 を選ぶ



● 並び替えを完了します。

● 通過順を全て選んだあと、約3秒間何もしないと、選んだ順番で自動的に並び替えを完了します。

4 探索開始 を選ぶ

通過道路を編集する

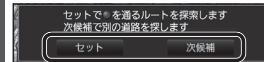
指定する（2つまで）

1 ルート変更画面(P.63)から 指定 を選ぶ

2 カーソルを指定したい場所に合わせ、
通過道路セット を選ぶ



3 次候補 で通過道路選び、
セット を選ぶ



● 通過道路が設定されます。

4 （経由地・他の通過道路・入口/出口ICがある場合のみ）
指定する区間の 設定 を選ぶ



● 設定した区間に、通過道路が追加されます。

5 探索開始 を選ぶ

お知らせ

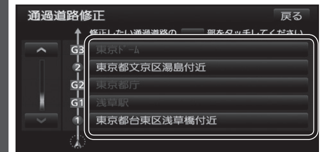
● 指定した入口/出口IC(P.66)の直前または直後の区間に通過道路を指定すると、入口/出口ICが自動的に解除されます。

● 探索結果画面(P.62)または全ルート図(P.69)をスクロールさせて、カーソルを指定したい場所に合わせ、 通過道路指定 を選んでも、通過道路を指定できます。

位置を修正する

1 ルート変更画面(P.63)から 修正 を選ぶ

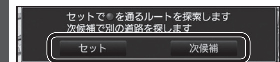
2 （通過道路が2つ設定されている場合のみ）
通過道路を選ぶ



3 カーソルを指定したい場所に合わせ、
通過道路セット を選ぶ



4 次候補 で通過道路を選び、 セット を選ぶ



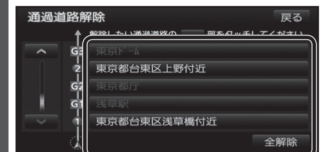
● 通過道路が修正されます。

5 探索開始 を選ぶ

解除する

1 ルート変更画面(P.63)から 解除 を選ぶ

2 （通過道路が2つ設定されている場合のみ）
通過道路を選ぶ



● 全解除 ：全ての通過道路指定を解除

3 はい を選ぶ



● 通過道路が解除されます。

4 探索開始 を選ぶ

探索結果画面から設定・確認する

入口/出口ICを編集する

設定する

1 探索結果画面(P.62)からICを選ぶ



2 利用したいICを選ぶ



●左画面でスクロールすると、中心付近のICが右画面に表示されます。

3 探索開始 を選ぶ

●入口/出口ICが設定され、ルート探索を開始します。

■指定したICに複数の出入口がある場合は

次候補 で入口/出口ICを選び、セット を選ぶ



●選んだ出入口が、入口/出口ICに設定され、ルート探索を開始します。

お知らせ

●目的地が高速道路上の場合は、出口の指定はできません。

●現在地が高速道路上の場合は、入口の指定はできません。

●ルート変更画面(P.63)からICを選んでも、入口/出口ICを編集できます。



●全ルート図(P.69)からICを選んでも、入口/出口ICを編集できます。



解除する

1 探索結果画面(P.62)からICを選ぶ



2 入口解除 / 出口解除 を選ぶ



●入口/出口IC指定が解除され、ルート探索を開始します。

ルートをシミュレーションする

探索結果画面(P.62)から シミュレーション を選ぶ



●シミュレーションを開始します。

● 現在地 を押す、もしくは車を発進させると、シミュレーションを中止してルート案内を開始します。

お知らせ

●縮尺を広域にすると、シミュレーション走行速度が速くなりますが、案内ポイント付近などでは速度は遅くなります。

●長距離のシミュレーションには時間がかかります。
ルートを確認するには→P.68、69

ルートを確認する

オンルートスクロールで確認する

1 表示変更メニュー(P.44)から オンルートスクロール を選ぶ



2 オンルートスクロールでルートを確認する



- S◀◀：前の地点※1に移動(ジャンプ)
- S◀：前の地点※1まで ルートスクロール※2
- ❚❚：ルートスクロール停止 (ルートスクロール中のみ)
- ▶G：次の地点※1まで ルートスクロール※2
- ▶▶G：次の地点※1に移動(ジャンプ)
- 設定：ジャンプ・ルートスクロール先の地点を設定する(右記)

※1 ジャンプ・ルートスクロール先の地点は、設定によって異なります。(右記)

※2 S◀(▶G)を選ぶと、表示がS◀◀(▶▶G)に切り換わります。選ぶと、高速でスクロールします。

お知らせ

- 縮尺切換、ノースアップへの切換ができます。切り換えると、ルートスクロールを停止します。
- 地図をスクロールできますが、ルートが表示されていないと、ジャンプ・ルートスクロールはできません。
- ルート沿いの施設(ジャンル)にジャンプ・ルートスクロールする場合(右記)は、800 mより詳細な縮尺にしてください。

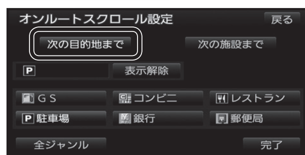
ジャンプ・ルートスクロール先の地点を編集する

■出発地・経由地・目的地ごとにジャンプ・ルートスクロールする

1 オンルートスクロールの画面で 設定 を選ぶ



2 次の目的地まで を選ぶ

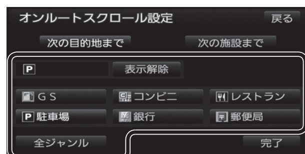


3 完了 を選ぶ

■ルート沿いの施設(ジャンル)にジャンプ・ルートスクロールする

1 オンルートスクロールの画面で 設定 を選ぶ

2 ジャンプ・ルートスクロールさせたい施設を選ぶ(5つまで)



- 全ジャンル：全てのジャンルを表示 →P.47「リストから選ぶには」
- 表示解除：ランドマークの表示を解除
- 施設のリストは、ランドマークセレクト(P.47)と同じ内容です。

3 次の施設まで を選ぶ

4 完了 を選ぶ

全ルート図で確認する

1 表示変更メニュー(P.44)から 全ルート を選ぶ



2 全ルート図でルートを確認する

入口/出口ICを編集する(P.66)



到着予想時刻表示/残距離表示を切り換える(P.74)

- ルート変更 ....P.62～66
- 通過道路指定 ....P.65 (スクロール時のみ表示されます。)
- 情報 P.62
- 案内に戻る：ルート案内に戻る

ルート探索について

探索条件について



おまかせ：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート（通常はおまかせで探索します。）

有料優先：高速道路・有料道路を優先して通るルート

一般優先：一般道路を優先して通るルート

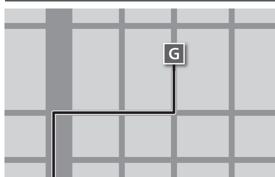
距離優先：距離が短くなるルート

eco：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 探索条件を変更するには→ P.63、76
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

細街路探索について



出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、他のルート色にある縁どりがありません。

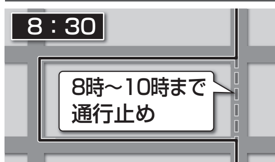
横付け探索について



目的地が中央分離帯のある道路に隣接している場合、施設の前に到着するように（施設が自車の左側になるように）ルートを探索します。

- 横付け探索することによりルートが遠回りになる場合、横付け探索しないことがあります。

曜日時間規制探索について

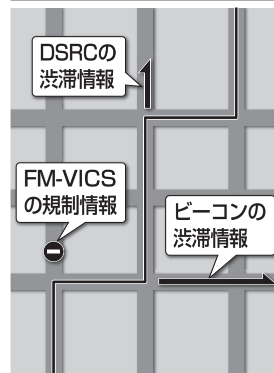


月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 規制区間（常時進入禁止区間を含む）を通るルートを探索した場合、ルート上に✕（黄色）が表示されることがあります。

VICS経路探索について



FM-VICSの規制情報（通行止など）をもとに、規制の場所を避けたルートを探索します。
（FM-VICSの渋滞情報は考慮されません。）

- 別売のVICSビーコンユニットを接続すると、ビーコンの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。
- 別売のDSRC車載器を接続すると、DSRCの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- ビーコンやDSRCの渋滞情報をもとにVICS経路探索する/しないの設定ができます。（VICS/DSRC探索→P.164）

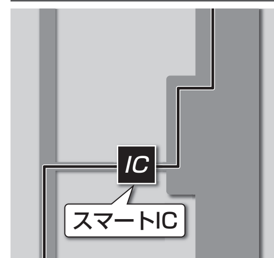
渋滞データバンク探索について



過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を予測し、その結果を考慮したルートを探索します。

- 渋滞データバンクで探索されたルートを通っても、早く着くとは限りません。
- 渋滞データバンク探索する/しないの設定ができます。（P.164）

スマートICを通るルートについて



スマートICの利用を考慮したルートを探索します。
その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、**通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC車載器/DSRC車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。**

- スマートICの利用を考慮したルートを探索する/しないの設定ができます。（スマートIC自動利用探索→P.164）

お願い

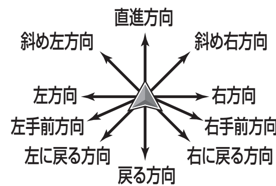
- **スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器またはDSRC車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC自動利用探索を「しない」に設定してください。**
- スマートIC自動利用探索の設定に関わらず、スマートICを入口/出口IC（P.66）または経由地（P.60）に設定すると、スマートICを通るルートが探索されます。ただし、通行できる時間帯や入口/出口ICの情報は考慮されません。
- ルート案内中にスマートIC自動利用探索設定を変更したときは、設定内容をルートに反映させるため、再探索メニューから探索条件を選び、再探索してください。（P.76）

ルート音声案内について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

音声分岐案内

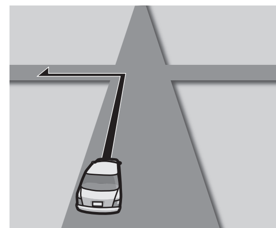
10方向で案内します。



- 分岐方向をわかりやすくするため、実際に走行する方向とは異なる案内をする場合があります。
  例：ルートの分岐がY字でゆるやかに右に曲がる場合（右図）、「左方向」または「直進方向」と案内されます。
- 走行する速度によっては、一部音声案内が行われない場合があります。



一般道路走行中は



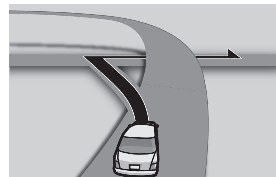
■ 交差点に近づくと

およそ**300 m**先、**大手町**を**左方向**です。

まもなく、**左方向**です。

左方向です。

- 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。
- 自動音声案内する/しないの設定→P.163

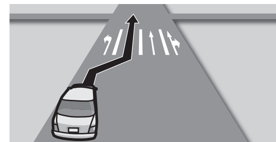


■ 立体交差点では

およそ**300 m**先、**大手町**を**斜め左方向**です。

まもなく、**斜め左方向**です。

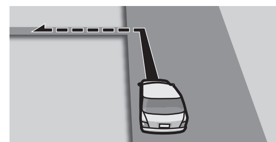
- 自動音声案内する/しないの設定→P.163



■ レーンのある道路では

この先、**左折専用レーン**があります。

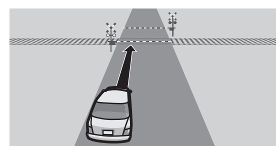
- レーン警告する/しないの設定→P.163



■ 狭い道に入るときは

およそ**300 m**先、**左方向**です。この先、狭い道に入ります。

- 自動音声案内する/しないの設定→P.163

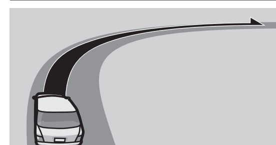


■ 踏切付近では

この先、踏切です。

- 踏切警告する/しないの設定→P.163

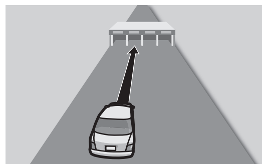
カーブに近づくと



- カーブ警告する/しないの設定→P.163

この先、カーブがあります。

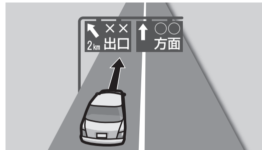
高速道路・有料道路走行中は



■ 料金所付近では

この先、料金所です。**料金は、700円です。**

- 料金（目安）は、車両情報（P.20）に基づいて案内されます。
- 料金案内する/しないの設定→P.163

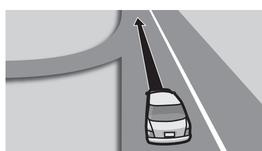


■ 分岐地点に近づくと

およそ**2 km**先、**左方向**、**外苑出口**です。

まもなく、**左方向**です。

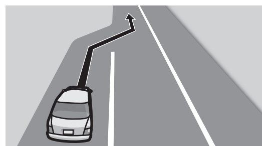
- 自動音声案内する/しないの設定→P.163



■ 合流地点に近づくと

この先、**左から**の合流があります。

- 合流警告は、注意の必要な合流地点で案内されます。
- 合流警告する/しないの設定→P.163



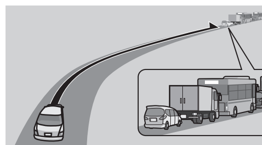
■ レーンのある道路では

この先、**左側車線**が減少します。

- レーン警告する/しないの設定→P.163

前方が渋滞していたら（VICS渋滞・規制音声案内）

ルート上の渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。（前方約10 km以内）

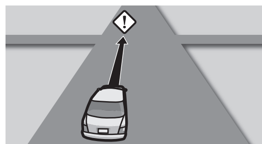


およそ、**2 km**先、渋滞があります。

- 再度渋滞規制音声案内を聞くには、VICSマークをタッチしてください。
- VICS渋滞・規制音声自動発声する/しないの設定→P.163

事故多発地点案内

事故多発地点の手前※1で音声案内し、注意を促します。

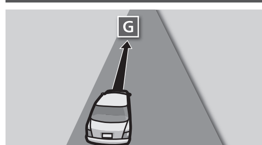


この先、事故多発地点です。ご注意ください。

- 事故多発地点案内する/しないの設定→P.163

※1 一般道路：約100 m手前
　　有料道路：約200 m手前

経由地・目的地に近づくと



目的地周辺です。

- 経由地に到着した場合でも、「目的地周辺です。」と音声案内します。
- 自動音声案内する/しないの設定→P.163

ルート案内中に

現在地・交差点の音声案内を聞く

ルート案内中に、現在地 を押す



●現在地の名称を表示して、次の分岐交差点などが案内されます。

●現在地の名称は、付近の地名や道路名称、道路番号などで表示されます。
●市区町村の境界付近では、隣の市区町村が現在地として表示される場合があります。

目的地までの地図を表示する

ルートが設定されている場合に、現在地から目的地までの地図を適切な縮尺で表示します。

1 詳細 / 広域 を選ぶ

●走行中は操作できません。

2 A→G を選ぶ



●目的地までの地図が表示されます。

到着予想時刻表示／残距離表示を切り換える

経由地が設定されている場合は、目的地または各経由地までの到着予想時刻表示／残距離表示に切り換えることができます。

1 を選ぶ



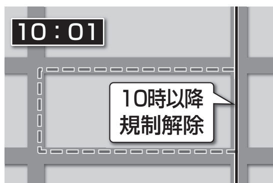
2 表示させたい目的地・経由地を選ぶ



●選んだ地点の表示に切り換わります。

●経由地がひとつしか設定されていない場合は、選ぶごとに目的地と経由地までの表示が切り換わります。
●探索結果画面(P.62)・全ルート図(P.69)からも、表示を切り換えられます。

ルート案内中の曜日時間規制探索



ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

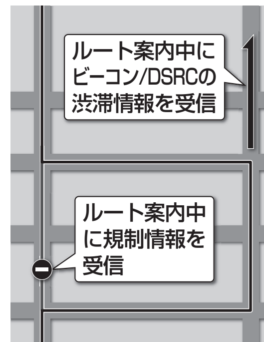
●規制区間(常時進入禁止区間を含む)を通るルートを探索した場合、ルート上に(黄色)が表示されることがあります。

ルートから外れたとき(オートリルート)



ルートを外れても、自動的に再探索します。
●一部の細街路では、オートリルートされない場合があります。
●オートリルートする/しないの設定ができます。(P.164)

ルート案内中のVICS経路探索(スイテルート案内)



FM-VICSの規制情報(P.51)を受信すると、規制を考慮したルートに変更します。(FM-VICSの渋滞情報は考慮されません。)
●別売のVICSビーコンユニットを接続すると、ビーコンの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。(DRGS※1)
●別売のDSRC車載器を接続すると、DSRCの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。(DRGS※1)
渋滞/規制の場所を避けたルートに変更する場合、新旧ルート比較情報(下記)が約6秒間表示されます。※2
●実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
●ビーコンやDSRCの渋滞情報をもとにVICS経路探索する/しないの設定ができます。(VICS/DSRC探索→P.164)
※1 DRGS:ダイナミックルートガイダンスシステム
※2 VICS/DSRC探索(P.164)の渋滞データ使用範囲を「広域」に設定してください。システムの初期化(P.166)をすると、表示される設定が解除されます。

新旧ルート比較情報



残距離/所要時間/渋滞距離の増減をマークで表現
目的地までの残距離/所要時間/渋滞距離の増減値
●通行止めを回避するルートに変更する場合、「通行止め回避」と表示します。
ルート変更理由

居眠り防止案内

長時間の運転中、音声で安全運転を促します。

例:長時間運転している場合、

長時間の運転お疲れ様です。
安全運転を心掛けましょう

●居眠り防止案内する/しないの設定→P.163

eco運転アドバイス

約1週間に一度の割合で起動時にエコドライブをすすめる音声案内が出力されます。

発進時は、おだやかにアクセルを踏んで
ゆっくりと走り出しましょう。

●eco運転アドバイスする/しないの設定→P.163

もう一度ルートを探索する（再探索）

現在地メニュー(P.38)から
再探索 を選ぶ



再探索メニューを表示



探索条件を変更する

変更したい探索条件
(おまかせ ※1/ 有料優先 ※1/ 一般優先 ※1/ 距離優先 / eco ※2) を選ぶ

●選んだ条件で再探索されます。
●探索条件について→P.70

●次の目的地・経由地、通過道路、入口/出口ICまでの区間が対象です。(他の区間の条件を変更する→ P.63)

※1 渋滞データバンク探索(P.164)を「する」に設定時は、青枠が表示されます。
※2 渋滞データバンク探索(P.164)を「する」に設定時、渋滞データは考慮されますが、青枠は表示されません。

次の経由地を消去する

次のⒼ消去 を選ぶ
●次の経由地を消去して、再探索されます。

次の通過道路を解除する

次の◆解除 を選ぶ
●次の通過道路を消去して、再探索されます。

次の入口/出口ICを解除する

IC指定解除 を選ぶ
●次の入口/出口ICを消去して、再探索されます。

現在のルートを迂回する

周辺迂回 を選ぶ
●自車位置から2 ㎞以内を迂回するルートが再探索されます。

●ルートによっては迂回できない場合があります。
●迂回する距離は設定できません。

ルートを変更するときは

ルート変更 を選ぶ
●ルート変更画面が表示されます。(P.63～66)

高速道路・有料道路で、誤って一般道路の案内をされたら

有料道から探索 を選ぶ
●自車位置を高速道路・有料道路に切り換えて、再探索されます。

一般道路で、誤って高速道路・有料道路の案内をされたら

一般道から探索 を選ぶ
●自車位置を一般道路に切り換えて、再探索されます。

お知らせ

●経由地が設定されていない場合は、次のⒼ消去 は表示されません。
●経由地、指定した入口/出口IC(P.66)が通過道路より手前にある場合は、次の◆解除 は表示されません。
●経由地・指定した通過道路(P.65)が入口/出口ICより手前にある場合は、IC指定解除 は表示されません。
● 一般道から探索 / 高速道から探索 は、異なる道路種別で隣接している並行な道路が対象です。

地点を登録する（登録ポイント）

登録ポイントについて

●最大106 件まで登録できます。(自宅を含む)
●登録された地点は、マークで表示されます。
●高速道路上で現在地を登録した場合は、マークで表示されます。マークに近づくと、音声でお知らせします。

地点を登録する

地図から現在地を登録する

現在地メニュー(P.38)から
ポイント登録 を選ぶ



●現在地が登録されます。

地図から現在地以外(カーソルの位置)を登録する

地点メニュー(P.38)から
ポイント登録 を選ぶ



●カーソルの位置(地点)が登録されます。

行き先選択タッチキーから登録する

1 行き先選択タッチキー(P.23)から地点を検索する
●検索のしかた→ P.54～58

2 地点登録 を選ぶ



●地点が登録されます。

設定メニューから登録する

1 設定メニュー(P.23)から
登録ポイント を選ぶ

2 登録ポイント画面から
登録ポイントの 登録 を選ぶ



3 登録したい地点を検索する



●検索のしかた→ P.54～58
● おでかけスポット :
おでかけスポットから検索
● 現在地 :
現在地を表示
● 地　図 :
最後に表示していた地図を表示

4 決定 を選ぶ



●地点が登録され、登録ポイントの情報を編集できます(P.78 手順**4**)

地点を登録する(登録ポイント)

登録ポイントを修正する

1 設定メニュー(P.23)から
登録ポイントを選ぶ

2 登録ポイント画面から
登録ポイントの修正を選ぶ

3 登録ポイントを選ぶ

- 種別順:自宅、登録ポイントの順に並べ替え
- マーク順:マーク(右記)順に並べ替え
- 登録順:登録日付順に並べ替え

4 登録ポイントの情報を修正する
(右記)

5 完了を選ぶ

マークを変更する

1 マークを選ぶ

2 マークのリストを選ぶ
(マーク1/マーク2/マーク3/音声付き)

3 マークを選ぶ
音声付きを選んだ場合

- 音確認:音声の確認
- 方向付きメモリ:
特定の方向から近づいたときのみ、音を出力
・方向を指定して、決定を選んでください。

お知らせ

- 音声付きからマークを選ぶと、近づいたときに音声でお知らせします。

名称を入力する

1 名称を選ぶ

2 名称を入力する
- 全角35文字(半角70文字)まで
- 文字入力のしかた→P.182

3 完了を選ぶ

場所を変更する

1 位置を選ぶ

2 変更したい場所に
スクロールさせる

3 決定を選ぶ

電話番号を入力する

1 電話番号を選ぶ

2 電話番号を入力する
(携帯電話・PHSの番号も可)
- この番号は、電話番号検索の対象となります。

3 完了を選ぶ

自宅に設定する

- 自宅→P.21、55

1 自宅に設定を選ぶ

2 (すでに自宅が登録されている場合)
はいを選ぶ
- 今までの自宅は、通常の登録ポイントとして残ります。
- 登録した自宅を呼び出すには
→P.55

■ 自宅を解除するには

1 自宅解除を選ぶ

2 はいを選ぶ
- 今までの自宅は、通常の登録ポイントとして残ります。

登録ポイント修正画面

マップコード(P.58、193)

地図上に登録ポイントの名称を表示する/しないを設定する

する/しないを選ぶ
- する:地図上に登録ポイントの名称が表示される
- しない:地図上に登録ポイントの名称が表示されない

登録ポイントの情報を見る

登録ポイントにカーソルを合わせ、
情報を選ぶ

- 登録ポイント情報画面が表示されます。

登録ポイント情報画面

登録ポイントの名称・住所・電話番号が表示されます。(情報がある場合のみ)

- 修正:登録ポイントの情報を修正(P.78)
- 消去:登録ポイントを消去
- (電話):電話をかける(BLUETOOTH接続中のみ)
・通話中の操作について→P.138

■ルートが設定されていないとき
- ここに行く →P.59

■ルートが設定されているとき
- ここに行く →P.59
- ここに立寄る →P.60

登録ポイントを消去する

一度消去するともとに戻せません。
消去は十分確認のうえ行ってください。

1 登録ポイント画面(P.78)から
登録ポイントの消去を選ぶ

2 登録ポイントを選ぶ
- 種別順:ジャンルの種別ごとに並べ替え
- マーク順:マーク(P.78)順に並べ替え
- 登録順:登録日付順に並べ替え
- 全消去:全ての登録ポイントを消去

3 はいを選ぶ

- 登録ポイントが消去されます。

迂回したいエリアを登録する（迂回メモリー）

迂回したいエリアや地点を登録しておくと、そこを回避するルート探索ができます。
（最大10カ所まで）

- 登録された迂回エリア/地点は、地図画面上に（黄色の枠）/ で表示されます。
- ルートが設定されている場合（ルート案内中止時を含む）は、登録後ルートを再探索します。

迂回メモリーを登録する

1 登録ポイント画面（P.78）から
迂回メモリーの 登録 を選ぶ

2 迂回メモリー登録画面から
迂回したいエリアを表示させる

- 検索方法は、登録ポイントと同じです。（P.77）
- おでかけスポット：
おでかけスポットから検索
- 現在地：現在地を表示
- 地 図：最後に表示していた地図を表示

3 決定 を選ぶ

4 ∧ / ∨ でエリアを変更し、
セット を選ぶ

- エリアを最小にすると、 となり、迂回地点として登録されます。
- 迂回メモリーのエリアは、
最大12.8 km×12.8 kmまでです。
- 地図は、縮尺のみ変更できます。

5 完了 を選ぶ

迂回メモリーを消去する

一度消去するともとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。

1 登録ポイント画面（P.78）から
迂回メモリーの 消去 を選ぶ

2 迂回メモリーを選ぶ

- 全消去：全ての迂回メモリーを消去

3 はい を選ぶ

この迂回メモリーを消去しますか？
はい　いいえ

- 迂回メモリーが消去されます。

迂回メモリー情報を修正する

1 登録ポイント画面（P.78）から
迂回メモリーの 修正 を選ぶ

2 迂回メモリーを選ぶ

3 項目を選び、修正する

設定項目	操　作	
ルート探索に考慮させる（有効）/させない（無効）を選ぶ	有効 / 無効 を選ぶ	
名称を入力する	名称 を選ぶ	名称を入力し、完了 を選ぶ ● 全角35文字（半角70文字）まで ● 文字入力のしかた→P.182
名称を地図上に表示する/しないを選ぶ	する / しない を選ぶ	
場所を変更する	位置 を選ぶ	変更したい位置にスクロールさせ、セット を選ぶ
迂回エリアを変更する	迂回エリア変更 を選ぶ	∧ / ∨ でエリアを変更し、セット を選ぶ

4 完了 を選ぶ

お知らせ

- 迂回エリア/地点の設定が「無効」（P.81）の場合、ルート探索に考慮されません。
- 下記の場合は、迂回エリア/地点を通るルートが探索されます。
  - 迂回エリア内に自車や目的地がある。
  - 目的地までが一本道などで、迂回エリア/地点を回避できない。
- 迂回エリア内の高速道路は、迂回対象になりません。高速道路を迂回するルートを探索するには、エリアを最小（迂回地点）にして、高速道路上に設定してください。

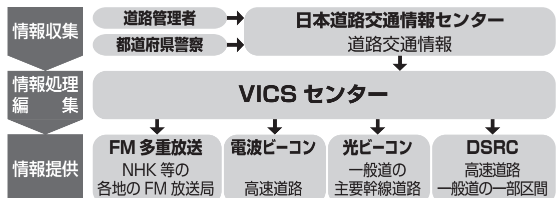
VICS(ビックス)情報を見る

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

- **本機では、FM-VICSを受信できます。**
- **別売のDSRC車載器(CY-DSR140D)※を接続すると、DSRCからのVICS情報を受信できます。**

※本機は電波・光ビーコンサービスに対応していません。サービスを受けるには、別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)との接続が必要です。

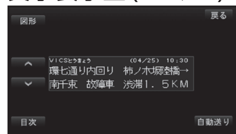


お知らせ

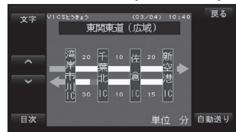
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

交通情報の表示について

文字表示型(レベル1)



図形表示型(レベル2)



- 縮尺や表示は切り換えられません。

地図表示型(レベル3)



画像・音声情報(DSRCのみ)

(例:多目的情報)

- **受信する情報の内容**

優先情報	安全運転支援情報 緊急メッセージ情報 注意警戒情報
一般情報	電子標識情報 多目的情報 長文読み上げ情報 広域文字情報 障害情報

・DSRCの優先情報、一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.85

お知らせ

- 新しい情報が受信されないと、約30分後にVICS情報は消去されます。(DSRCの一部の情報は除く)
- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、VICS情報を受信できません。

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。





お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 表示する/しないの設定→P.48、49
- レベル3情報の見かた→P.50~51

緊急情報を受信すると

受信するとただちに表示されます。



事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークにカーソルを合わせ、赤枠を表示させる



- 情報が約6秒間表示され、自動的に消去されます。

文字表示型(レベル1)・図形表示型(レベル2)のVICS情報を受信すると(FM多重・ビーコン)

FM多重では

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を見るには→P.84

電波・光ビーコンでは

受信すると、地図画面に、自動的に一定時間(5~30秒間)割り込み表示されます。

- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示を中断したり、表示しない場合があります。
- **割り込み表示**



・文　字 :文字情報に切換
・図　形 :図形情報に切換
・∨ ∧ :ページ切換
・表示消 :表示の消去

・割り込みの設定→P.85

※1 VICS/DSRC探索(P.164)の渋滞データ使用範囲を「広域」に設定すると、表示されます。システムの初期化(P.166)をすると、表示される設定が解除されます。

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(DSRC)

地図画面に、自動的に一定時間(5~30秒間)割り込み表示されます。
音声情報がある場合は、音声情報が再生されます。

[優先情報]:安全運転支援情報/緊急メッセージ情報/注意警戒情報

- 落下物情報や渋滞末尾情報など注意や警戒を促すための情報が提供されます。災害発生時は停車や非難等の行動指示のための情報も提供されます。

[一般情報]:電子標識情報/多目的情報/長文読み上げ情報/広域文字情報/障害情報

- 広域の所要時間を案内する広域道路情報や静止画による前方状況情報などが提供されます。

落下物情報



渋滞末尾情報



前方静止画像情報



・停 止 :音声情報の停止
・再 生 :音声情報の再生
・∨ :ページ送り
・表示消 :表示の消去

・DSRCの設定→P.85

お知らせ

- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- 優先情報・一般情報を割り込み表示する/しないの設定ができます。(P.85)
- 「自動割込みの表示時間」(P.85)の設定に関わらず、音声情報再生中は、割り込み表示は消去されません。

VICS情報を見る

VICS情報を見る

FM多重の文字情報（レベル１）/ 図形情報（レベル２）を見る

1 設定メニュー（P.23）から VICS/DSRC を選ぶ

2 VICS/DSRC呼出・設定画面から 文字情報 / 図形情報 を選ぶ



3 見たい情報の番号を選ぶ



文字：文字情報に切換
図形：図形情報に切換
∧ ∨：ページ切換
目次：もくじを表示
自動送り：ページ自動送り

緊急情報/電波・光ビーコンの割り込み情報を見る

VICS/DSRC呼出・設定画面（上記）から 割込情報 を選ぶ



文字：文字情報に切換
図形：図形情報に切換
∧ ∨：ページ切換

DSRCの割り込み情報を見る

VICS/DSRC呼出・設定画面（上記）から DSRC割込情報 を選ぶ



∧ ∨：ページ切換
停止：音声情報の停止
再生：音声情報の再生

お知らせ

- 割り込み表示されなかった情報も、上記の画面から見ることができます。

VICS情報を受信する FM放送局を選ぶ

1 VICS/DSRC呼出・設定画面（左記）から VICS選局 を選ぶ

2 自車位置に応じて自動で選局する（推奨）

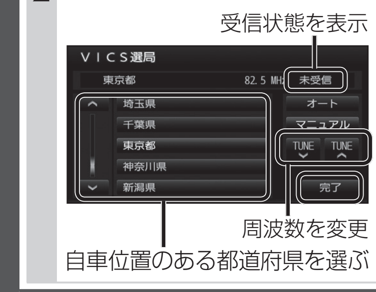
オート を選ぶ

手動で選局する

1 マニュアル を選ぶ

2 選局し、完了 を選ぶ

受信状態を表示



周波数を変更

自車位置のある都道府県を選ぶ

割り込みの設定をする

1 VICS/DSRC呼出・設定画面（P.84）から 割込設定 を選ぶ

2 各項目を設定し、完了 を選ぶ



設定項目	内容
注意警戒情報自動割込	「する」：情報を受信すると、自動的に表示される。「しない」：情報は自動的に表示されない。
ビーコン文字情報自動割込	（同上）
ビーコン図形情報自動割込	（同上）
自動割込みの表示時間	< > で調整する 調整範囲：5秒〜**10秒**〜30秒（5秒ステップ）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

DSRCの設定をする

1 VICS/DSRC呼出・設定画面（P.84）から DSRC設定 を選ぶ

2 各項目を設定し、完了 を選ぶ



設定項目	内容
DSRC優先情報表示	「する」：情報を受信すると、自動的に表示される。「しない」：情報は自動的に表示されない。
DSRC一般情報表示	（同上）
DSRCアップリンク（下記）	「する」：本機で収集した情報を、DSRC路側機に自動的に送信する。「しない」：本機で収集した情報を、DSRC路側機に送信しない。

［**太字**：お買い上げ時の設定］

■ アップリンクとは

DSRC車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報（走行位置情報など）をDSRC路側機へ送信することをいいます。
送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、DSRC車載器の説明書もご覧ください。

VICS情報を見る

渋滞データバンクを見る

お好みの日時/場所の渋滞データバンクの情報を表示できます。

■渋滞データバンクについて
過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を考慮します。そのため、渋滞データバンクの内容は、実際の渋滞状況とは異なる場合があります。

設定メニュー(P.23)**から 渋滞データバンク を選ぶ**

日時を表示



- 現在時刻の渋滞データバンク情報が表示されます。
- 渋滞データバンク表示を解除するには、現在地 を押してください。

お知らせ

- **下記の制限があります。**
  向き：2D、ノースアップのみ
  縮尺：1.6 kmより広域では情報は表示されません。
  操作：スクロール、縮尺切換のみ可
- 現在時刻以前の日時は設定できません。
- 渋滞データバンクを考慮したルートを探索するには、渋滞データバンク探索を「する」に設定してください。(P.164)

現在時刻以降の渋滞データバンク情報を表示させたい場合

時刻を調整する

＋1時間 ＋10分 －10分 －1時間 を選ぶ

- 選ぶごとに、1時間単位(または10分単位)で時刻が変わります。

日時を設定する

1 日時指定 を選ぶ

2 日時を入力し、完了 を選ぶ

- 日付修正：年・月・日を修正
  - ・日付修正 を選ぶごとに、日・月・年の順で日付が消去されます。
- 時刻修正：時・分を修正
  (24時間制/10分単位)
  - ・時刻修正 を選ぶごとに、分・時の順で時刻が消去されます。

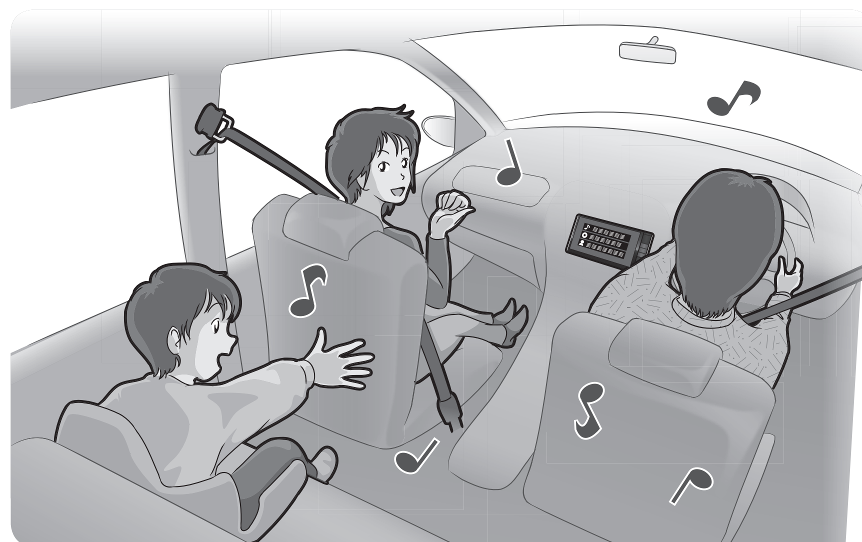
渋滞データバンクの表示内容を変更する

1 表示設定 を選ぶ

2 各項目を設定し、完了 を選ぶ

- 表示道路種別
  - 全て：高速道/一般道の情報を表示
    [お買い上げ時の設定]
  - 高速道のみ：高速道の情報のみ表示
  - 一般道のみ：一般道の情報のみ表示
- 渋滞なし表示
  - する：渋滞がない道路を緑色の矢印で表示
    [お買い上げ時の設定]
  - しない：渋滞がない道路の情報を表示しない

オーディオ



オーディオの基本操作

走行中は、デジタルTV、DVD、SD動画、iPodビデオ、HDMI、VTR、Drive P@ss（動画など）の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
走行中でも、2台目のモニターには映像が出力されます。
[SD動画、HDMI、Drive P@ss（動画など）の映像は2台目のモニターには出力されません。]

オーディオに切り換える

AUDIO を押す

- オーディオの画面に切り換わります。

オーディオの種類を選ぶ

切換タッチキーから オーディオを選ぶ



- 選んだオーディオに切り換わります。
- 切換タッチキーには、ツートップメニューにあるオーディオ選択タッチキー（P.22）が表示されます。

切換タッチキーにない オーディオを選ぶ場合は

1 その他 を選ぶ

- 他のオーディオのメニューが表示されます。

2 切り換えたいオーディオを選ぶ



- 選んだオーディオに切り換わります。

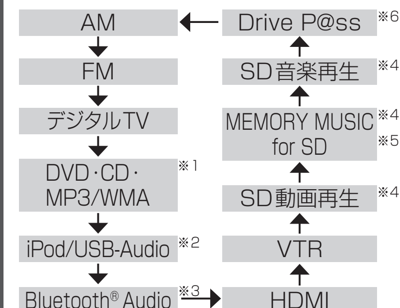
ステアリングスイッチで選ぶには

準 備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。（P.165）

SOURCE（ソース）を割りあてたステアリングスイッチを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。
- オーディオOFF時はオーディオONに切り換わります。
- 交通情報画面（P.125）表示中は、FMに切り換わります。



※1 ディスク（DVD・CD・MP3/WMA）挿入時のみ
※2 iPod/USBメモリー接続時のみ
※3 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ
※4 SDメモリーカード挿入時のみ
※5 本機で録音した音楽データの再生。録音中（P.105）は切り換わりません。
※6 Drive P@ss接続時のみ

お知らせ

- オーディオ選択タッチキーから選ぶこともできます。（P.22）
- 切換タッチキー・ツートップメニューにあるオーディオ選択タッチキーの項目は変更できます。（P.24）
- **ハンズフリー通信中（通話中、発着信中）は、切り換えることができません。**
- オーディオの音量を調整するには→P.16

オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に 現在地 を押す

- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。（下記）

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。（P.129）

オーディオをOFFにする

切換タッチキーで

OFF を選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。（オーディオOFF）

■ **オーディオをONにするには**

ON を選ぶ

ツートップメニューから

AUDIO OFF を選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。（オーディオOFF）

■ **オーディオをONにするには**

AUDIO ON を選ぶ

お知らせ

- **ハンズフリー通信中（通話中、発着信中）は、切り換えることができません。**

ディスクを挿入する

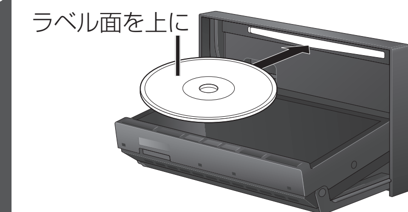
1 TILT を押す

2 チルト/イジェクト画面から DISC−EJECT を選ぶ



- モニターが開きます。
- ディスクが挿入されている場合は DISC−EJECT と表示され、選ぶとディスクが排出されます。

3 ディスクを挿入する



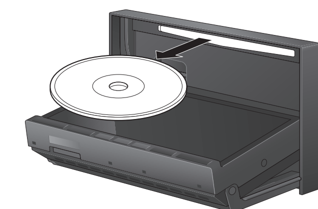
- モニターが自動的に閉まり、再生を開始します。

ディスクを取り出す

1 チルト/イジェクト画面（上記）から DISC−EJECT を選ぶ

- モニターが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



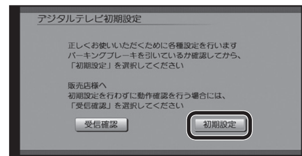
- TILT を押して、モニターを閉じてください。

地上デジタルTVを見る

［デジタルTV］に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてデジタルTVに切り換えたときは、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。



1 初期設定 を選ぶ
- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、受信確認 を選んでください。
  - ・受信確認中は、◀▶で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■伊豆、小笠原諸島地域

1 沖縄・その他の島部 を選ぶ

2 東京都島部 を選ぶ

■南西諸島鹿児島県地域

1 沖縄・その他の島部 を選ぶ

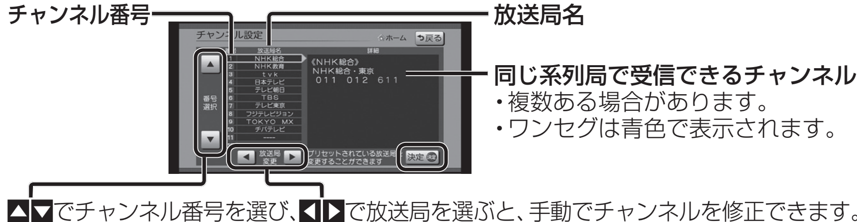
2 鹿児島県島部 を選ぶ

4 次へ を選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、決定 を選ぶ
- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、決定 を選ぶ
- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.96)



▲▼でチャンネル番号を選び、◀▶で放送局を選ぶと、手動でチャンネルを修正できます。

7 終了 を選ぶ
- **これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。**

デジタルテレビ初期設定を変更・再確認するには

デジタルテレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、システムの初期化(P.166)をするまで表示されません。引越しで受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定....................................P.96「郵便番号」
- 県域設定 ....P.96「県域」
- ホームモードのチャンネル設定......P.96「ホームチャンネル」

■ 周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、再スキャン(P.96)を行ってください。

■ 緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急放送に切り換わります。



- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り換わりません。
- オーディオがデジタルTVの状態でも、地図画面やメニュー画面などを表示させている場合は、緊急警報放送を開始しても自動的には切り換わりません。
- 緊急警報放送が終了しても、もとの番組には切り換わりません。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

地上デジタルTVを見る

[デジタルTV]に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

デジタルTVの基本操作

順送りで選局する

[⏮] [⏭] を押す

●1チャンネルずつ切り換わります。

リストから選局する

●ひとつの放送局で複数の番組が放送されているときは、同じチャンネルを続けて選ぶと、番組を切り換えられます。
●地域によっては、同じチャンネル番号に複数の放送局(**枝番号**)が登録されることがあります。
例：「NHK総合・大阪」、「NHK総合・京都」が1チャンネルに登録されている場合など
●ひとつの放送局が同じ時間帯に異なる番組を放送している場合でも、チャンネル番号が最も小さいチャンネルしか選べないことがあります。
●フリック/ドラッグによるスクロールはできません。

番組表を見る

番組表

番組表を消去



番組内容を見る(右記)

選んで番組内容を見る(右記)

緑線部分：放送時間の短い番組があります。選ぶと番組が表示されます。

●拡大/縮小：番組表の拡大/縮小
●▲時間/▼時間：時間帯を選ぶ
●◀前日/翌日▶：別の日の番組表を見る
●◀チャンネル/チャンネル▶：チャンネルを選ぶ
●選局：選局パネルに戻る

●電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
●受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
●地上デジタル放送は8日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

デジタルTV視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)**が表示されます。**

●約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

(ホームモード)/(おでかけモード)を表示

選局パネルを消去

選局パネル

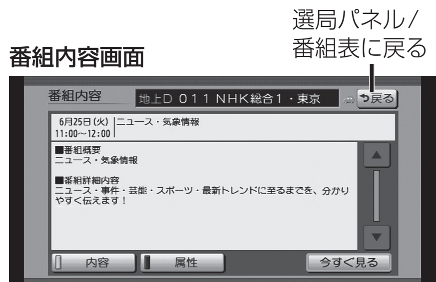


デジタルTVメニューを表示(P.94)

番組内容を見る

番組内容画面

選局パネル/番組表に戻る



●内容：番組内容画面を見る
●属性：属性画面(詳細な情報)を見る
●今すぐ見る：今放送中の番組を見る

カーソルパネルの操作



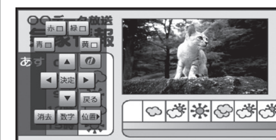
項目を選択

データ放送の表示/消去

◀▶▲▼：項目の選択/
決定：選んだ項目に決定

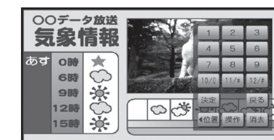
カーソルパネルを消去
●再度カーソルパネルを表示させるには、選局パネル(P.92)を表示させて、d操作を選んでください。

カーソルパネルを移動



●位置▶：もとの位置に戻す

数字パネルに切換



●操作：カーソルパネルに戻す

データ放送を見る

カーソルパネル(上記)**から d を選ぶ**

●データ放送が表示されます。
●情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
●再度 d を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

●双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

■ 画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



●文字入力のしかた→P.182
●本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

デジタルTV視聴中にAUDIOを押すと、状態表示画面が表示されます。

状態表示画面



全画面で表示
●AUDIOを押しても、全画面で表示できます。

音質・音場を調整する(P.126)

チャンネル番号から選曲する

1～12を選ぶ

●選んだ放送局に切り換わります。

お知らせ

●同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)がある場合、チャンネルを続けて選ぶと枝番号が切り換わります。

オーディオ　地上デジタルTVを見る

選局パネル(P.92)から
デジタルTVメニュー を選ぶと、
デジタルTVメニューが表示されます。

デジタルTVメニューの説明を表示

デジタルTVメニュー

アスペクトを切り換える(P.128)

情報/設定画面

システム設定画面

(1/2)

(2/2)

● システム設定をするには→P.96

デジタルTVの受信や信号の設定をする

1 設定したい項目を選ぶ

2 設定する(P.95)

ソフト情報を見る

1 ソフト情報表示 を選ぶ

2 情報を確認する

● 文章1、文章2、文章3 を選ぶと、ソフト情報が切り換わります。

デバイスID表示

通常は、この操作は必要ありません。

デバイスID表示 を選ぶ

●受信機(本機)の情報が表示されます。

●お問い合わせの際に必要な場合があります。

[**太字**:お買い上げ時の設定]

項目		設定
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。		「**自動切換**」:受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 ● 番組のタイトル表示・チャンネル表示に AUTO と表示されます。 「ワンセグ」:受信状態に関わらずワンセグを受信 「地 上 D」:受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信 ● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
プリセットモード ホームモード/おでかけモードを切り換えます。		「ホ ー ム」:ホームモードに切換 「**おでかけ**」:おでかけモードに切換 ■ホームモード デジタルテレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.90)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。 ● 放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.96) ● ホームモード設定中におでかけモードプリセット(下記)を行うと、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。 ■おでかけモード ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(下記「おでかけスキャン」) また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(下記「エリアプリセット」)
おでかけモードプリセット ■おでかけスキャンについて ● 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。 ● おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。 ● おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンするとエリアプリセットは解除されます。		「エ リ ア」:自車位置に応じて放送局リストを自動的に切換(エリアプリセット) ● 再度選ぶと解除されます。 「初期スキャン」:現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。(おでかけ初期スキャン) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間) ● デジタルTV画面で ▶▶| を1秒以上押しても、おでかけ初期スキャンできます。 「再スキャン」:新たに受信できたチャンネルが追加されます。(おでかけ再スキャン) ● 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間) ● デジタルTV画面で |◀◀ を1秒以上押しても、おでかけ再スキャンできます。
放送局一覧	放送局一覧 を選ぶ	放送局一覧を確認する ● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ● ワンセグは青色で表示されます。
信号切換	信号切換 を選ぶ	各項目を設定する 「マルチビュー」:マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映 像」:映像が複数あるときに選択できます。 「音 声」:音声が複数あるときに選択できます。 「二 重 音 声」:音声多重放送のときに選択できます。 「字 幕」:字幕言語が複数あるときに選択できます。 「文字スーパー」:文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

地上デジタルTVを見る

デジタルTVのシステム設定をする

1 システム設定画面(P.94)から設定したい項目を選ぶ

2 設定する(下記)

［**太字**:お買い上げ時の設定］

項　目	設　定		
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	「**す　　る**」:オート放送局サーチする。 「し な い」:オート放送局サーチしない。 ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。(P.92「リストから選局する」) ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。		
地上D選局対象※1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「**テ　　レ　　ビ**」:テレビサービスのみ選局する。※2 「テレビ/データ」:テレビサービスと独立データサービスを選局する。 ※1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 ※2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。		
郵便番号 お住まいの地域の郵便番号を設定します。	**お住まいの地域の郵便番号を入力する。**		**決定を選ぶ**
県域 お住まいの都道府県を設定します。	**P.90「デジタルテレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作で都道府県を選ぶ**		
ホームチャンネル	**ホームモードで使用するチャンネルを設定します。(ホームスキャン)** 準 備 ● ホームモードに切り換えてください。(P.95)		
放送局を上書きしてチャンネルを記憶する(初期スキャン)	**初期スキャンを選ぶ**	**◀ ▶で地域を選び、決定を選ぶ** ● 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。	**内容を確認し、決定を選ぶ** ● チャンネルを修正するには→P.90 手順**6**
	引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。		
放送局リストにチャンネルを追加する(再スキャン)	**再スキャンを選ぶ** ● 新たに受信できたチャンネルが追加されます。 ● 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)		**内容を確認し、決定を選ぶ** ● チャンネルを修正するには→P.90 手順**6**
	自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。		
設定したチャンネルを修正する(マニュアル)	**マニュアルを選ぶ**	**チャンネルを修正する** →P.90 手順**6**	**決定を選ぶ**
バージョンアップ	地上デジタルTVチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。		

ラジオを聞く

[AM] [FM]に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



交通情報を聞く※1
(P.125)

音質・音場を調整する
(P.126)

自車位置に応じて放送局を切り換える(エリアモード)

エリアを選ぶ

●自車位置の地域に応じた放送局のリストが表示されます。

エリアモードを解除するには

エリアモード中にエリアを選ぶ

●オートプリセットしても、エリアモードは解除されます。

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)

オートを2秒以上タッチする

●受信状態の良い放送局から順に上書きされ、記憶されます。(FM/AM各6局まで)
●受信できる放送局が見つからないときは、1周してもとの放送局に戻ります。
●オートプリセット中にオートを選ぶと、オートプリセットを中止します。

※1 AM画面でのみ表示されます。

お知らせ

● AMステレオには対応していません。

周波数から選局する

|◀◀ ▶▶|を押す

●2秒以上タッチして離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

リストから選局する

状態に応じてリストの内容が異なります。

●**エリアモード時**:
自車位置の地域に応じた放送局

●**エリアモード解除時**:
オートプリセット・プリセットメモリーで記憶させた放送局

放送局を選ぶ

●選んだ放送局に切り換わります。

受信中の放送局を手動でリストに記憶させる(プリセットメモリー)

準 備

●記憶させたい放送局を手動で選局してください。(上記)

記憶させたい枠(番号)を2秒以上タッチする

●受信中の放送局が、選んだ枠(番号)に記憶されます。

お知らせ

●エリアモード時はプリセットメモリーできません。
●地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。

ディスクを再生する

● [DVD]に切り換えるには→P.88「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.89

DVDを再生する

●本機で再生できるディスクについて→P.184

本編再生中に画面をタッチすると、基本操作タッチキーが表示されます。

基本操作タッチキー：DVD-Video



設定タッチキーを表示する(P.100)

ダイレクトタッチメニューを表示(P.99)

全画面で表示
● AUDIO を押しても、全画面で表示できます。

音質・音場を調整する(P.126)

一時停止 DVD-Video DVD-VR

再生中に ▮▮ を選ぶ
● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

停止 DVD-Video DVD-VR

再生中に ■ を選ぶ
● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

チャプターの頭出し

|◀◀ ▶▶| を押す

早送り・早戻し
DVD-Video DVD-VR

◀◀ ▶▶ をタッチし続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生
DVD-Video DVD-VR

送る

一時停止中に ▶▶ をタッチし続ける
●離すと、一時停止に戻ります。

戻す（DVD-Video のみ）

一時停止中に ◀◀ をタッチし続ける
●離すと、一時停止に戻ります。

トップメニュー/タイトルメニューから項目を選ぶ DVD-Video

1 基本操作タッチキー(P.98)から、トップメニュー / タイトルメニュー を選ぶ
●トップメニュー/タイトルメニューが表示されます。

2 項目をタッチして選ぶ



●内容は、ディスクによって異なります。
●ダイレクトタッチメニュー（右記）が表示されないときは、基本操作タッチキー(P.98)から ✧ を選んで表示させてください。
● 戻る を選ぶと画面がもとに戻ります。

項目が選びにくい場合は

1 ダイレクトタッチ を選ぶ
●ダイレクトタッチメニューが表示されます。

2 ∧∨<> で項目を選び、決定 を選ぶ



静止画を切り換える DVD-VR

画像送り を選ぶ
●次の画像に切り換わります。
●前の画像に切り換えることはできません。

プログラム再生/プレイリスト再生を切り換える DVD-VR

再生モード を選ぶ
●選ぶごとに切り換わります。



基本操作タッチキー：DVD-VR

●基本操作タッチキーが DVD-Video とは一部異なります。

プログラム/プレイリストの頭出し DVD-VR

∧ ∨ を選ぶ

二重音声を切り換える DVD-VR

二重音声 を選ぶ
●選ぶごとに、切り換わります。

主（主音声）
↓
副（副音声）
↓
主+副（主音声+副音声）

ディスクを再生する

DVDを再生する（続き）

基本操作タッチキー(P.98) から 設定 を選ぶと、設定タッチキーが表示されます。

音声の切換

1 音声 を選ぶ

2 音声切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声言語が切り換わります。

アングルを切り換える DVD-Video

1 アングル を選ぶ

2 アングル切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。
- アングルマークを「表示」に設定する(P.101)と、アングルが切り換えられるときに 🎥 が表示されます。

字幕の切換／消去

DVD-Video

1 字幕 を選ぶ

2 ■ 字幕の切換

字幕切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の消去

字幕消 を選ぶ

- 選ぶごとに表示/消去が切り換わります。

DVD-VR

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに表示/消去が切り換わります。

設定　戻る
音声　字幕
アスペクト切換　サーチ
アングル　リターン
ＤＶＤ初期設定

アスペクトを切り換える(P.128)

DVDの初期設定を変える(P.101)

全画面で表示

タイトル/プログラム/プレイリストを番号で選ぶ

1 サーチ を選ぶ

2 番号を入力し、完了 を選ぶ

DVD-Video：選んだ番号のタイトルの再生を開始します。
DVD-VR：プログラム再生中は、選んだ番号のプログラム、プレイリスト再生中は、選んだ番号のプレイリストの再生を開始します。

お知らせ

- DVD-Videoの場合、ディスクによっては、リターン を選ぶと、ディスク側で決められた位置から再生を開始する場合があります。(動作はディスクによって異なります)

DVDの初期設定を変える

1 設定タッチキー(P.100)から DVD初期設定 を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

- ∧ ∨：前/次の項目を表示
- 初期状態：DVD初期設定がお買い上げ時の状態に戻る

3 完了 を選ぶ

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項目	設定		
音声言語を設定する	音声 を選ぶ	●「**日本語**」●「英語」●「フランス語」●「スペイン語」 ●「ドイツ語」●「イタリア語」●「オランダ語」●「その他」 **「その他」を選んだ場合** **言語コードを入力し、完了 を選ぶ** ● DVD言語コード一覧表→P.190 ● 修正：1文字削除 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。	
字幕言語を設定する	字幕 を選ぶ		
メニュー言語を設定する	ソフトメニュー を選ぶ		
アングルマークを表示する/しないを設定する	アングルマーク を選ぶ	●「**表　示**」：アングル切換が可能なときに、再生画面の右上に 🎥 を表示する。 ●「非表示」：アングルマークを表示しない。	
走行中に自動再生する/しないを設定する	自動再生 を選ぶ	●「**す　る**」：DVDを挿入すると自動的に再生を開始する。 ●「しない」：自動再生しない。 DVDの設定が優先されるため、本機の設定どおりに再生されない場合があります。	
音声ダイナミックレンジの圧縮率を設定する※1 (ドルビーデジタル再生時のみ)	音声ダイナミックレンジ を選ぶ	●「**MAX**」：圧縮しない、映画館そのままのモード ●「STD」：ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード ●「MIN」：最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード	
	※1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。		
ワイドサイズDVD再生時の映像サイズを設定する	映像出力切換 を選ぶ	●「**16：9(ワイド)**」 ●「4：3(パンスキャン)」 ●「4：3(レターボックス)」 **通常は「16：9(ワイド)」に設定してください。** 2台目のモニターに4：3のモニターを接続した場合は設定を変更してください。	
再生できるDVDを制限する	視聴制限 を選ぶ	暗証番号(4桁)を入力し、完了 を選ぶ ● 修正：1文字削除	視聴制限レベル(左記)を選ぶ
	● お買い上げ時は暗証番号が設定されていません。初めて視聴制限を設定するときに入力した4桁の番号が、暗証番号として設定されます。 ● 暗証番号を設定していない場合は、画面に「----」と表示されます。 ● 暗証番号を設定すると、視聴制限の設定を変更する際に暗証番号を入力する必要があります。 ● 暗証番号を忘れた場合には、修正 を10回選ぶと暗証番号を解除できます。もう一度設定しなおしてください。		

■視聴制限レベル

	1	2～7	8
子供向け	○	○	○
一般向け	×	○	○
成人向け	×	×	○

○視聴可　×視聴不可

ディスクを再生する

● [CD][MP3/WMA]に切り換えるには→P.88「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.89

音楽CDを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

●本機で再生できるディスクについて→P.184

CD再生画面



録音設定(P.104)

録音を開始する/停止する(P.105)

音質・音場を調整する(P.126)

プレイモード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモードを選ぶ

2 プレイモードを切り換える

リピート ランダム スキャン

●選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

●再生中の曲を繰り返し再生

順不同に再生(ランダム)

●再生中のディスク内の全曲を順不同に再生

曲を探す(スキャン)

●再生中のディスク内の全曲を10秒ずつ再生

タイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース※1(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

●CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
●本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
●タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

※1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

早送り・早戻し

|◀◀| |▶▶|を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

|◀◀| |▶▶|を押す

CD-R/RWを再生する[MP3/WMA]

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

●本機で再生できるディスクについて→P.184
●再生順序やタイトル表示・ファイル作成時の留意点について→P.186

全てのフォルダから選曲する

1 選曲を選ぶ

●フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダを選ぶ

● 再生▶: 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始

3 リストから曲を選ぶ

●選んだ曲を再生します。
● トップ画面へ: 再生画面に戻る

再生中のリストから選曲する

1 再生中リストを選ぶ

●再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ

●選んだ曲を再生します。

MP3/WMA再生画面



フォルダの頭出し

∧ ∨ を選ぶ

●選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

音質・音場を調整する(P.126)

曲の情報を表示する

曲情報を選ぶ

●曲の情報が表示されます。

MP3: アーティスト/アルバム/ジャンル

WMA: 作曲者・著作者

■フォルダ情報に戻すには

□情報を選ぶ

早送り・早戻し

|◀◀| |▶▶|を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

|◀◀| |▶▶|を押す

プレイモード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモードを選ぶ

2 プレイモードを切り換える

フォルダリピート フォルダランダム フォルダスキャン
リピート ランダム スキャン

●選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

● フォルダリピート: 再生中のフォルダ内の全曲
● リピート: 再生中の曲

順不同に再生(ランダム)

● フォルダランダム: 全フォルダの全曲
● ランダム: 再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す(スキャン)

● フォルダスキャン: 全フォルダの1曲目を10秒間ずつ再生
● スキャン: 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

- **本機および地図SDHCメモリーカードには録音できません。**
- **本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器(パソコンなど)では再生できません。**

録音に関する設定をする

自動録音/手動録音を設定する(デジタル録音モード)

1 **オーディオ選択タッチキー**(P.22)**から CD を選ぶ**

2 **録音設定 を選ぶ**

3 **録音設定画面から AUTO / SELECT を選ぶ**



- AUTO [お買い上げ時の設定]: 録音していない曲を、自動的に全て録音(自動録音)
- SELECT : 曲を選んで録音(手動録音)

4 **完了 を選ぶ**

録音音質を設定する(録音音質設定)

録音設定画面(上記)**から 標準(128kbps) / 高音質(256kbps) を選ぶ**

[お買い上げ時の設定:256 kbps]

- 録音曲数の目安※1
  - ・標 準(128kbps):約4000曲
  - ・高音質(256kbps):約2000曲

※1 空き容量が16 GBのSDHCカードに、4分程度の曲を録音した場合。(ファイル管理上は、最大10000曲/2000アルバムまで保存できます。)

お知らせ

- 録音中は設定を変更できません。録音完了後または録音を停止(P.105)したあとに設定を変更してください。

録音する

音楽CDの録音について

- **音楽CD再生中は、等倍速で録音されます。**
- 録音中は、SD音楽再生、MEMORY MUSIC for SD、SD動画再生に切り換えることができません。
- 録音中にCD以外のオーディオ(FM、AM、デジタルTV、交通情報、iPod、USB-Audio、BLUETOOTH Audio、HDMI、VTR)、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(等倍速~4倍速)**
  - ・CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
  - ・CDに戻ると、録音中の曲が再生されます。
- 電源を入れた直後は、録音できるまで約20秒かかります。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、手動で編集(P.110)したり、PCツールを使用してインターネット経由で取得(P.112)したり、Drive P@ssアプリ(P.152)の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。http://panasonic.jp/navi/
- CD-TEXT情報のある音楽CDを録音すると、CD-TEXT情報が付与されます。
- CD-R/RWに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温や低温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- 録音された曲には、MEMORY MUSIC for SD再生画面で録音音質が表示されます。

準 備

- 音楽CDの録音に関する設定➡P.104
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.26~27)

1 **音楽CDを挿入する**(P.89)

2

録音設定が「AUTO」の場合(自動録音)

自動的に録音を開始します。

■ **録音を停止するには**

CD再生画面から 録音停止 を選ぶ



録音設定が「SELECT」の場合(手動録音)

1 **CD再生画面から 録音開始 を選ぶ**

2 **リストから曲を選び、完了 を選ぶ**

- 複数の曲を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択 : 全曲を選択
- 全解除 : 選んだ曲を全て解除

選んだ曲の録音を開始します。

■ **録音を停止するには**

CD再生画面(左記)**から 録音停止 を選ぶ**

お願い

- **SDメモリーカードの「PRIVATE」フォルダの内容を、変更・消去しないでください。録音したデータが消去される場合があります。**

録音状態表示について



録音済み曲数 ● REC 01 / 17 録音対象の曲数

録音の進捗状況(1曲ごと)

- REC 01/17 (REC) :録音中※1
- STOP (STOP) :録音停止中※1

※1 チルト/イジェクト画面にも表示されます。

地図画面上には下記のように表示されます。(例:録音音質256 kbpsで録音時)

REC 256kbps (赤):録音中

REC 256kbps (灰):録音停止中/全曲録音済み

表 示 な し :上記(灰)以外で録音していない状態(ディスク未挿入時など)

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。
- 録音中は、MEMORY MUSIC for SDに切り換えることができません。
- **録音中は下記の操作ができません。**
  - ・録音中の曲以外の再生
  - ・頭出し
  - ・早送り/早戻し
  - ・リピート/ランダム/スキャン
  - ・録音設定
  - ・おでかけスポット/おでかけプランの利用
  - ・タイトル情報検索のためのPCツールの出力や、音楽情報の出力と更新
  - ・ダウンロードキーの出力
- 音楽CDをデジタル録音したCD-Rなどからは、録音できません。[連続複製防止システム(SCMS)が働くため]

本機で録音した音楽データを再生する

● [MEMORY MUSIC for SD]に切り換えるには→P.88「オーディオの種類を選ぶ」
● 本機では、SDオーディオ規格準拠の音楽データは再生はできません。

準 備

●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.105)

MEMORY MUSIC for SD
再生画面



MEMORY MUSIC for SD 編集画面を表示 (P.108)

録音状況を表示(P.115)

音質・音場を調整する (P.126)

再生中のリストから選曲する

1 再生中リスト を選ぶ
- 再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲の再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

アルバム/プレイリストの頭出し※1

∧ ∨ を選ぶ
- 選んだアルバム/プレイリスト内の先頭の曲から再生を開始します。

プレイモード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモード を選ぶ

2 プレイモードを切り換える



- 選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。
- 条件は選曲方法(P.107)によって異なります。

繰り返し再生(リピート)

- アルバムリピート ※1:再生中のアルバム内の全曲
- プレイリストリピート ※1:再生中のプレイリスト内の全曲
- リピート :再生中の曲

順不同に再生(ランダム)

- アルバムランダム ※1:全アルバムの全曲
- プレイリストランダム ※1:全プレイリストの全曲
- ランダム :再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す(スキャン)

- アルバムスキャン ※1:全アルバムの1曲目を10秒間ずつ再生
- プレイリストスキャン ※1:全プレイリストの1曲目を10秒間ずつ再生
- スキャン :再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

※1 ALL再生(P.107)の場合は操作できません。

選曲 を選ぶと、選曲画面が表示されます。



全ての曲から選んで再生する(ALL再生)

1 ALL を選ぶ
- SDメモリーカードに録音された全曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。
- 録音日の古い順にリストが表示されます。

アルバムを選んで再生する(アルバム再生)

■アルバムから選ぶ場合

1 アルバム を選ぶ

2 リストからアルバムを選ぶ
- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

■アーティストから選ぶ場合

1 アーティスト を選ぶ

2 リストからアーティストを選ぶ
- 選んだアーティストのアルバムリストが表示されます。

3 リストからアルバムを選ぶ
- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。
- トップ画面へ :MEMORY MUSIC for SD再生画面に戻る

■ジャンルから選ぶ場合

1 ジャンル を選ぶ

2 リストからジャンルを選ぶ
- 選んだジャンルのアルバムリストが表示されます。
- ジャンル情報のないアルバムは、その他 に分類されます。

3 リストからアルバムを選ぶ
- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。
- トップ画面へ :MEMORY MUSIC for SD再生画面に戻る

お知らせ

- 同一のアルバムタイトルが複数存在する場合は、録音日の古い順にリストが表示されます。

プレイリストを選んで再生する(プレイリスト再生)

準 備

- プレイリストを作成してください。(P.108)

1 プレイリスト を選ぶ

2 リストからプレイリストを選ぶ
- 選んだプレイリストの先頭の曲から再生を開始します。

本機で録音した音楽データを再生する

プレイリストを編集する

MEMORY MUSIC for SD再生画面(P.106)から 編集 を選ぶと、
MEMORY MUSIC for SD編集画面が表示されます。

お知らせ

- MEMORY MUSIC for SDの編集を行うと、ALL再生(P.107)に切り換わります。

MEMORY MUSIC for SD編集画面



アルバム・曲の情報を編集する(P.110)

タイトル情報を更新する(P.112)

プレイリストを作成する

本機に保存した曲の中から、目的に合わせて最大100のプレイリスト(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)を作成できます。

1 新規作成 を選ぶ

2 名称を入力して、完了 を選ぶ
- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.182

3 表示するリストを選ぶ
- アルバム：アルバムをリスト表示
- アーティスト：アーティスト名をリスト表示
- ジャンル：ジャンルをリスト表示
- プレイリスト：プレイリストを表示
- ALL：全ての曲をリスト表示(→手順**6**へ)

4 (アーティスト/ジャンルを選んだ場合)
登録したい曲のアーティスト/ジャンルを選ぶ
- 選んだアーティスト/ジャンルのアルバムリストが表示されます。

5 リストからアルバム/プレイリストを選ぶ
- 曲リストが表示されます。

6 登録したい曲を選ぶ
- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択：全曲を選択
- 全解除：選んだ曲を全て解除

7 登録候補を確認して、登録 を選ぶ

8 続けて曲を追加する場合

はい を選ぶ
- 手順**3**から同じ操作を繰り返します。

登録を完了する場合

いいえ を選ぶ
- MEMORY MUSIC for SD編集画面に戻ります。

プレイリストに曲を追加する

1 追加・削除 を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 トラックを追加 を選ぶ

4 P.108「プレイリストを作成する」手順**3**～**8**と同じ操作で曲を追加する

プレイリストの曲を削除する

プレイリストから曲を消去しても、アルバムからは消去されません。

1 追加・削除 を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 トラックを削除 を選ぶ

4 リストから曲を選び、削除 を選ぶ
- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択：全曲を選択
- 全解除：選んだ曲を全て解除

5 はい を選ぶ

プレイリストを削除する

1 追加・削除 を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 このプレイリストを削除 を選ぶ

4 はい を選ぶ

プレイリストの名称を変更する

1 名称修正 を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 名称を入力して、完了 を選ぶ
- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.182

アルバム/曲を削除する

本機で録音したアルバム、曲を選んで削除します。

- **一度消去するともとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。**
- **消去中はエンジンを止めないでください。本機が正しく動作しなくなる場合があります。**

1 削除 を選ぶ

2 表示するリストを選ぶ
- アルバム：アルバムをリスト表示
- アーティスト：アーティスト名をリスト表示
- ジャンル：ジャンルをリスト表示

3 (アーティスト/ジャンルを選んだ場合)
削除したいアルバム・曲を含むアーティスト/ジャンルを選ぶ
- アルバムのリストが表示されます。

4 リストからアルバムを選ぶ
- アルバムのタイトル情報が表示されます。

5 アルバムを削除する場合

1 このアルバムを削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ

曲を削除する場合

1 トラックを削除 を選ぶ

2 リストから曲を選び、削除 を選ぶ
- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択：全曲を選択
- 全解除：選んだ曲を全て解除

3 はい を選ぶ

お知らせ

- 消去した曲がプレイリスト(P.107)に登録されている場合は、プレイリストからも消去されます。

本機で録音した音楽データを再生する

アルバム・曲の情報を編集する

1 MEMORY MUSIC for SD編集画面(P.108)から 修正 を選ぶ

2 アルバムを探す

アルバムから探す場合

アルバム を選ぶ

アーティスト名から探す場合

1. アーティスト を選ぶ
2. リストからアーティストを選ぶ

ジャンルから探す場合

1. ジャンル を選ぶ
2. リストからジャンルを選ぶ

3 アルバムの情報を編集する場合

アルバムを選ぶ→右記へ

● アルバム修正画面が表示されます。



曲の情報を編集する場合

1. アルバム修正画面(上記)から トラックを修正 を選ぶ
2. 曲を選ぶ→右記へ

● トラック修正画面が表示されます。



アルバムの情報を編集する

項目	操作			
アルバム名を変更する	アルバム を選ぶ	アルバム名を入力し、完了 を選ぶ ● 全角16文字(半角32文字)まで		完了 を選ぶ
アルバムのアーティスト名を変更する	アルバムアーティスト を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ	アーティスト名を入力し、完了 を選ぶ ● 全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
		リストから選択する を選ぶ	リストからアーティストを選ぶ	完了 を選ぶ
アルバムのジャンルを変更する	ジャンル を選ぶ	アルバムのジャンルを選ぶ		完了 を選ぶ
アルバム情報を再更新する ● アルバムと曲のタイトル情報が更新されます。	再更新 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	登録 を選ぶ	完了 を選ぶ
アルバムの情報を削除する ● 誤ったタイトルが付与されたアルバムのタイトル情報を更新(P.112)する場合、一度アルバム情報を削除してください。	削除 を選ぶ	はい を選ぶ		完了 を選ぶ

(アルバム情報を再更新する 欄内)

● **タイトルが付与されていないアルバムの場合**
タイトル情報を更新(P.112)すると、その内容に更新されます。

● **誤ったタイトルが付与されているアルバムの場合**
リストに正しいアルバム名があれば、それを選んで付与することができます。
リストに正しいアルバム名がない場合には、一度アルバム情報を削除(下記)してタイトル情報を更新(P.112)してください。

お知らせ

- 地図の年度更新を行うと、本機のGracenoteデータベースが更新されます。タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、年度更新後にアルバム情報を再更新すると、正しいタイトルが付与される場合があります。(年度更新版地図については、販売店にお問い合わせください。)
- アルバムまたは曲のどちらか一方のみのタイトル情報を更新することはできません。
- 手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。

曲の情報を編集する

項目	操作			
曲名を変更する	トラック を選ぶ	曲名を入力し、完了 を選ぶ ● 全角16文字(半角32文字)まで		完了 を選ぶ
曲のアーティスト名を変更する	トラックアーティスト を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ	アーティスト名を入力し、完了 を選ぶ ● 全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
		リストから選択する を選ぶ	リストからアーティストを選ぶ	完了 を選ぶ

お知らせ

● タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。
そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。

本機で録音した音楽データを再生する

タイトル情報を更新する

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、パソコンでGracenoteサーバーにアクセスする、またはスマートフォンでDrive P@ss(P.152)のアプリケーション「Title Finder」を利用して取得できます。

- ●パソコンで更新する場合は、必ず本機のPCツール出力(P.113)で保存される「STFINDER.EXE」を使用してください。
- ●PCツールについては、PCツール出力(P.113)時に保存されるテキストファイル「README.TXT」も併せてご覧ください。

■ご利用の流れ



※1 インストールは、一度行うと再度行う必要はありません。
※2 使用方法については、「Title Finder」アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

■**PCツールの動作環境**（2014年4月現在 動作確認済み）

- ●O S：Windows Vista®(Ultimate/Business/Home Basic/Home Premium) Service Pack 1/ Windows® 7(Ultimate/Professional/Home Premium) Windows® 8/Windows® 8 Pro/Windows® 8.1
- ●H D D：200 MB以上の空き容量
- ●その他：SDメモリーカードリーダー/ライターと、空き容量が4 MB以上のSDメモリーカードが別途必要です。

お知らせ

- ●タイトル情報を更新しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したタイトル情報は更新されますが、CD再生時は更新されていない情報が表示されます。
- ●パソコンで初めてPCツールを利用する場合は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンしてください。管理者権限がないと利用できません。

PCツールをパソコンにインストールする

1 本機での操作
SDメモリーカードを本機に挿入する(P.27)

2 **MEMORY MUSIC for SD再生画面**(P.106)**から 編集 を選ぶ**

3 **PCツール出力 を選ぶ**
- ●SDメモリーカードにPCツールが出力されます。

［出力先フォルダ：PRIVATE¥CUSTOM］
・PCツール「STFINDER.EXE」
・管理情報「regist.dat」
・テキストファイル「README.TXT」

4 **SDメモリーカードを本機から取り出す**

5 パソコンでの操作
取り出したSDメモリーカードをパソコンに挿入する

6 **フォルダ(PRIVATE ¥CUSTOM)をパソコンにコピーする**
- ●PCツール(STFINDER.EXE)と管理情報(regist.dat)は、必ず同じフォルダに保存してください。

7 **PCツールを起動し、「接続設定」を選ぶ**

Internet Explorerをお使いの場合
「Internet Explorerの設定を使用する」にチェックする

Internet Explorer以外のブラウザをお使いの場合
「Internet Explorerの設定を使用する」のチェックを解除し、各種項目(下記)**を設定する**

- ●**「LAN接続を使用」**
LAN接続の場合にチェックします。
- ●**「ダイヤルアップ接続を使用」**
ダイヤルアップ接続の場合にチェックし、接続先を選んでください。
・**「タイトル取得の完了時に回線を自動で切断」**
タイトル取得完了時に、自動的に回線を切断する場合にチェックします。
- ●**「プロキシサーバーを使用」**
プロキシサーバーを使用する場合にチェックし、サーバーのアドレスとポート番号を入力してください。

- ●インターネット接続設定の詳細については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

8 **「設定」を選び、「終了」を選ぶ**

タイトル情報を更新する（続き）

SDメモリーカードに音楽情報を出力してタイトル情報を取得する

1 本機での操作
SDメモリーカードを本機に挿入する（P.27）

2 **MEMORY MUSIC for SD再生画面**（P.106）**から 編集 を選ぶ**

3 **音楽情報出力 を選ぶ**

メッセージが表示された場合は はい を選んでください。

- PCツールがSDメモリーカードに保存されます。PCツールをパソコンにインストールしていない場合は、インストールしてください。（P.113）

4 **タイトル情報を取得したいアルバムを選び、完了 を選ぶ**

- 複数のアルバムを選ぶこともできます。（再度選ぶと、解除されます。）
- タイトル無し全選択：タイトルが付与されていないアルバムを全て選択
- 全解除：選んだアルバムを全て解除

5 **はい を選ぶ**

- アルバム情報ファイル「EXPORT.DAT」が、SDメモリーカードの「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダに出力されます。

6 **SDメモリーカードを本機から取り出す**

7 パソコンでの操作
取り出したSDメモリーカードをパソコンに挿入する

8 **PCツール「STFINDER.EXE」を起動し、「参照」を選ぶ**

9 **SDメモリーカードに保存されているアルバム情報ファイル「EXPORT.DAT」を選び、「開く」を選ぶ**

10 **「Fileから CDDB検索」を選ぶ**

- Gracenoteサーバーにアクセスし、検索を開始します。

11 （複数の候補がある場合のみ）
アルバム名を選び、「選択」を選ぶ

12 **ダウンロードが完了したら「保存」を選ぶ**

- タイトル情報ファイル「import.DAT」が、SDメモリーカード内の「EXPORT.DAT」と同じ階層（「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダ）に保存されます。

13 **「OK」を選び、「終了」を選ぶ**

14 **SDメモリーカードをパソコンから取り出す**

P.115「取得したタイトル情報を更新する」へ

音楽CDを使用してタイトル情報を取得する

音楽CDを使用してタイトル情報を更新すると、CDをSDメモリーカードに録音する際、タイトル情報を付与できます。

1 パソコンでの操作
SDメモリーカードとタイトル情報を取得したいCDをパソコンに挿入する

- SDメモリーカードに「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダがない場合は、作成してください。

2 **PCツール「STFINDER.EXE」を起動する**

3 **CDを挿入したドライブを選ぶ**

4 **「CDからCDDB検索」を選ぶ**

- Gracenoteサーバーにアクセスし、検索を開始します。

5 （複数の候補がある場合のみ）
アルバム名を選び、「選択」を選ぶ

6 **ダウンロードが完了したら、保存先（SDメモリーカード内の「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダ）を選び、「保存」を選ぶ**

- タイトル情報ファイル「import.DAT」が保存されます。
- 必ず、SDメモリーカード内の「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダに保存してください。

7 **「OK」を選び、終了を選ぶ**

8 **SDメモリーカードをパソコンから取り出す**

取得したタイトル情報を更新する

1 本機での操作
取り出したSDメモリーカードを本機に挿入する

2 **MEMORY MUSIC for SD再生画面**（P.106）**から 編集 を選ぶ**

3 **音楽情報更新 を選ぶ**

4 **はい を選ぶ**

- タイトル情報が更新されます。

お願い

- SDメモリーカードの「PRIVATE」フォルダの内容を、変更・消去しないでください。取得したタイトル情報が消去される場合があります。

録音状況を確認する

SDメモリーカードの容量、アルバム数、収録トラック数を確認できます。

1 **MEMORY MUSIC for SD再生画面**（P.106）**から 情報 を選ぶ**

2 **録音状況の情報を確認する**



SDメモリーカードを再生する

● [SD音楽再生][SD動画再生]に切り換えるには→P.88「オーディオの種類を選ぶ」
● 本機では、SDオーディオ規格準拠の音楽データは再生はできません。

音楽データ(MP3/WMA)を再生する[SD音楽再生]

準 備

●MP3/WMAが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.27)
●再生順序やタイトル表示・ファイル作成時の留意点について→P.186

全てのフォルダから選曲する

1 選曲 を選ぶ
●フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダを選ぶ
● 再生▶ : 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始

3 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。
● トップ画面へ : 再生画面に戻る

再生中のリストから選曲する

1 再生中リスト を選ぶ
●再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。

SD音楽再生画面



フォルダの頭出し

∧ ∨ を選ぶ
●選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

音質・音場を調整する(P.126)

一時停止

再生中に ❚❚ を選ぶ
● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

プレイモード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモード を選ぶ

2 プレイモードを切り換える
(フォルダリピート / フォルダランダム / フォルダスキャン / リピート / ランダム / スキャン)
●選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

● フォルダリピート : 再生中のフォルダ内の全曲
● リピート : 再生中の曲

順不同に再生(ランダム)

● フォルダランダム : 全フォルダの全曲
● ランダム : 再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す(スキャン)

● フォルダスキャン : 全フォルダの1曲目を10秒間ずつ再生
● スキャン : 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

SDビデオを再生する[SD動画再生]

準 備

●ビデオファイルが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.27)
●本機で再生できるファイル形式について→P.185

再生リスト



再生画面にタッチすると、基本操作タッチキーが表示されます。

タッチキー消去

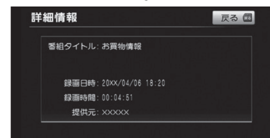
アスペクトを切り換える(P.128)

終了 / 音声/字幕 / ❚❚ / ⏮ ⏭ / ■/リスト / 映像調整

動画の詳細情報を見る

1 リストから動画を選ぶ

2 詳細情報 を選ぶ
●動画の詳細情報が表示されます。



動画の再生

1 リストから動画を選ぶ
●分割された動画は、1分割ごとにリスト表示されます。
●フリック/ドラッグによるスクロールはできません。

2 再生開始 を選ぶ
●約20秒間何も操作しないと、自動的に再生が開始されます。
●プレビューをタッチしても再生が開始されます。

音声/字幕を切り換える

1 音声/字幕 を選ぶ

2 各項目を設定する
●**二重音声**:
音声多重放送のときに選択できます。
●**字幕**:
字幕言語が複数あるときに選択できます。

3 終了 を選ぶ

一時停止

再生中に ❚❚ を選ぶ
● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

再生を停止して再生リストに戻る

■/リスト を選ぶ
●再生を停止し、再生リストに戻ります。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ をタッチし続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

⏮ ⏭ を選ぶ

SD動画再生中にAUDIOを押すと、状態表示画面が表示されます。



音質・音場を調整する(P.126)

全画面で表示
● AUDIO を押しても、全画面で表示できます。

お知らせ

●本機はチャプターマークには対応していません。
●録画機器が指定する再生順どおりに再生されない場合があります。
●非対応の文字は、正常に表示されません。異なる文字が表示されたり、何も表示されない場合があります。
●録画については、録画機器の説明書をご覧ください。

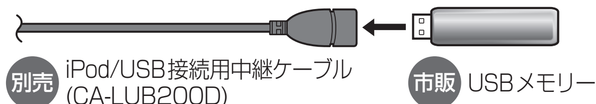
USBメモリーを再生する

[USB-Audio] に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

音楽データ(MP3/WMA)を再生する[USB-Audio]

準 備

●MP3/WMAが保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。



お願い

●オーディオがUSB-Audioのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
●コネクターは確実に差し込んでください。
●USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
●USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
●USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
●正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

●USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
●長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

●本機で再生できるUSBメモリーについて→P.187
●再生順序やタイトル表示・ファイル作成時の留意点について→P.186

全てのフォルダから選曲する

1 選曲 を選ぶ
●フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダを選ぶ
●再生▶: 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始

3 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。
●トップ画面へ: 再生画面に戻る

再生中のリストから選曲する

1 再生中リスト を選ぶ
●再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。

USB-Audio再生画面



フォルダの頭出し

∧ ∨ を選ぶ
●選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

音質・音場を調整する(P.126)

一時停止

再生中に ▮▮ を選ぶ
●▶ を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

|◀◀ ▶▶| を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

|◀◀ ▶▶| を押す

プレイモード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモード を選ぶ

2 プレイモードを切り換える



●選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

●フォルダリピート: 再生中のフォルダ内の全曲
●リピート: 再生中の曲

順不同に再生(ランダム)

●フォルダランダム: 全フォルダの全曲
●ランダム: 再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す(スキャン)

●フォルダスキャン: 全フォルダの1曲目を10秒間ずつ再生
●スキャン: 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

iPodを再生する

[iPod] に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

適合機種(2014年8月現在 接続確認済み)

Made for

iPhone 5s	iPod touch 第5世代	iPod nano 第7世代
iPhone 5c	iPod touch 第4世代	iPod nano 第6世代
iPhone 5	iPod touch 第3世代	iPod nano 第5世代
iPhone 4s	iPod touch 第2世代	iPod nano 第4世代
iPhone 4	iPod touch 第1世代	iPod nano 第3世代
iPhone 3GS	iPod classic	iPod nano 第2世代
iPhone 3G	iPod 第5世代	iPod nano 第1世代

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを防げたり、エアバッグの動作を防げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

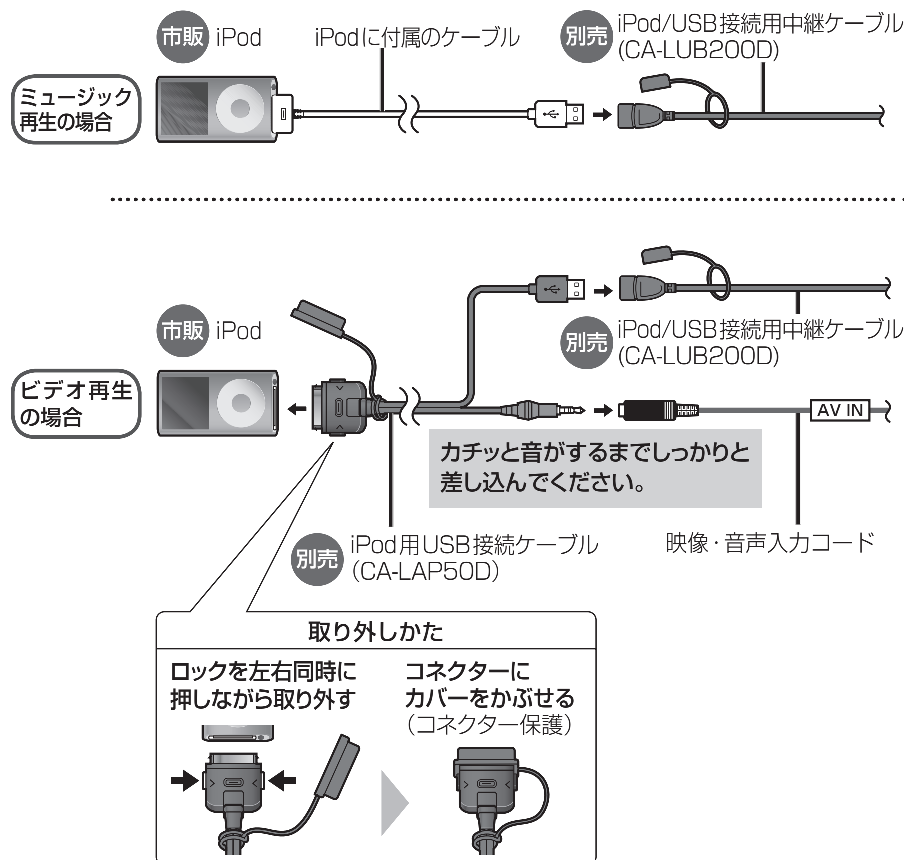
お知らせ

- 接続中は、iPod本体では操作できません。
- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.121のとおりに接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。
  機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。

準 備

- iPodを本機に接続してください。

●必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
●iPodに付属のUSBケーブルで接続した場合、iPodビデオを視聴できません。本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)で接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
●Lightningコネクタを持つiPodは、iPodビデオ再生には対応していません。



iPodを再生する

[iPod] に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

音楽を再生する

iPodミュージック再生画面

iPodビデオ再生(P.123)



一時停止

再生中に ❚❚ を選ぶ

● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

音質・音場を調整する(P.126)

プレイモード切換(リピート/シャッフル)

1 **プレイモード を選ぶ**

2 **プレイモードを切り換える**



●選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。

繰り返し再生(リピート)

● [リピート]：再生中の曲

●再度選ぶと、解除されます。

順不同に再生(シャッフル)

● [シャッフル]：再生中のリスト※1内の全曲

● [アルバムシャッフル]：全てのアルバム(アルバム単位でシャッフル)

●選ぶごとに、切り換わります。



●シャッフルのしかたは、iPodの仕様に準じます。

※1 リストの内容は、選曲方法(右記)によって異なります。

再生中のリストから選曲する

1 **再生中リスト を選ぶ**

●再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 **リストから曲を選ぶ**

●選んだ曲の再生を開始します。

アルバムアートワーク

●アルバムアートワーク表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

●下記の場合、アルバムアートワークは表示されません。

NO IMAGE ♪

・接続したiPod内にアルバムアートワークがない

・アルバムアートワーク取得中

・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

早送り・早戻し

[⏮] [⏭] を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

[⏮] [⏭] を押す

選曲方法を選んで再生する

1 **選曲 を選ぶ**

2 **選曲方法(下記)のタブを選ぶ**

●プレイリスト	●アーティスト
●アルバム	●曲
●Podcast※2	●オーディオブック
●ジャンル	●作曲者



● [<<]/[>>]：タブ画面の切換

※2 ポッドキャスト(インターネット上で配信されている番組など)を楽しむことができます。

3 **曲/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ**

● ALL ：表示している全項目の下の階層を表示

4 **リストから曲を選ぶ**

●選んだ曲の再生を開始します。

● 完了 ：iPodミュージック再生画面に戻る

お知らせ

●リストの並び順は、iPodの仕様に準じます。

ビデオを再生する

●iPodビデオを再生するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)が必要です。

iPodビデオ再生画面

iPodミュージック再生(P.122)



全画面で表示

● AUDIO を押しても、全画面で表示できます。

音質・音場を調整する(P.126)

アスペクトを切り換える(P.128)

リストから選ぶ

1 **ビデオ選択 を選ぶ**

●フォルダ内のビデオのリストが表示されます。

2 **ビデオの種類を選ぶ**

3 **ビデオのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ**

● すべて ：表示している全項目の下の階層を表示

4 **リストからビデオを選ぶ**

●選んだビデオの再生を開始します。

お知らせ

●リストの並び順は、iPodの仕様に準じます。

再生中のリストから選ぶ

1 **再生中リスト を選ぶ**

●再生中のフォルダ内のビデオのリストが表示されます。

2 **リストからビデオを選ぶ**

●選んだビデオの再生を開始します。

一時停止

再生中に ❚❚ を選ぶ

● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

[◀◀] [▶▶] をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

[⏮] [⏭] を押す

お知らせ

●再生中にACCをOFFにすると、次回iPodビデオに切り換えたときに続きから再生されない場合があります。

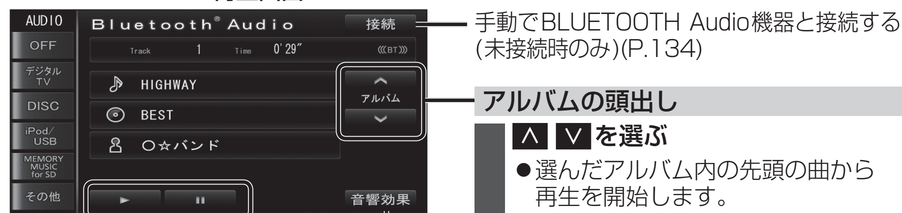
●iPodのTV出力設定を「OFF」に設定していても、本機から取り外すと「ON」に切り換わっている場合があります。

BLUETOOTH Audio（ブルートゥースオーディオ）を再生する

Bluetooth® Audioに切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

準備
●BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.132)

Bluetooth® Audio再生画面



手動でBLUETOOTH Audio機器と接続する(未接続時のみ)(P.134)

アルバムの頭出し

∧ ∨ を選ぶ

●選んだアルバム内の先頭の曲から再生を開始します。



音質・音場を調整する(P.126)

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

お知らせ
●接続機器によっては、音声出力や画面表示に時間がかかる場合があります。
●接続機器によっては、音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
●接続機器によっては、画面表示が更新されない場合があります。
●接続機器によっては、アルバム名/トラック名/アーティスト名が表示されない場合があります。
●接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、ナビゲーションから操作できない場合があります。その場合は、接続機器で操作してください。
●接続機器で動画再生中の音声をBLUETOOTH Audioとしてナビゲーションから出力する場合、接続機器側の映像よりも音声が遅れて出力される場合があります。
●接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、ナビゲーションから操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
●接続機器やナビゲーションとの接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
(例) iPhoneにて、ケーブル接続している場合

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.88「オーディオの種類を選ぶ」

オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定：1620 kHz]

交通情報画面



お知らせ
●交通情報の周波数を変更できます。(下記)

交通情報の放送局を変更する

1 [AM]に切り換える
●オーディオの切り換えかた→P.88

2 記憶させたい放送局を選ぶ
●放送局の選びかた→P.97

3 交通情報 を、2秒以上タッチする



●選んだ放送局が、交通情報の周波数として記憶されます。

音質・音場を調整する

［**太字**：お買い上げ時の設定］

1 オーディオ画面（再生画面・基本操作タッチキー）から 音響効果 を選ぶ

● 交通情報画面（P.125）では、操作できません。

2 各項目を設定する（右記）



お知らせ

● 音の匠とDSPを同時に設定することはできません。

※1 **音の匠とは**
レコーディングエンジニア集団MIXER'S LAB（ミキサーズ ラボ）が監修した音質で音楽を楽しめます。

※2 ［お買い上げ時の設定］

設定	音質のイメージ
FLAT	フラットな音質 （全ての周波数が±0 dB）
EQ1	Rock： 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
EQ2	Vocal： 中音域から高音域にかけて強調した音質
EQ3	Jazz： 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
EQ4	Club： 低音域・中音域を強調した音質
EQ5	フラットな音質 （全ての周波数が±0 dB）

※3 **ダイナミックレンジ圧縮とは**
ノイズに埋もれない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮し、小さい音声が大音量の効果音などで消えないようにする機能です。

項目	操作		
音響効果を設定する	音の匠※1 を選ぶ	「**爽快ドライブTUNE**」：レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。 「快適メモリーミュージック」：iPodなどの圧縮音源再生時に適した設定です。 「いい音でスムーズトーク」：車内で会話を楽しみつつ、いい音質で音楽を再生します。	
	DSP を選ぶ	「CLUB」：クラブ風の音場 「THEATER」：劇場風の音場 「STADIUM」：スタジアム風の音場	
	音響効果OFF を選ぶ	● 音響効果がOFFになります。	
イコライザーを調整する※2	イコライザー を選ぶ	**イコライザーを調整する** **周波数帯域ごとのレベルを調整する** ∧ ∨ で調整する ● 調整範囲：－10～±**0**～＋10 **調整値を登録する** 周波数帯域ごとのレベルを調整し、EQ1～EQ5 を2秒以上タッチする ● FLAT には登録できません。 **登録した調整値を呼び出す** 呼び出したい設定を選ぶ ● FLAT：フラットな音質（全ての周波数が±0 dB） ● EQ1～EQ5：登録した調整値を呼び出す ■ **調整値をお買い上げ時の状態に戻すには** FLAT を2秒以上タッチする	完了 を選ぶ
バランス/フェーダーの出力レベルを調整する	バランス/フェーダー を選ぶ	**バランス/フェーダーを調整する** ● 調整範囲 バランス（左右）：7(LEFT)～**0(CENTER)**～7(RIGHT) フェーダー（前後）：7(FRONT)～**0(CENTER)**～7(REAR)	完了 を選ぶ
音声ダイナミックレンジを圧縮する※3	Compression を選ぶ	● 再度選ぶと、音声ダイナミックレンジ圧縮が解除されます。	

アスペクトを切り換える

1

デジタルTV 再生中の場合

1 デジタルTV視聴中に画面をタッチする

2 選局パネル(P.92)から デジタルTVメニュー を選ぶ

3 映像調整 を選ぶ

SD動画再生 再生中の場合

1 再生画面をタッチする

2 基本操作タッチキー(P.117)から 映像調整 を選ぶ

DVD 再生中の場合

1 本編再生中に画面をタッチする

2 基本操作タッチキー(P.99)から 設定 を選ぶ

iPodビデオ※1 HDMI VTR 再生中の場合

画面をタッチする

※1 iPodビデオ再生画面(P.123)では、画面をタッチする必要はありません→手順**2**へ

2 アスペクト切換 を選ぶ(下記)

- デジタルTV/DVD/SD動画再生/iPodビデオ/HDMI/VTRの映像が調整できます。
- 表示される設定項目は、オーディオによって異なります。

3 完了 を選ぶ

設 定	
フル 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面 (どの位置も伸ばす比率は同じ)	
ワイド 16：9(横：縦)の画面(左右が少し黒くなる) ●4：3の映像は、横方向に引き伸ばされます。 ●iPodビデオ、VTRの場合は切り換えられません。	
ズーム ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面 (上下が少しカットされる) ●16：9の映像は、横方向に圧縮されます。 ●デジタルTV、SD動画再生、HDMIの場合は切り換えられません。	
ノーマル 4：3(横：縦)の画面(左右が黒くなる) ●16：9の映像は、横方向に圧縮されます。	

■**お買い上げ時の設定について**

お買い上げ時の設定は、オーディオによって異なります。

- ノーマル：VTR
- ワ イ ド：デジタルTV DVD SD動画再生 HDMI
- フ ル：iPodビデオ

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- ワイドでない通常(4：3)の映像をフル・ズーム・ワイドで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、デジタルTV、DVD、SD動画再生、iPodビデオ、HDMI、VTR の映像を表示できます。

1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から その他 を選ぶ

3 ナビ＋映像表示の する を選び、完了 を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。

現在地画面からオーディオ映像を消去するには

1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から その他 を選ぶ

3 ナビ＋映像表示の しない を選び 完了 を選ぶ

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は消去され、現在地画面のみ表示されます。
  地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.32)表示中や地図モード画面(P.36)、渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.82、83)は、オーディオ映像は表示されません。
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置やアスペクトの変更ができません。
- オーディオ映像が表示されている部分をタッチすると、映像が全画面表示され、オーディオの操作ができます。
- 現在地画面にオーディオ映像を表示中は、本体のボタンでのオーディオの音量調整のみできます。
  (他のオーディオの操作はできません。)

BLUETOOTH通信を利用して、Bluetooth® Audio(P.124)、ハンズフリー通話(P.138)、おでかけナビサポート ここいこ♪(P.146)、Drive P@ss(P.148)の機能を利用できます。

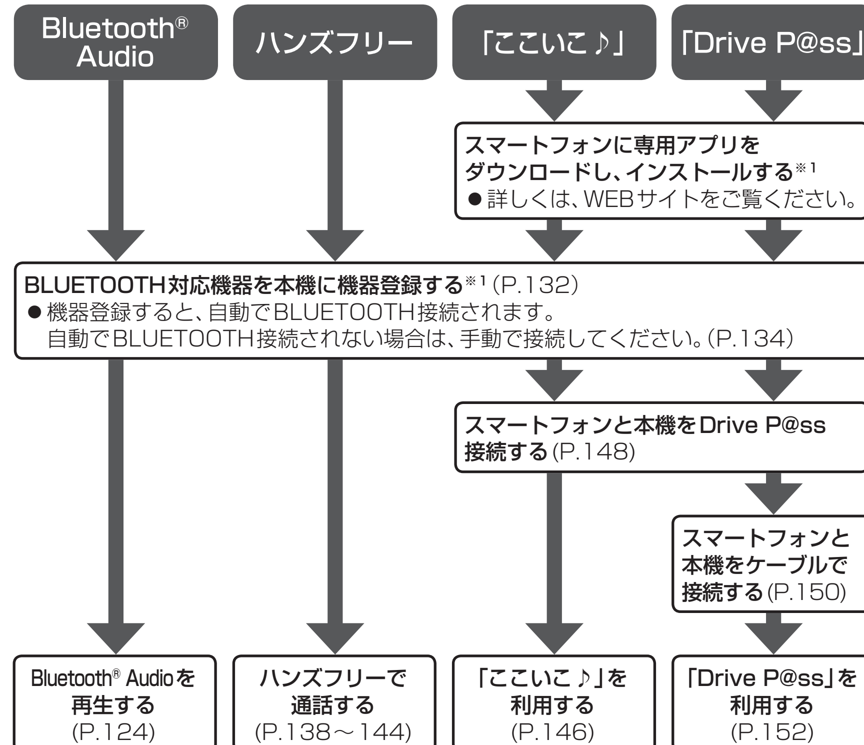
■ BLUETOOTH対応機器を合計5台まで登録できます。

- すでに5台登録しているときは、不要な登録データを削除してください。(P.133)
- 本書では、BLUETOOTH対応機器の操作を、docomo P-03Eを例に説明しています。
- 適合機種については、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/
- **操作方法は対応機器によって異なります。**
  詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

■ 本機で利用できるプロファイルについて

サービス		プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile(HFP)
	電話帳転送	Object Push Profile(OPP) Phone Book Access Profile(PBAP)
Bluetooth® Audio		Advanced Audio Distribution Profile(A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
「ここいこ♪」		Serial Port Profile (SPP)
「Drive P@ss」		Serial Port Profile (SPP)

■ ご利用の流れ



※1 初回利用時のみ

「BLUETOOTHについて」(P.189)をよくお読みください。

本機の準備をする

1 本機での操作

設定メニュー(P.23)から BLUETOOTH設定 を選ぶ

2 BLUETOOTH設定画面から 機器登録 を選ぶ

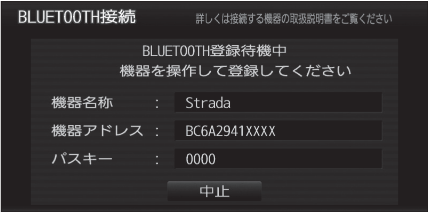
3 新規機器登録 を選ぶ

4 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合のみ)

はい を選ぶ

- BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。

- BLUETOOTH接続画面が表示されます。



お知らせ

- 電話機選択画面(P.134)から 新規登録 を選んでもBLUETOOTH接続画面が表示されます。

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する

5 携帯電話/BLUETOOTH Audio機器での操作

周辺のBLUETOOTH機器(本機)を探す

❶ ホーム画面を開き、[≡]を押す
❷ 本体設定 を選ぶ
❸ Bluetooth を選ぶ
❹「Bluetooth」をONにする
- しばらくすると、「Strada」が表示されます。

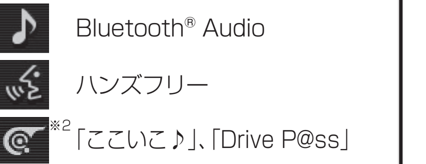
❺ 検索された機器リストから Strada を選ぶ
❻ ペア設定する を選ぶ
- P-03Eの場合は、❶～❻の手順で、ハンズフリーを利用する携帯電話として登録・接続されます。

機器登録画面が表示されます。(P.133)

機器登録画面



各機器が利用できるサービスを表示※1



機器登録されたスマートフォンを本機とDrive P@ss接続する(P.149手順 **8**)

- 登録後に初めてDrive P@ss接続するときは、必ず手動で接続してください。

※1 機器によっては、利用できないサービスが表示される場合があります。
※2 表示されない場合も、手動でDrive P@ss接続すると表示される場合があります。(P.134)

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除するには

一度削除するともとに戻せません。
(再度登録が必要になります。)
削除は十分確認のうえ行ってください。

1 本機での操作

設定メニュー(P.23)から BLUETOOTH設定 を選ぶ

2 機器登録 を選ぶ

3 機器削除 を選ぶ

4 削除したいBLUETOOTH対応機器を選び、はい を選ぶ

- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- 再度登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

BLUETOOTH対応機器を 手動で本機と接続する

接続する対応機器を変更する場合やBLUETOOTH対応機器の電源をOFF/ONしたときなど、本機の接続が解除されている場合には、本機と手動で接続してください。

お知らせ

- ハンズフリーとBluetooth® Audioで、それぞれ別の機器を接続することもできます。
- BLUETOOTH接続中は、地図画面に Bluetooth® が表示されます。

ハンズフリー用の携帯電話を手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から 電話機接続 を選ぶ

2 電話機選択画面から BLUETOOTH接続したい電話機を選ぶ

- 本機と携帯電話がBLUETOOTH接続されます。



BLUETOOTH Audio機器を手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から オーディオ接続 を選ぶ

2 オーディオ機器選択画面から 接続したいBLUETOOTH Audio機器を選ぶ

- 本機とBLUETOOTH Audio機器が接続されます。



お知らせ

- うまく接続できないときは、接続方法を「ポータブル機から」に設定して、BLUETOOTH Audio機器から接続してください。(P.136)

「ここいこ♪」/「Drive P@ss」用のスマートフォンを手動で接続する

準 備

- 専用アプリケーション(無料)の「ここいこ♪」や「Drive P@ss」をインストールして、起動してください。(P.146、148)
- 「ここいこ♪」や「Drive P@ss」用に接続したいスマートフォンを、本機に登録し、BLUETOOTH接続してください。(P.132)

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から Drive P@ss接続 を選ぶ

2 リストからDrive P@ss接続したいスマートフォンを選ぶ

- 本機とスマートフォンがDrive P@ss接続されます。

お知らせ

- ハンズフリー用の携帯電話やBLUETOOTH Audio機器として、複数のスマートフォンを登録している場合でも、「ここいこ♪」「Drive P@ss」用のスマートフォンとして本機と接続できるのは1台だけです。(2台以上を同時に接続できません。)
- 機器登録画面(P.133)または「ここいこ♪」手順画面(P.146)から、 Drive P@ss接続へ を選んでもDrive P@ss接続できます。

BLUETOOTH対応機器の状態を確認するには

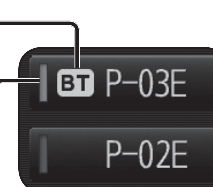
1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から 確認したい項目(電話機接続 / オーディオ接続 / Drive P@ss接続)を選ぶ

2 状態表示を確認する

例：電話機選択画面

BTマーク
BLUETOOTH 接続中に点灯

インジケーター
選択されている 携帯電話に点灯





接続を解除するには

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から 接続を解除したい項目(電話機接続 / オーディオ接続 / Drive P@ss接続)を選ぶ

- 電話機接続 / オーディオ接続 を選ぶと、Drive P@ss接続も解除されます。
- Drive P@ss接続 を選ぶと、Drive P@ss接続のみ解除され、電話機接続、オーディオ接続は解除されません。

2 接続中の機器を選び、 はい を選ぶ

- 本機とBLUETOOTH対応機器の接続が解除されます。
- 状態表示(上記)は、インジケーターが点灯・BTマークが消灯します。
  この状態で本機の電源を切り、再起動すると、インジケータが点灯している機器が自動的に接続されます。

お知らせ

- おでかけナビサポート用のスマートフォンとしてiPhoneを使用している場合、お使いのiPhoneのOSバージョンによっては、ハンズフリーまたはBLUETOOTH Audioの接続を解除すると、「ここいこ♪」と通信できなくなる場合があります。
  おでかけナビサポート接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。

BLUETOOTH対応機器の 機器詳細情報を見る

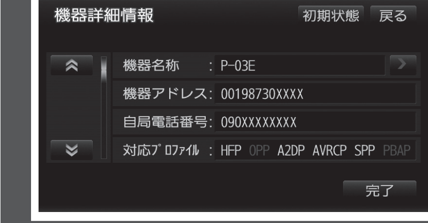
1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 機器登録 を選ぶ

2 機器詳細 を選ぶ

3 機器詳細情報を確認したいBLUETOOTH対応機器を選ぶ

●機器詳細情報画面が表示されます。

4 機器詳細情報を確認する（下記）



接続方法の設定をお買い上げ時の状態に戻すには（BLUETOOTH Audio）

1 機器詳細情報画面（左記）から 初期状態 を選ぶ

2 はい を選ぶ

●接続方法の設定が、お買い上げ時の状態（下記）に戻ります。

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	内　容
機器名称	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
機器アドレス	BLUETOOTH対応機器の固有の機器アドレス（12桁の英数字）を表示
自局電話番号	BLUETOOTH対応機器の自局の電話番号を表示
対応プロファイル	BLUETOOTH対応機器が対応しているプロファイルを表示 ● プロファイルについては、P.130も併せてご覧ください。
接続方法	BLUETOOTH Audio機器の接続方法を設定できます。 「**車　載　機　か　ら**」：本機からBLUETOOTH Audio機器を接続する。多くの機器が、この設定で接続できます。 「ポータブル機から」：BLUETOOTH Audio機器から本機を接続する。「車載器から」に設定された状態で接続ができないときに、設定してください。

詳細設定を変更する

1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 詳細設定 を選ぶ

2 詳細設定画面から各項目を設定する（下記）



3 完了 を選ぶ

詳細設定をお買い上げ時の状態に戻すには

1 詳細設定画面（左記）から 初期状態 を選ぶ

2 はい を選ぶ

●詳細設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

［**太字**：お買い上げ時の設定］

設定する項目	設　定	
BLUETOOTH接続	「**ＯＮ**」：BLUETOOTH接続できる状態にする 「OFF」：BLUETOOTH接続できない状態にする ● BLUETOOTH接続「OFF」に設定された状態で、BLUETOOTH対応機器を手動接続すると、BLUETOOTH接続の設定が自動的に「ON」に変更されます。	
パスキー変更	**BLUETOOTHパスキー（4～8桁の数字）を入力する** ［お買い上げ時の設定：**0000**］ ● 修正：1文字削除 ■**BLUETOOTHパスキーとは** BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。 携帯電話によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にBLUETOOTHパスキーが不要な場合があります。	完了 を選ぶ
BLUETOOTH接続確認表示	「**す　る**」：携帯電話がBLUETOOTH接続されたときに、メッセージで通知する。 「しない」：携帯電話がBLUETOOTH接続されても、メッセージで通知しない。	
ポータブル機接続確認表示	「**す　る**」：BLUETOOTH Audio機器が接続されたときに、メッセージで通知する。 「しない」：BLUETOOTH Audio機器が接続されても、メッセージで通知しない。	

ハンズフリーで通話する

■ハンズフリー通話する前に
- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイク(P.12)に向かって大きな声ではっきりと話してください。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。

電話に出ずに切る(着信拒否)

を選ぶ
- 着信が切れます。

着信音量を調整する

大:音量が大きくなる
小:音量が小さくなる
- 調整範囲:1～14
[お買い上げ時の設定:7]

電話に出る

を選ぶ
- 通話を開始します。

お知らせ
- 着信時は、ナビゲーションシステム固定の着信音が出力されます。
- 携帯電話の機種によっては、着信中に を選んでも電話に出る場合があります。

通話中の操作

通話中画面

トーン信号(ピッポッパ)を送る

1 トーンを選ぶ

2 数字を選び、トーン信号を送る
- プッシュホンサービスなどを利用できます。

受話音量を調整する

大:音量が大きくなる
小:音量が小さくなる
- 調整範囲:1～14[お買い上げ時の設定:7]

送話音を消音する

ミュートを選ぶ
- 再度選ぶと、解除されます。

通話を携帯電話に切り換える

電話機通話を選ぶ
- 選ぶごとに、携帯電話通話とハンズフリー通話が切り換わります。
- ハンズフリー通話 でハンズフリーに戻ります。

電話を切る

を選ぶ
- 通話を終了します。

お知らせ
- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中は、携帯電話を操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。

通話中に電話がかかってきたら(割り込み着信)

割り込み着信が利用できるサービスへの契約、および携帯電話での設定が必要です。

かかってきた電話に出る(通話中の相手との通話を保留する)

を選ぶ
- 割り込み着信の相手と通話を開始し、通話中画面が表示されます。
- 前に通話していた相手は、保留状態になります。

通話中画面

:通話の相手を切り換える
・選ぶごとに、通話の相手が切り換わります。
・もう一方の相手は、保留状態になります。

:通話中の相手との電話を切る
・保留中の相手との通話を開始します。

かかってきた電話に出ずに切る

を選ぶ
- 割り込み着信が切れます。

お知らせ
- 携帯電話によっては、前に話していた相手を保留できずに終話になったり、割り込み着信拒否できない場合があります。

ハンズフリーで通話する

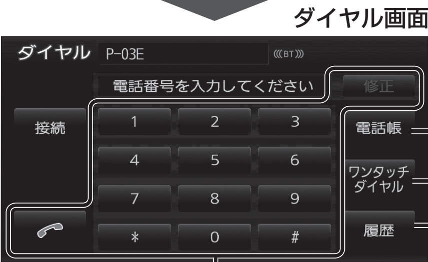
電話をかける

●交通事故防止のため、安全な場所に停車してください。

オーディオ選択タッチキー(P.22)**から ハンズフリー を選ぶ**

●ダイヤル画面が表示されます。

ダイヤル画面



電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力し、[発信] を選ぶ

● 修正 : 1文字削除

電話帳から電話をかける

準 備

●携帯電話の電話帳を転送して本機に登録してください。(P.142)

1 電話帳 を選ぶ

2 電話帳画面から電話をかける相手を選ぶ

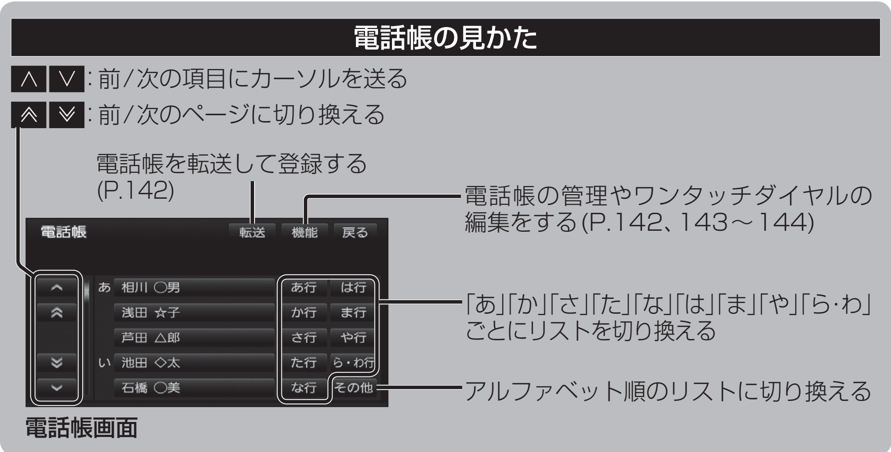
●電話帳の見かた→P.141

●選んだ相手の名前と電話番号が表示されます。

3 電話番号を選び、[発信] を選ぶ

電話帳内容画面





発着信履歴から電話をかける

1 履歴 を選ぶ

2 履歴画面から選択方法のタブを選ぶ

● 全　履　歴

● 不在着信履歴

● 着 信 履 歴

● 発 信 履 歴

● 削除 →右記「履歴を削除する」

3 リストから通話先を選ぶ

4 [発信] を選ぶ

● ワンタッチダイヤル登録 :
→P.143「先に相手を選んで登録する」手順**4**へ

履歴を削除する

1 履歴画面(左記)から 削除 を選ぶ

2 全履歴削除画面から削除したい履歴を選ぶ

● 全削除 : 履歴を全て削除

3 はい を選ぶ

ワンタッチダイヤルから電話をかける

準 備

●ワンタッチダイヤルを登録してください。(P.143)

1 ワンタッチダイヤル を選ぶ

2 グループを選び、通話先を選ぶ

ハンズフリーで通話する

携帯電話の電話帳を転送して登録する

ダイヤル画面(P.140)から
電話帳を選び、転送を選ぶ

■PBAP接続に対応していない携帯電話の場合
携帯電話を操作して電話帳データを転送します。本機にすでに電話帳データが保存されている場合、追加/上書きを選んでください。
- 追加：登録済みの電話帳データを残して追加登録
- 上書き：登録済みの電話帳データを削除して新たに登録

■PBAP接続の場合
携帯電話でPBAP転送の許可操作を行ってください。
- 自動で上書きされます。追加登録はできません。

電話帳データが本機に読み込まれます。

- PBAP接続に対応していない携帯電話の場合、追加で電話帳データを読み込むかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合、はいを選んでください。終了する場合、いいえを選んでください。

お知らせ
- **本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)を編集することはできません。電話帳の内容を変更するときは、編集したい通話先をいったん削除(右記)し、携帯電話で編集のうえ、再度登録しなおしてください。**
- **BLUETOOTH接続している携帯電話の電話帳から転送した分の登録データのみ使用できます。(BLUETOOTH接続している携帯電話以外のデータは表示されません。)**
- 電話帳画面(P.141)から
機能→電話帳管理→電話帳転送を選んでも、電話帳を登録できます。

本機に登録できる電話帳

氏名	全角12文字(半角24文字)まで	
よみがな	半角24文字まで	
電話番号	桁数	24桁まで
	件数	1人につき3件/最大800件
対応文字	氏名・よみがな	シフトJIS形式 ● 絵文字非対応
	電話番号	数字、「#」、「*」

電話帳の登録を削除する

電話帳のデータを一度消去すると、もとに戻せません。(再度登録が必要になります。)消去は十分確認のうえ行ってください。

1. 電話帳画面(P.141)から
機能を選ぶ
2. 電話帳管理を選ぶ
3. 電話帳削除を選ぶ
4. 削除したい通話先を選ぶ



- 全削除：全ての通話先を削除

5. はいを選ぶ

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳や発着信履歴から、よく連絡する相手をワンタッチダイヤルに登録できます。(最大18件)

先にグループを選んで登録する

1. ダイヤル画面(P.140)から
ワンタッチダイヤルを選ぶ
2. ワンタッチダイヤル画面から
グループを選び、登録先を選ぶ



3. 表示させるリストを選ぶ
- 電話帳：電話帳のリストを表示
- 履歴：発着信履歴のリストを表示
- 中止：登録を中止
4. リストから登録したい通話先を選ぶ
- 電話帳の見かた→P.141
- ワンタッチダイヤルが登録されます。

お知らせ
- 電話帳画面(P.141)から
機能→ワンタッチダイヤル編集
→電話帳からワンタッチダイヤル登録/
履歴からワンタッチダイヤル登録を選んでも、ワンタッチダイヤルを登録できます。

先に相手を選んで登録する

1. ワンタッチダイヤル画面(左記)から
機能を選ぶ
2. 表示させるリストを選ぶ
- 電話帳からワンタッチダイヤル登録：電話帳のリストを表示
- 履歴からワンタッチダイヤル登録：発着信履歴のリストを表示
3. リストから登録したい通話先を選ぶ
- 電話帳の見かた→P.141
4. 登録先選択画面から
グループを選び、登録先を選ぶ
- ワンタッチダイヤルが登録されます。
5. (すでに登録されている場合)
はいを選ぶ

電話帳内容画面(P.140)から ワンタッチダイヤルを登録する

1. 電話帳(P.141)から登録したい相手を選ぶ
2. 機能を選び、ワンタッチダイヤル登録を選ぶ
3. リストから登録したい通話先を選ぶ
4. 登録先選択画面から
グループを選び、登録先を選ぶ
- ワンタッチダイヤルが登録されます。
5. (すでに登録されている場合)
はいを選ぶ

ハンズフリーで通話する

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルを一度消去すると、もとに戻せません。（再度登録が必要になります。）
消去は十分確認のうえ行ってください。

1件削除する

1 ワンタッチダイヤル画面(P.143)から 機能 を選ぶ
2 ワンタッチダイヤル削除 を選ぶ
3 削除したいワンタッチダイヤルを選ぶ
4 はい を選ぶ

全件削除する

1 ワンタッチダイヤル画面(P.143)から 機能 を選ぶ
2 ワンタッチダイヤル削除 を選ぶ
3 全削除 を選ぶ
4 はい を選ぶ

お知らせ

- 電話帳画面(P.141)から 機能 → ワンタッチダイヤル編集 → ワンタッチダイヤル削除 を選んでも、ワンタッチダイヤルを削除できます。

JAF・道路交通情報センターなどへ電話をかける

1 情報メニュー(P.22)から 電話帳 を選ぶ

2 電話したい項目を選ぶ

3 リストから施設を選ぶ

例：JAF

4 （電話ボタン） を選ぶ

- 電話をかけます。

JAF

1 都道府県を選ぶ
2 施設を選ぶ

道路交通情報センター

1 都道府県を選ぶ
2 施設を選ぶ

登録ポイント

9桁以上の電話番号の情報がある登録ポイントのみ選択できます。

登録ポイントを選ぶ

- 地図：登録ポイントの地図を表示

経由地・目的地

電話番号の情報がある経由地・目的地のみ選択できます。

（経由地がある場合のみ）
経由地・目的地を選ぶ

- 経由地がない場合は、左記手順**2**で 目的地 を選ぶと、目的地の電話番号が表示されます。

おでかけナビサポート ここいこ♪（スマートフォン連携）

■ おでかけナビサポート「ここいこ♪」とは

当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォン専用のアプリケーションおでかけナビサポート「ここいこ♪」(無料)から検索したスポットを、本機へ送信してルートを探索します。

●「ここいこ♪」のダウンロードやスマートフォンの適合機種など、詳しくは下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

「ここいこ♪」を利用する

1 本機での操作

情報メニュー(P.22)から ここいこ♪ を選ぶ

2 「ここいこ♪」手順画面に従ってアプリを準備する

●スマートフォンを本機に機器登録する
→P.132「本機の準備をする」手順**3**～133

●機器登録されたスマートフォンを本機とDrive P@ss接続する
→P.149 手順 **8**へ

お知らせ

●アプリケーションのバージョンアップなどにより、操作方法が変更になる場合があります。
●iPhoneで「ここいこ♪」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneをケーブルで接続しないでください。ケーブルでの接続が優先されるため、同時に使用できません。
●「ここいこ♪」1.4.0より以前のバージョンは、本機では利用できません。
最新のバージョンをダウンロードし、バージョンアップしてください。

「ここいこ♪」で検索した地点をすぐに本機に送信する

スマートフォンでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、目的地・経由地として本機に送信する

▼

本機で地点情報を受信し、探索結果画面※1が表示されます。(P.62)

「ここいこ♪」で検索した地点を日時指定して本機に送信する

iPhone版

1 iPhoneでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日時を予約する

▼

予約した日時になると、iPhoneにお知らせのメッセージが表示されます。

2 iPhoneでの操作

メッセージに従って、予約した内容を本機に送信する

▼

探索結果画面※1が表示されます。(P.62)

Android™版

1 Android端末での操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日時を予約する

▼

予約した日時になると、Android端末と本機がBLUETOOTH接続されたときに自動的に予約内容が本機に送信されます。※2

2 本機での操作

ルート設定の確認画面が表示されたら 設定する を選ぶ

● あとで設定する :
送信されたルートは消去されます。(スマートフォンから手動で再度送信できます。)

● このルートは不要 :
送信されたルートを消去し、スマートフォン側の予約も消去されます。

▼

探索結果画面※1が表示されます。(P.62)

「ここいこ♪」のルート探索について

●現在地がルートの出発点に設定されます。
●探索条件(P.70)「おまかせ」で探索されます。
●すでに通過した経由地がある場合、通過した経由地を解除してルートを探索します。
●本機で通過道路(P.65)、入口/出口IC指定(P.66)を設定している場合、設定を解除してルートを探索します。
●実際とは異なる道路種別で表示される場合があります。
●スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴(P.55)に保存されます。
登録ポイント(P.77)には保存されません。

※1「ここいこ♪」で探索すると、[ここいこ]が表示されます。
※2「ここいこ♪」で常時通信設定をONに設定している場合のみ

Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)

■ DriveP@ssとは
当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
スマートフォンと本機を接続して、スマートフォン専用のアプリケーション「Drive P@ss」を起動すると、本機を操作してスマートフォンに収録された音楽を再生したり、本機の画面でインターネットのニュースを見ることができます。

走行中は、安全のためDrive P@ssの操作が一部制限されます。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご使用ください。

スマートフォンの準備をする（初回利用時のみ）

1 スマートフォンでの操作
スマートフォンにアプリをダウンロードし、インストールする

お知らせ
● スマートフォンによっては、Drive P@ssを利用できません。
● Drive P@ssのダウンロードやスマートフォンの適合機種、およびMiracastでの接続などについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

本機の準備をする（初回利用時のみ）

2 本機での操作
設定メニュー(P.23)**から BLUETOOTH設定 を選ぶ**

3 **BLUETOOTH設定画面から 機器登録 を選ぶ**



4 **新規機器登録 を選ぶ**

5 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合のみ)
はい を選ぶ
● BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。

BLUETOOTH接続画面が表示されます。



お知らせ
● 電話機選択画面(P.134)から 新規登録 を選んでもBLUETOOTH接続画面が表示されます。

スマートフォンを本機に機器登録する（初回利用時のみ）

6 スマートフォンでの操作
周辺のBLUETOOTH機器(本機)を探す

❶ ホーム画面を開き、[≡]を押す
❷ 本体設定 を選ぶ
❸ Bluetooth を選ぶ
❹ 「Bluetooth」をONにする
● しばらくすると、「Strada」が表示されます。
❺ 検索された機器リストから Strada を選ぶ
❻ ペア設定する を選ぶ
● P-03Eの場合は、❶～❻の手順で、ハンズフリーを利用する携帯電話として登録・接続されます。

機器登録画面が表示されます。



各携帯電話が利用できるサービスを表示



Bluetooth® Audio
ハンズフリー
※1「ここいこ♪」、「Drive P@ss」

※1 表示されない場合も、手動でDrive P@ss接続すると表示される場合があります。(P.134)

お知らせ
● 携帯電話によっては、利用できないサービスが表示される場合があります。

スマートフォンと本機をDrive P@ss接続する

P.150に続く

7 スマートフォンでの操作
Drive P@ssを起動する

8 本機での操作
機器登録画面(左記)**から Drive P@ss接続へ を選ぶ**

9 **リストからDrive P@ss接続したいスマートフォンを選ぶ**

本機とスマートフォンがDrive P@ss接続されます。
● Drive P@ss接続中は、スマートフォンを操作しないでください。

お知らせ
● BLUETOOTH設定画面(P.148)から Drive P@ss接続 を選ぶか、「ここいこ♪」手順画面(P.146)から Drive P@ss接続へ を選んでもDrive P@ss接続できます。

Drive P@ssを利用する（スマートフォン連携）

スマートフォンと本機をケーブルで接続する

P.152に続く

お願い

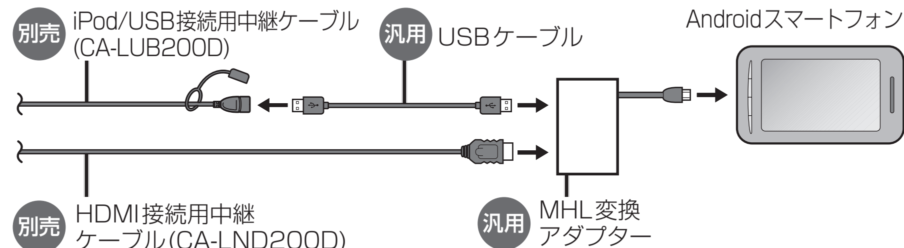
- スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- スマートフォンのヘッドホンなどは、接続しないでください。
  正しく動作しない場合があります。
- Drive P@ss利用中に、スマートフォンの取り付け・取り外しをしないでください。
  雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- スマートフォンの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- スマートフォンおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- スマートフォンを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずスマートフォンを取り外してください。
- スマートフォンが正しく動作しないときは、本機からスマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- スマートフォンに楽曲を追加する操作を行う場合は、スマートフォンを本機から取り外してください。
- スマートフォンの説明書もよくお読みください。

お知らせ

- スマートフォンの機種やHDMI接続に使用する機器（アダプターなど）によっては、スマートフォンの充電ができない場合があります。
- スマートフォンの動作やバージョンアップされるスマートフォン、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してスマートフォンを使用中に、スマートフォンのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

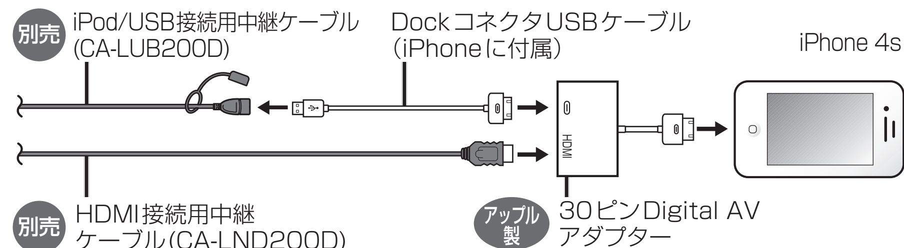
- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル（CA-LUB200D）を使用してください。
- 下記以外の方法では接続できません。

Androidスマートフォンを接続する場合



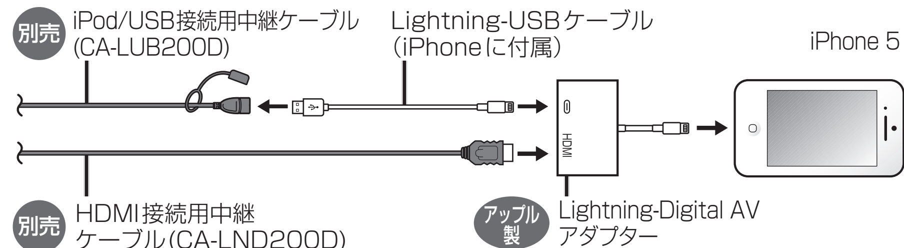
- 接続するスマートフォンに適合したMHL変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

iPhone 4sを接続する場合



- iPodミュージックも再生できます。

iPhone 5を接続する場合



- Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。
  Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。（P.121）

Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)

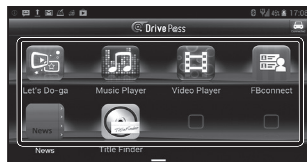
Drive P@ssを利用する

1 スマートフォンでの操作
Drive P@ssを起動する

2 本機での操作
ツートップメニュー(P.22)**から Drive P@ss を選ぶ**

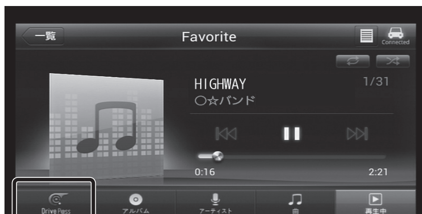
- Drive P@ssに切り換わります。
  - ・画面が切り換わるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
  - ・スマートフォンがロック状態のときは、切り換わりません。ロックを解除して、再度 Drive P@ss を選んでください。

3 **アプリ選択画面から、起動したいアプリを選ぶ**



- 最後に起動したアプリの画面が表示される場合、[Drive P@ss]を選んでください。

- 選んだアプリに切り換わります。
- アプリの操作については、各アプリの操作説明をご覧ください。



例:Music Player

お願い

- **Drive P@ss利用時は、スマートフォンを操作しないでください。正しく表示されなくなることがあります。**

Drive P@ssのアプリの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

アプリの画面(Music Playerなど)を表示中に 現在地 を押す

- Drive P@ssアプリの画面に戻るには、AUDIO を押すかツートップメニュー(P.22)から Drive P@ss を選んでください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、Drive P@ssをOFFにしてください。(下記)

Drive P@ssをOFFにするには

オーディオをOFFにすると、Drive P@ssのアプリの音声・映像が消去されます。

■切換タッチキーで
Drive P@ssまたはアプリの画面で AUDIO を押して切換タッチキーを表示させ、OFF を選ぶ

■ツートップメニューから
AUDIO OFF を選ぶ

Drive P@ssをONにするには

オーディオをONにする(P.89)

お知らせ

- ステアリングスイッチ(P.165)や、本体ボタンによる操作は、利用できない場合があります。
- アスペクト(P.128)は「フル」に固定されます。
- 地図画面上のオーディオ情報表示(P.34)に、起動中のDrive P@ssアプリの名称が表示されます。
- 本機で操作できるのは、表示されているアプリだけです。
  (例:Music Playerで音楽を再生したまま他のアプリを起動させると、音楽は聞けますが曲の頭出しや早戻しはできません。)
- BLUETOOTH Audio機器が本機に接続された状態で「Drive P@ss」に切り換えると、約10秒間音声が出力されない場合がありますが、故障ではありません。

その他

eco（エコ）ドライブ機能を使う

ecoドライブとは

以下の機能で、環境に優しい「エコドライブ」をサポートします。

■ドライブ診断
急加減速・アイドリング・高速度走行から、環境に負荷をかける走りかたをしていないか診断します。

■燃費計算
給油量と走行距離をもとに、燃費を計算します。

お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信できなかった場合、ドライブ診断と燃費計算の履歴には、日付は表示されません。
- ドライブ診断や燃費計算の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。
- **バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されると、ドライブ診断と燃費計算の履歴は全て消去されます。**

急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る（ドライブ診断）

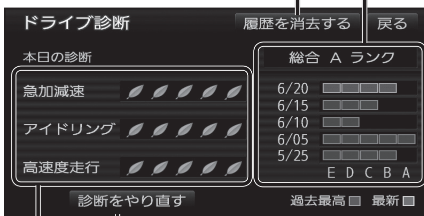
1 情報メニュー(P.22)から ecoドライブ を選ぶ

2 ecoドライブ画面から ドライブ診断 を選ぶ



- ドライブ診断画面が表示されます。

５日分の履歴と総合ランクを表示
- A(最高)～E(最低)の５段階評価
- 履歴を消去する :
  本日の診断内容、過去の履歴、総合ランクを全て消去



- 診断をやり直す :
  本日の診断内容のみを消去し、診断をやりなおします。

本日の診断
エコマーク( )が多いほど高評価です。
(「 」が最高)
- **急加減速**：急加速/急減速を行うと、エコマークが減少
- **アイドリング**：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- **高速度走行**：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ドライブ診断画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- eco(P.70)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ドライブ診断の結果が悪くなる場合があります。

燃費を計算する

正確に燃費を計算するために、給油時に必ず給油量を入力してください。

1 ecoドライブ画面(P.154)から 燃費計算 を選ぶ



2 給油量入力 を選ぶ



3 給油量を入力する



- 修正 : １文字削除
- 入力が完了したあと、数値の修正はできません。

4 満タン給油の場合

はい を選ぶ
- 前回満タンにしたときから今回までの燃費が算出されます。

一部給油の（満タンではない）場合

いいえ を選ぶ
- 給油した量が本機に記憶されます。
- 前回給油時も一部給油だったときは、前回給油した量との合計（積算量）が記憶されます。
- 次回満タン給油したときに、部分給油の積算量と合算して算出されます。

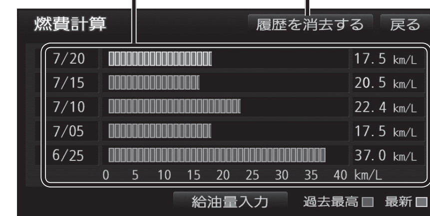
お知らせ

- 初めて計算するときは、正確な燃費が計算されない場合があります。

燃費を確認する

- 履歴を消去する : 全ての燃費履歴を消去

５回分の燃費計算の結果（km/L）を表示



燃費の算出のしかた

給油のたび、下記のように計算されます。

計算回数

1回目
- ①満タン給油
  ①で給油した分の燃費が計算されます。

2回目
- ②部分給油
  給油した量が本機に記憶されます。
- ③部分給油
  ②・③で給油した量の合計が本機に記憶されます。
- ④満タン給油
  ②～④で給油した分の燃費が計算されます。

3回目
- ⑤部分給油
  給油した量が本機に記憶されます。
- ⑥満タン給油
  ⑤～⑥で給油した分の燃費が計算されます。

4回目
- ⑦満タン給油
  ⑦で給油した分の燃費が計算されます。

別売品と組み合わせて使う

DSRC車載器と接続して使う

別売のDSRC車載器(CY-DSR140D)※を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

※本機は電波・光ビーコンサービスに対応していません。サービスを受けるには、別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)との接続が必要です。

- **本機、およびCY-DSR140Dは、カード抜き忘れ警告の案内を行いません。**
- **DSRC車載器を本機に接続すると、DSRC車載器側の機能が一部制限されます。**
  - **・DSRC車載器の一部のボタンは操作できません。**
  - **・DSRC車載器からの音声案内は行いません。**
    ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。ただし、CY-DSR110D以前のDSRC車載器では、DSRC車載器から音声案内される場合があります。(カード抜き忘れ警告の案内など)

VICS情報提供サービス(P.82)

DSRC路側機(道路に設置される路側無線装置)より5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.83)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報※1を考慮したルート探索ができます。(P.71、75「VICS経路探索」)
- 高速道路上のITSスポットではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.83)

※1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

DSRCアップリンク(P.85)

DSRC車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をDSRC路側機へ送信することをいいます。
送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、DSRC車載器の説明書もご覧ください。
- DSRCアップリンクする/しないの設定ができます。(P.85)

ETC車載器として使う

DSRC車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- **ETC車載器は、本機に接続できません。**
- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを入れると、「カードが読めません」と音声案内されます。
- DSRC車載器接続時は、カードを入れると地図画面に ETC と表示されます。
- ETC設定(カード未挿入警告)を「する」に設定してください。(P.166)
- ETC拡大図表示を「する」に設定してください。(P.163)

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCゲートを通過できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
  例:「カードの有効期限が近づいています」
  「カードの有効期限をお確かめください」
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

料金履歴を見る

情報メニュー(P.22)から 高速料金表示 を選ぶ

- 高速料金履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)

高速料金履歴　戻る

最新	利用日	料金	
︿	20XX年 X月XX日	600円	詳細
	20XX年 X月XX日	600円	詳細
	20XX年 X月XX日	450円	詳細
	20XX年 X月XX日	550円	詳細
﹀	20XX年 X月XX日	−150円	詳細

- 最新 :日付の新しい順に5件表示
- 詳細 :料金履歴の詳細を表示
- ∧ ∨ :ページの切換
- 100件を超えると古い順に消去されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。 高速料金表示 を選んで高速料金履歴画面(上記)が表示されるまでは、DSRC車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

リヤビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。(P.165)
  ・カメラスケール表示を調整
  ・カメラ割込みを「する」に設定

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



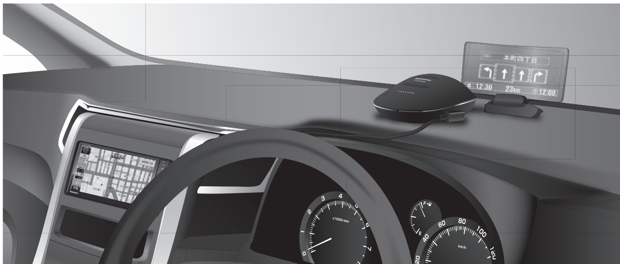
お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面(P.165)を表示させ、画質を調整してください。(P.17)

別売品と組み合わせて使う

フロントインフォディスプレイと接続して使う

本機に連動したルートやVICSなどの案内情報画面を、別売のフロントインフォディスプレイ（CY-DF100D）に割り込み表示させることができます。



フロントインフォディスプレイの設定をする

フロントインフォディスプレイをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 設定メニュー（P.23）から 各種設定 を選ぶ

2 各種設定画面から その他 を選ぶ

3 フロントインフォディスプレイ を選ぶ

4 各項目を設定し、完了 を選ぶ



［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作
画面表示	「**す　　る**」：フロントインフォディスプレイに案内が表示される 「し　な　い」：フロントインフォディスプレイには何も表示されない
入力切換	「**案内情報**」：本機の案内が表示される 「外部入力」：フロントインフォディスプレイの外部入力接続端子に接続した機器の映像が表示される＊1
明るさ	フロントインフォディスプレイの明るさを、◀/▶で調整する ●調整範囲：－５～**±０**～＋５（11段階）
台形補正	フロントインフォディスプレイの傾きを、◀/▶で補正する ●調整範囲：－３～**±０**～＋３（7段階） ●上辺/底辺の長さを調整することで画像の見えかたを補正します。 ● 補正画像表示 を選ぶと、カラーバーがフロントインフォディスプレイに表示されます。カラーバー画面が長方形になるように調整してください。

＊1走行中は表示されません。（案内情報が表示されます。）外部入力機器の映像を見るには、安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。

表示例

★印…ルート案内中にのみ、表示されます。



■ 一般道路走行情報

道路名称、運転アドバイスマーク、到着予想時刻と残距離★、分岐地点までの距離★、分岐地点の交差点名称と進む方向★、渋滞または規制情報★などが、表示されます。



■ 通過交差点情報

通過する交差点の名称、レーン情報が、表示されます。



★ ■ 分岐案内

分岐地点までの距離、分岐地点の名称、分岐方向などが、表示されます。一般道の場合には、レーン情報も表示されます。



■ ハイウェイ案内

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると、SA・PA・IC・JCTや料金所の名称、自車からの距離、運転アドバイスマーク、施設の情報、渋滞または規制情報★などが、表示されます。



■ ETC案内

料金所手前でETCレーンの情報が、表示されます。
（DSRC車載器接続時のみ）



★ ■ VICS案内

渋滞または規制の情報を受信すると、表示されます。（約５秒間）

●VICS渋滞・規制音声自動発声（P.163）を「する」に設定した場合のみ、表示されます。



■ 運転アドバイス

踏切警告/合流警告/カーブ警告/レーン警告（高速道路のみ）/事故多発地点案内が、表示されます。（約５秒間）

●各設定（P.163）を「する」に設定した場合のみ、表示されます。



★ ■ 到着案内

目的地または経由地に近づくと、表示されます。

※フロントインフォディスプレイの表示は実際と異なる場合があります。

別売品と組み合わせて使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ビデオカメラと組み合わせる

準 備

- ビデオカメラを本機に接続してください。

HDMIで接続している場合

オーディオ選択タッチキー(P.22)**から HDMI を選ぶ**

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

お知らせ

- BLUETOOTH Audio機器が本機に接続された状態で「HDMI」に切り換えると、約10秒間音声が出力されない場合がありますが、故障ではありません。

映像・音声入力コードで接続している場合

オーディオ選択タッチキー(P.22)**から VTR を選ぶ**

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

ビデオ再生中に AUDIO を押すと、状態表示画面が表示されます。

例：VTR



全画面で表示
- AUDIO を押しても、全画面で表示できます。

音質・音場を調整する(P.126)

アスペクトを切り換える(P.128)

2台目のモニターと組み合わせる

本機の映像※1を、2台目のモニターに表示できます。

準 備

- 2台目のモニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ入力」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える (P.88)

- 本機および2台目のモニターに、選んだオーディオが表示されます。
- 現在地 を押すと、2台目のモニターに映像を出力したまま、本機のモニターを現在地画面に切り換えることができます。
- 2台目のモニターには、走行中でも映像が出力されます。

※1 デジタルTV、DVD、iPodビデオ、VTR

ダウンロードキーの出力

インターネットで年度更新地図データをダウンロードする際に使用します。

準 備

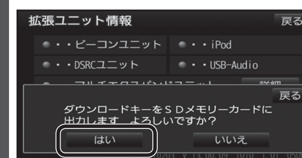
- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.27)

1 **情報メニュー**(P.22)**から 拡張ユニット を選ぶ**

2 **ダウンロードキー出力 を選ぶ**



3 **はい を選ぶ**



- SDメモリーカードのルートフォルダに、ダウンロードキー「update_info_AS300＊.dat」が出力され、本機が再起動します。
(「＊」部は、お買い上げ製品の品番によって異なります。)

お知らせ

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定次第、下記サイトにてご案内します。
http://panasonic.jp/navi/

利用に応じた設定に変える（各種設定）

各種設定画面を表示する

1 設定メニュー(P.23)から 各種設定 を選ぶ

2 設定したい項目を選び、設定する(P.162～166)

3 完了 を選ぶ

［**太字**：お買い上げ時の設定］

	設定する項目	設　定
地図表示設定	2D (ノースアップ)時フロントワイド ノースアップ時、フロントワイド(上部が広くあいている地図)で表示する/しないを設定	「す　る」：ノースアップ時、フロントワイド表示される。 「**しない**」：ノースアップ時、フロントワイド表示されない。
	右画面の地図で表示	「す　る」：右画面がノースアップ時、フロントワイドで表示される。 「**しない**」：右画面がノースアップ時、フロントワイドで表示されない。
	2D (ヘディングアップ)時フロントワイド	「**す　る**」：ヘディングアップ時、フロントワイドで表示される。 「しない」：ヘディングアップ時、フロントワイドで表示されない。
	右画面の地図で表示	「**す　る**」：右画面がヘディングアップ時、フロントワイドで表示される。 「しない」：右画面がヘディングアップ時、フロントワイドで表示されない。
	3D地図表示設定	● 変更のしかた→P.45
	地図強調表示 (P.30)	「**す　る**」：地図強調表示で表示される。 「しない」：地図強調表示で表示されない。
	立体ランドマーク表示 (P.35)	「**す　る**」：立体ランドマークが表示される。 「しない」：立体ランドマークは表示されない。
	シーズンレジャーランドマーク表示 (P.35)	「**す　る**」：シーズンレジャーランドマークが表示される。 「しない」：シーズンレジャーランドマークは表示されない。
	地図スクロール時の地名表示 (P.36)	「**す　る**」：スクロール時、カーソル付近の地名や道路名称、道路番号が表示される。 「しない」：スクロール時、地名は表示されない。
	抜け道表示 (P.34)	「**す　る**」：抜け道(緑色の線)が表示される。 「しない」：抜け道は表示されない。
自動表示切換設定	交差点拡大図自動表示 (P.32) 交差点拡大図、立体交差点拡大図、難交差点拡大図、ハイウェイ入口案内をする/しないを設定	「**す　る**」：交差点拡大図が自動的に表示される。 「しない」：交差点拡大図は表示されない。
	ハイウェイ分岐図自動表示 (P.33)	「**す　る**」：ハイウェイ分岐図が自動的に表示される。 「しない」：ハイウェイ分岐図は表示されない。
	レーンリスト自動表示 (P.31)	「**す　る**」：レーンリストが自動的に表示される。 「しない」：レーンリストは表示されない。
	ターンリスト自動表示 (P.31)	「す　る」：ターンリストが自動的に表示される。 「**しない**」：ターンリストは表示されない。
	都市高マップ自動表示 (P.30)	「す　る」：都市高マップが自動的に表示される。 「**しない**」：都市高マップは表示されない。
	駐車場マップ自動表示 (P.31)	「**す　る**」：駐車場マップが自動的に表示される。 「しない」：駐車場マップは表示されない。
	100 m縮尺市街図表示 (P.30)	「**す　る**」：縮尺が100 mのときに、市街地図が表示される。 「しない」：縮尺が100 mのときに、広域地図が表示される。 ● 縮尺が25 m～50 mのときは市街地図が表示されます。

	設定する項目	設　定
案内表示設定	縮尺切換メッセージ表示	「す　る」：縮尺切換メッセージが表示される。 「**しない**」：縮尺切換メッセージは表示されない。
	踏切警告 (P.36、72)	「**す　る**」：踏切にさしかかると、マークと音声で案内される。 「しない」：踏切警告されない。
	合流警告 (P.36、73)	「**す　る**」：高速道路･有料道路での合流地点が、マークと音声で案内される。 「しない」：合流警告されない。
	カーブ警告 (P.36、72)	「**す　る**」：急なカーブにさしかかると、マークと音声で案内される。 「しない」：カーブ警告されない。
	事故多発地点案内 (P.36、73)	「**す　る**」：事故多発地点にさしかかると、マークと音声で案内される。 「しない」：事故多発地点案内されない。
	レーン警告 (P.36、72、73)	「す　る」：高速道、有料道路ではレーンが減少する地点が、一般道では専用レーンがある地点が、マークと音声で案内される。 「**しない**」：レーン警告されない。
	料金案内 (P.73)	「**す　る**」：料金案内される。 「しない」：料金案内されない。
	ETC拡大図表示 (P.33)	「**す　る**」：ETC拡大図が表示される。 「しない」：ETC拡大図は表示されない。
	3D交差点拡大図 (P.32)	「す　る」：3Dで表示される。 「**しない**」：2Dで表示される。
	到着予想時刻表示(P.37) 到着予想時刻を算出するための平均車速と、VICS情報考慮のON/OFFを設定	変更する を選ぶ → ＜ ＞ で平均車速を設定する 「一般道」：5 ㎞/h～**30 ㎞/h**～ 60 ㎞/h 「有料道」：5 ㎞/h～**60 ㎞/h**～ 80 ㎞/h 「高速道」：5 ㎞/h～**80 ㎞/h**～ 120 ㎞/h VICS情報考慮 のON/OFFを切り換える 「**ON**」：インジケーターが点灯する。 「OFF」：インジケーターが消灯する。 → 完了 を選ぶ
音声設定	VICS渋滞・規制音声自動発声(P.73)	「**す　る**」：ルート前方の交通状況が音声案内される。 「しない」：VICS渋滞・規制音声案内されない。
	自動音声案内 (P.72、73)	「**す　る**」：ルート音声案内される。 「しない」：ルート音声案内されない。
	他モード時の案内	「**す　る**」：ナビゲーションの音声案内が、オーディオ画面/メニュー画面を表示中も出力される。 「しない」：ナビゲーションの音声案内は、オーディオ画面/メニュー画面を表示中は出力されない。
	居眠り防止案内 (P.75)	「**す　る**」：定期的に居眠り防止案内される。 「しない」：居眠り防止案内されない。
	eco運転アドバイス (P.75)	「**す　る**」：起動時にエコドライブをすすめる音声案内が出力される。 「しない」：eco運転アドバイスは出力されない。
	操作音	「**O N**」：操作時に「ピッ」という音が出力される。 「OFF」：操作音は出力されない。

[**太字**:お買い上げ時の設定]

	設定する項目	設定
ルート系設定	オートリルート (P.75)	「**す　る**」:ルートから外れたとき、自動的に再探索する。 ● **通常は「する」に設定してください。** 「しない」:ルートから外れても、自動的に再探索しない。
	季節規制メッセージ表示 (P.63)	「**す　る**」:季節規制メッセージが表示される。 「しない」:季節規制メッセージは表示されない。
	渋滞データバンク探索 (P.71)	「す　る」:渋滞データバンクを考慮してルートが探索される。 「**しない**」:渋滞データバンクはルート探索に反映されない。
	VICS/DSRC探索 (P.71、75) ビーコンやDSRCの渋滞情報を考慮してルート探索する/しないを設定する。	設定する を選ぶ → 「**す　る**」:VICS/DSRC探索する。 ●渋滞データ使用範囲を設定してください。(下記) ・「**近距離**」:自車位置周辺の情報を利用してルート探索します。 ・広域※1:自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用してルート探索したり、新旧ルート比較情報(P.75)やDSRCマーク(P.83)を表示します。 ※1 DSRC車載器接続時のみ。DSRCの情報を優先するため、DSRC以外の遠方の情報が反映されない場合があります。 「しない」:VICS/DSRC探索しない。 → 完了 を選ぶ
	スマートIC自動利用探索 (P.71)	「**す　る**」:スマートICの利用を考慮したルートを自動的に探索する。 「しない」:スマートICを通るルートを自動的に探索しない。
	目的地方向直線表示 (P.37)	「**す　る**」:現在地から次の経由地または目的地の方向が橙色の直線で表示される。 「しない」:目的地方向直線は表示されない。
その他	時計表示 (P.34)	「**す　る**」:地図画面とオーディオ画面で現在時刻が表示される。 「しない」:現在時刻は表示されない。 ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
	車速パルス検出レベル	「**標　準**」:**通常は「標準」に設定する。** 「低レベル」:「標準」では車速パルスが検出できないときに設定する。(お買い上げの販売店にご相談ください。)
	ランドマーク 走行中呼出ジャンル(P.47) ワンタッチセレクトの変更	変更する を選ぶ → 変更したいランドマークを選ぶ → ワンタッチセレクトにしたいランドマークを選ぶ → 完了 を選ぶ
	車両情報設定	変更する を選ぶ ● 設定のしかた→P.20
	目的地履歴の消去 (P.55)	消去する を選ぶ → 履歴を選んで消去する → リストから、履歴を選ぶ → はい を選ぶ 消去する を選ぶ → 全ての履歴を消去する → 全消去 を選ぶ → はい を選ぶ
	ナビ補正 現在地修正 (通常は必要ありません)	補正する を選ぶ → 現在地修正 を選ぶ ● 設定のしかた→P.15
	ナビ補正 車速補正係数 (通常は必要ありません)	補正する を選ぶ → 車速補正係数 を選ぶ → 「**自動補正**」:車速パルスをもとに、車速補正係数が自動的に補正される。 ＜ ＞ で車速補正係数を手動で設定する → 完了 を選ぶ
	ナビ+オーディオ情報表示 (P.34)	「す　る」:地図画面にオーディオ情報が表示される。 「**しない**」:地図画面にオーディオ情報は表示されない。
	ナビ+映像表示 (P.129)	「す　る」:現在地画面にオーディオの映像画面が表示される。 「**しない**」:現在地画面にオーディオの映像画面は表示されない。
	起動パスワード	● 設定のしかた→P.25「設定する」手順**3**

	設定する項目	設定
その他(続き) カメラ設定※1	**カメラ割込み** カメラ割り込みする/しないを設定	変更する を選ぶ → 「す　る」:車載用カメラを接続している場合に設定する。 「**しない**」:車載用カメラを接続しない場合に設定する。
	カメラスケール表示 リヤビューカメラ画面に、カメラスケール(車幅や距離感の目安)を表示する/しないを設定 準 備 ● サイドブレーキをしっかり引いてください。 ※1 別売のリヤビューカメラ(CY-RC90KDなど)を接続している場合に設定してください。	変更する を選ぶ → 「**調　整**」:リヤビューカメラを接続している場合に選択する。 ● 調整のしかた→下記 「非表示」:マルチカメラを接続している場合に選択する。 カメラスケールの調整のしかた: **調整画面(下記)が表示されたらシフトレバーをリバース(R)に入れ、カメラスケールを調整する** ﹀ 右 ︿ 右側のカメラスケールの角度を調整する ﹀ 左 ︿ 左側のカメラスケールの角度を調整する ＞＜ 幅 ＜＞ カメラスケールの幅を調整する ＜ 中心 ＞ カメラスケールの中心を調整する 角度連動 片側のカメラスケールを調整すると、もう一方も連動して調整される → 完了 を選ぶ
その他(続き)	**ステアリングスイッチ設定** 純正ステアリングスイッチが車両に装備されている場合には、ステアリングスイッチに割りあてる機能の設定を変更できます。 ● 車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。 http://panasonic.jp/navi/ ● ひとつのスイッチに複数の機能を割りあてることはできません。 ● ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。	設定する を選ぶ → **ステアリングスイッチ設定画面から機能を選ぶ** [お買い上げ時の設定:未設定] (下表参照) ● 設定解除 :設定を全て解除 ※2 対応する本体ボタン/タッチキーはありませんが、機能を割りあてることができます。 → 車のステアリングスイッチでの操作 **機能を割りあてたいスイッチを1秒以上押す**

割りあて可能な機能	対応する本体ボタン/タッチキー
VOL UP	＋ 大
VOL DOWN	小 −
TRACK UP	▶▶| 次へ
TRACK DOWN	前へ |◀◀
MUTE	MUTE (オーディオの音声を一時的に消音)
SOURCE	—※2 (オーディオの種類を切換→P.88)
(電話マーク)	(電話マーク) 電話に出る (着信中)
(電話マーク) [1秒以上押す]	(電話マーク) 電話を切る (通話中)/ 電話に出ない (着信中)

利用に応じた設定に変える（各種設定）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

設定する項目			設　定		
その他（続き）		**案内出力スピーカー** ナビゲーションの音声案内を出力するスピーカーを設定する	設定する を選ぶ	「左前」 **「右前＋左前」** 「右前」	完了 を選ぶ
その他（続き）	ETC設定	**ACCオン時** **カード未挿入警告**	設定する を選ぶ	**「す　る」**：車のエンジンをかけた（またはACCをONにした）とき、カードの差し忘れ警告を音声と画面表示で案内する。 「しない」：カードの差し忘れ警告を案内しない。	完了 を選ぶ
その他（続き）	ETC設定	**ルート設定時** **カード未挿入警告**	設定する を選ぶ	**「す　る」**：有料道路を通るルートが探索されたときに、カードの差し忘れ警告を音声と画面表示で案内する。 「しない」：カードの挿し忘れ警告を案内しない。	完了 を選ぶ
その他（続き）		**フロントインフォディスプレイ**	● 設定のしかた→P.158		
その他（続き）		**SDメモリーカードの初期化**	初期化する を選ぶ	「は　い」：SDメモリーカード内のデータを消去する。 「いいえ」：各種設定画面に戻る。	
その他（続き）		**初期化により消去されたデータはもとに戻せません。** **必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。** **（MEMORY MUSIC for SDの音楽データやSD動画再生の動画データは、パソコンにバックアップを取ることはできません。）**			
その他（続き）		**システムの初期化** **初期化により消去されたデータはもとに戻せません。初期化は十分確認のうえ行ってください。**	初期化する を選ぶ	「はい」：本機をお買い上げ時の状態に戻す。 **● 下記の情報が消去されます。** ・登録ポイント　・迂回メモリー ・ルート　・走行軌跡 ・全ての設定内容	
その他（続き）				「いいえ」：各種設定画面に戻る。	

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 設定メニュー（P.23）から 各種設定 を選ぶ

2 その他 を選ぶ

3 初期状態 を選ぶ

4 はい を選ぶ

- 各種設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

お知らせ

- ナビ補正は、システムの初期化（P.166）を行うとお買い上げ時の状態に戻ります。

下記の項目を
お買い上げ時の状態に戻すには

- 3D地図表示設定
- 到着予想時刻表示
- ランドマーク 走行中呼出ジャンル
- 車両情報設定
- カメラスケール表示

1 お買い上げ時の状態に戻したい項目の 変更する を選ぶ（P.162～166）

2 （カメラスケール表示のみ）調整 を選ぶ

3 初期状態 を選ぶ

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
  →［現在地］を押してください。（P.36）

自車位置が正しく表示されない/GPSマークが表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。（フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど）
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- ***GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。***（取付説明書）
- 距離補正やジャイロ角度補正が完了していない。
  →「学習レベル」（距離補正の精度）、「ジャイロ角度補正」を確認してください。（P.18）
- ***GPSアンテナのコードや、車速信号中継コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。***（取付説明書）
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のVICSビーコンユニットの近くに取り付けられている。
  →***GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、VICSビーコンユニットから15 cm以上離して取り付けてください。***（取付説明書）

縮尺を切り換えたのに、元の縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
  →地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
  現在地画面で 詳細 / 広域 を選び、縮尺を切り換えてください。（P.43）

車両情報が設定できない

- ルートが設定されている（ルート案内中・ルート案内中止時）と、車両情報を設定できない。
  →ルートを消去してください。（P.53）

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定次第、下記サイトにてご案内します。
  http://panasonic.jp/navi/

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

	内　容	ページ
動作	**電源が入らない**	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	14
	低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 （オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。）	—
	本機が動作しない(画面右上にエラー番号13～18、1Aが表示される)	
	地図SDHCメモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	14、27
	本機が動作しない(画面右上にエラー番号19が表示される)	
	他の機器で使用した地図SDHCメモリーカードが挿入されている。 ● 地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	—
	モニターの上下角度が調整できない	
	障害物などにあたっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	13
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	本機が温かくなる	
	長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
	本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。 ● SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	26、166
画面/映像	**映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い**	
	画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください。	17
	画面に赤、青または緑の点が表示される	
	液晶ディスプレイ特有の現象です。(故障ではありません。)	—
	モニターに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
	オーディオがHDMI/VTRになっている。 ● 他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI/VTR以外の画面を表示させてください。	88
	一時的に画面を消している(画面消) ● AUDIO / MENU / 現在地 / TILT のいずれかを押してください。	17
	電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
	アクセサリーコード/電源コネクターのヒューズが切れている。 *● お買い上げの販売店にご相談ください。*	取付説明書

電源・共通

	内　容	ページ
画面/映像	**音声は出るが、映像が出ない**	
	一時的に画面を消している(画面消) ● AUDIO / MENU / 現在地 / TILT のいずれかを押してください。	17
	サイドブレーキを引いていない。 ● 安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いてください。	—
	サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書
	別売のフロントインフォディスプレイに、本機の案内情報が表示されない。	
	フロントインフォディスプレイ設定で、画面表示「しない」に設定されている。 ● 画面表示「する」に設定してください。	158
	フロントインフォディスプレイ設定で、入力切換が「外部入力」に設定されている。 ● 入力切換を「案内情報」に設定してください。	158
	フロントインフォディスプレイの接続を確認してください。	取付説明書
音声	**ステレオのとき左右の音が逆になる**	
	スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
	左右前後のいずれかの音が出ない	
	バランス/フェーダーの音量バランスを確認してください。	126
	各コードの接続を確認してください。	取付説明書
	音が悪い(音がとぶ)	
	DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	183
	本機の取り付けを確認してください。 *● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。*	取付説明書
	雑音が出る	
	携帯電話などを本機から離してください。	—
	アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
表示	**VICS情報が表示されない(FM VICS)**	
	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	84
	FMの電波が弱い。 ● 障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 84
	地図情報の保持時間(約30分)が過ぎた。 ● 新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ● VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	取付説明書

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

	内　容	ページ
表示	**VICS情報が表示されない（電波・光ビーコン/DSRC）** ※ 別売のVICSビーコンユニット/DSRC車載器が必要です。	
	VICSビーコンユニット/DSRC車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● 上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ***●取り付け位置や接続を確認してください。***	 — — 取付説明書
	電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ***●お買い上げの販売店にご相談ください。***	—
	おでかけ旅ガイド検索時、おでかけスポット/おでかけプランが表示されない	
	SDメモリーカードの指定のフォルダにデータが保存されているか確認してください。	56
	SDメモリーカードにおでかけスポット/おでかけプランのデータを50件以上保存している。 ● 不要なファイルを消去してください。	—

ナビゲーション

	内　容	ページ
動作	**登録ポイントが登録されない/設定が変更されない/探索したルートが消去された**	
	操作のあと、すぐに電源を切った。 ● 再度操作してください。	—
	戻るを選んでも、前の画面に戻らない	
	画面によっては、戻るを選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ● 約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
案内	**音声案内されない**	
	「自動音声案内」が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	163
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ● ナビ案内音量の設定を調整してください。	16
	ルートから外れている。 ● 現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ● 再探索してください。	 36、37 76
	オートリルートが「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	164
	ルートに対して逆走行している。 ● 目的地の方向を確認してください。 ● 再探索してください。	 37 76
	各コードの接続を確認してください。	取付説明書
	オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ● ナビ案内音量の設定を調整してください。	16

ナビゲーション

	内　容	ページ
案内	**ルート案内中に料金案内されない**	
	ルートが有料道路上から始まっている。 ● 有料道路上でオートリルートや再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
	有料道路以外で有料案内する	
	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ● 再探索メニューから、有料道から探索/一般道から探索を選んでください。	76
	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。（故障ではありません。） ● 通りたい一般道路上に経由地または通過道路を設定してください。	60、 64、65

オーディオ［デジタルTV］

	内　容	ページ
映像/音声	**映像も、音声も出ない**	
	本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
	電源を入れても映像がすぐに出ない	
	本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。（故障ではありません。）	—
	映像や音声が出ない（ときどき出なくなる）/映像が静止する（ときどき静止する）	
	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「青色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
	車両の搭載機器（電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど）の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	受信状態の良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 受信モードを「自動切換」または「ワンセグ」に切り換えてください。	95
	地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。	—
	ホームモード/おでかけモードが正しく設定されているか確認してください。	95
	周波数再編（リパック）が実施された。 ● エリアプリセットを解除して、再スキャンを行ってください。	95、96
	地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオ[AM]/[FM]

	内容	ページ
動作	**エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する**	
	エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合があります。(故障ではありません。)	—
音声	**●ラジオが受信できない** **●ノイズが多い**	
	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	97
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	取付説明書

オーディオ[DVD]

	内容	ページ
動作	**タッチパネルを操作しても、動作しない**	
	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	—
	設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
	複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ●トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	DVD初期設定で設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
	設定した字幕/音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
	「ソフトメニュー」でメニュー言語の設定を確認してください。	101
	ディスクを挿入しても再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	89
	再生できるディスクを使用してください。	184
	ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれることがあります。	—
音声	**再生中に小さい音が聞き取りにくい**	
	「音声ダイナミックレンジ」の設定を、「MIN」に設定してください。	101
	DVD再生の音量が小さい	
	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ●DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	16
	音質が悪い(音がとぶ)	
	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	183
	本機の取り付けを確認してください。 *●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。*	取付説明書

オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD音楽再生]/[USB-Audio]

	内容	ページ
動作	**再生するまで時間がかかる**	
	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	順番どおりに再生されない	
	書き込んだ順番に再生されます。 ●再生させたい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」〜「512」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
	再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	89
	MP3ファイルには、拡張子「mp3(MP3)」、WMAファイルには、拡張子「wma(WMA)」を必ず付けてください。	—
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	186
	ビットレート/サンプリング周波数が誤っている。 ●ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	187
	ファイルが破損している ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	186
音声	**音質が悪い(音がとぶ)**	
	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	183
	音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	186、187
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
	ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
表示	**●ファイル名/フォルダ名が正しく表示されない** **●曲情報が正しく表示されない**	
	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	187
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	186
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	
	再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオ[MEMORY MUSIC for SD]

	内　容	ページ
録音	**録音設定の切り換えができない**	
録音	録音中である。 ●録音を停止してください。	105
動作	**CDから録音した曲が再生されない**	
動作	曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	104、109
表示	**録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない**	
表示	新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	112
音声	**音質が悪い(音がとぶ)**	
音声	ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを消去してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。 なお、初期化するとデータは全て消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。(MEMORY MUSIC for SDの音楽データやSD動画再生の動画データは、パソコンにバックアップを取ることはできません。) ●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	111 26、166 —

オーディオ[SD動画再生]

	内　容	ページ
動作	**録画した番組が正常に再生されない**	
動作	本機で再生できるビデオファイルになっていない。 ●本機で再生可能なビデオファイルに対応した機器を使って録画してください。	185
動作	**録画した番組表のタイトルと違う番組が再生される**	
動作	●録画機器の説明書をご覧ください。	—
動作	**再生中に映像が静止する**	
動作	本機では、録画中に一時停止した部分が静止画のように再生されます。 ●一時停止を解除した位置まで早送りしてください。	117

オーディオ[iPod]

	内　容	ページ
動作	**iPodが正しく動作しない**	
動作	iPodが正しく認識されていない。 ●*接続を確認してください。* ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
動作	Lightningコネクタを持つiPod/iPhoneを接続している。 ●Lightning-USBケーブルによる接続では、Drive P@ssとiPodミュージックを同時に利用することはできません。配線を変えてください。	121
動作	iPodビデオが映らない ●Lightningコネクタを持つiPod/iPhoneは、iPodビデオ再生には対応していません。	121
動作	iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	120
表示	**iPodを本機から取り外しても、iPodが本機と接続されている表示(*Strada)になっている**	
表示	iPodをリセットしてください。	—

BLUETOOTH

	内　容	ページ
登録	**BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない**	
登録	BLUETOOTH Audio機器がA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない。 ●BLUETOOTH Audio機器は、A2DPに対応したものを登録してください。	—
登録	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ●ハンズフリー用の携帯電話は、HFPに対応したものを登録してください。	—
登録	BLUETOOTH対応機器のファームウェア(ソフトウェア)が古い。 ●ファームウェアを最新にしてください。	—
登録	**BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称(Strada)を選択しても、本機を登録できない**	
登録	機器アドレスが本機のものと異なる。 ●本機と同じ名称の、別の機器が登録されています。 本機のBLUETOOTH接続画面で機器アドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じ機器アドレスの機器を選んで登録してください。	132
接続	**本機に接続できない**	
接続	BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	132
接続	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ●HFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。 (機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
接続	携帯電話がSPP(Serial Port Profile)に対応していない。 ●SPPに対応していないとDrive P@ss接続できません。	—
接続	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
接続	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ●BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
接続	自動的にペアリング情報が消去された。 ●BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除し、再度機器登録からやりなおしてください。	132

故障かな!?

BLUETOOTH

	内容	ページ
接続	**登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない**	
接続	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能が無効になっている。 ● BLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
接続	BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ● 一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
接続	BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機（Strada）を削除し、再度機器登録からやりなおしてください。	132、134 132
接続	BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。 （機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。） ● BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
接続	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	189 —
接続	BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている。 ● 金属物から離してください。	—
接続	BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある。 ● BLUETOOTH対応機器と本機の間の障害物を取り除いてください。	—
接続	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
接続	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ● いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機（Strada）を削除し、再度機器登録からやりなおしてください。	— 132
接続 / BLUETOOTH Audio	BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ● オーディオをBluetooth® Audioに切り換え、本機から手動で接続してください。	134
接続 / BLUETOOTH Audio	ポータブル機器と自動で接続されない場合があります。 ● 接続方法から ポータブル機から を選んで接続してください。	136
接続 / ハンズフリー通話	携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ● 携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
音声	**音質が悪い（音がゆがむ・ノイズが発生する）**	
音声	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	189 —
音声	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
音声	BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない。 ● 充電してください。	—

BLUETOOTH

	内容	ページ
スマートフォン連携	**「Drive P@ss」や「ここいこ♪」のデータを本機で取得できない**	
スマートフォン連携	● BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ● Drive P@ss接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	135 134、135
スマートフォン連携	**「ここいこ♪」や「Drive P@ss」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない**	
スマートフォン連携	● 手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	135
スマートフォン連携	**「Drive P@ss」の接続が完了しない**	
スマートフォン連携	● 接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	134
スマートフォン連携	**「Drive P@ss」の切断が完了しない**	
スマートフォン連携	● スマートフォンを操作して切断してください。	—
スマートフォン連携 / ここいこ♪	**「ここいこ♪」のデータを本機で取得できない**	
スマートフォン連携 / ここいこ♪	iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続している。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
スマートフォン連携 / Drive P@ss	**「Drive P@ss」が正しく動作しない**	
スマートフォン連携 / Drive P@ss	「Drive P@ss」がダウンロードされていない。 ● 「Drive P@ss」の利用には、スマートフォンへ「Drive P@ss」のダウンロードが必要です。	148
スマートフォン連携 / Drive P@ss	スマートフォンが本機に正しく接続されていない。 ● ケーブルの接続を確認してください。	150 取付説明書
スマートフォン連携 / Drive P@ss	「Drive P@ss」が起動されていない。 ● スマートフォンの「Drive P@ss」が起動されていることを確認してください。	—
スマートフォン連携 / Drive P@ss	オーディオのHDMIの画面を表示させている。 ● オーディオのHDMIの画面では、「Drive P@ss」の操作はできません。本機で「Drive P@ss」を起動させてください。	152
ハンズフリー通話	**本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない**	
ハンズフリー通話	通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー通話 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	138
ハンズフリー通話	携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
ハンズフリー通話	BLUETOOTHによる接続がされていない。 ● 再度接続してください。	134
ハンズフリー通話	携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
ハンズフリー通話	**発着信時に相手の名前が表示されない**	
ハンズフリー通話	携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	142
ハンズフリー通話	**ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる**	
ハンズフリー通話	受話音量が大きすぎる。 ● 音量を下げてください。	16、138
ハンズフリー通話	**通話中、相手の音声が聞き取りにくい**	
ハンズフリー通話	自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
ハンズフリー通話	受話音量が小さい。 ● 音量を上げてください。	16、138

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

BLUETOOTH

	内　容	ページ
ハンズフリー通話	**着信履歴から発信できない**	
	番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—
	● 通話音量が大きすぎる/小さすぎる ● 通話しづらい	
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話しください。	—
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
	● 携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる ● 本機と接続中、携帯電話で通話できない	
	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
	走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
	携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
	電話帳転送ができない	
	携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していない。 ● OPPまたはPBAPに対応していないと、電話帳転送できません。 (機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—
BLUETOOTH Audio	**Bluetooth® Audio画面から操作できない(再生はできる)**	
	BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● BLUETOOTH Audio機器がAVRCPに対応していない場合は本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—
	機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。 ● BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—
	音量が小さい	
	● BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
	音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
	BLUETOOTH Audio機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	189
その他	**● その他の問題がある ● P.175～178の処置をしても問題が解決しない**	
	いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	132、133
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

こんなメッセージが出たときは

	内　容
あ	**異常検知でディスク停止中です**
	何らかのメカエラー/動作エラーが発生した。 ● DISC-EJECT を選んでも動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。 *※それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。*
	映像を表示できません
	異常のあるSD動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。
か	**現在ご使用になれません 走行すると使用できるようになります**
	本機を車に取り付けたあと、一度も車を走行させずに起動パスワードを設定しようとした。 ● 一度車を走らせて、停車させてから、起動パスワードを設定してください。
	高温のため10分後に動作を停止します 復帰可能な温度になると動作を再開します
	本機の内部温度が異常に高い。 ● 内部温度が下がるまでお待ちください。
	このデータは再生できません
	再生できない形式のSD動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。
	このSDメモリーカードは正しくフォーマットされていません 本機にてフォーマットしてください
	本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。(P.26、166)
さ	**指定したファイルに異常があります**
	正しくない形式のおでかけ旅ガイドのファイルを利用しようとした。 ● ファイルをご確認ください。
	車速信号が検出できません　車速信号コードの接続をご確認ください
	車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。(取付説明書) *それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。*
	受信できません(0020)
	地上デジタル/ワンセグ放送の受信レベルが低い。
	受信できません(E202)
	地上デジタル/ワンセグ放送の電波を受信できていない。
	受信できません(E203)
	地上デジタル放送/ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。
	放送休止のチャンネルを見ている。
	走行中はスクロールできません 停車してからお使いください
	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ● 安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いてご覧ください。
	サイドブレーキを引いているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ● *サイドブレーキコードの接続を確認してください。*

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなメッセージが出たときは

	内　容
た	**地図SDHCメモリーカードが挿入されていません**
	地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。
	地図データが読めません 地図SDHCメモリーカードをご確認ください
	地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ● *お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。*
	地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
	ディスクをお確かめください
	ディスクが汚れている、裏返しになっている。
	ディスクが音楽用でない、録音されていない。
	ディスクにキズが付いている。
	再生できないディスクを使用している。(P.184) ● ディスクを確認してください。
	電源を入れ直してください
	アンプに異常が発生した。 ● いったんエンジンを止めて、もう一度エンジンをかけてください。
は	**配線の不良または機器の故障の可能性があります お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください**
	正しく配線されていない。 ● *配線を確認してください。*
	本機が故障している。 ● *お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。*
	DC24 V車に取り付けている。 ● *ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。*
	本機は12 V車専用です　24 V車には使用できません 事故・故障の原因となりますので直ちに使用を中止し、本機を取り外してください
	DC24 V車に取り付けている。 ● *ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。*
ま	**目的地が遠すぎます　直線距離5000㎞以内に目的地の変更をお願いします**
	出発地、経由地、目的地を直線で結んだ距離が5000 ㎞以上になっている。 ● 目的地、経由地を変更して、もう一度ルートを探索してください。
	モーターアンテナ車に設定されています　オーディオOFF中はVICS情報は受信しません
	車両情報設定で、モーターアンテナ車に設定されています。 ● オーディオをOFFにするたびに表示されます。 以降 非表示 を選ぶと、次回オーディオをOFFにしても表示されなくなります。
	モーターアンテナ車に設定されていません オーディオOFF中もVICS情報を受信します モーターアンテナの場合はアンテナが下がりません　ご注意ください
	車両情報設定で、モーターアンテナ車に設定されていません。 ● オーディオをOFFにするたびに表示されます。 以降 非表示 を選ぶと、次回オーディオをOFFにしても表示されなくなります。

こんなメッセージが出たときは

	内　容
I	**iPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました　ケーブルにキャップをした後電源を入れ直してください**
	ケーブルが金属物に触れている。 ● 金属物から離してください。
	接続している機器に異常がないことを確認してください。
	※それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
S	**SDメモリーカードの空き容量が不足しています　これ以上録音できません**
	本機に十分な空き容量がない。 ● 不要な音楽データを消去してください。
	SDメモリーカードが正しく読めません　SDメモリーカードをご確認ください
	本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。(P.26、166)
	SDメモリーカードをご確認ください
	本機に対応しているSDメモリーカードを挿入してください。(P.26、27)
	SDメモリーカードがロックされています　ロックを解除してください
	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。(P.26)
	SDメモリーカードから取得可能なファイル件数を超えました ファイルの取得を中断します
	おでかけスポット/おでかけプランの取得可能件数(各1100件)を超えている。 ● 不要なファイルを消去してください。
V	**● VICSの文字情報を受信していません　●VICSの図形情報を受信していません**
	VICS情報がない。 ● FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。 ● *VICSビーコンユニットの取り付け・配線を確認してください。*
記号	🚫
	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

■万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
● 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のしかた

1 入力したい文字の種類を選ぶ



- かな：ひらがな/漢字
- カナ：カタカナ
- 英数字：英字/数字
- 数記号：数字/記号

2 文字を入力する（右記）



- スペース：スペースを入力
- ＜ ＞：カーソルを移動
- 修正：1文字削除

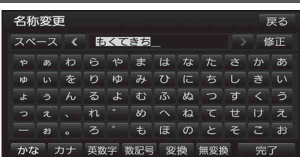
3 文字入力が終わったら 完了 を選ぶ



お知らせ

- 入力できる字数は、項目によって異なります。詳しくは、各項目の説明をご覧ください。
- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。
  例：名称検索（P.54）で入力できるのは、「ひらがな」のみです。
- **デジタルTVの文字入力のしかたについて**
  - ・基本的な入力方法は上記と同じです。
  - ・漢字は入力できません。

ひらがな/漢字を入力する



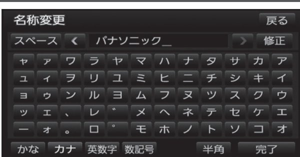
- 無変換：ひらがなのまま、変換されない状態で入力されます。
- 変換：入力した文字が漢字に変換されます。（下記）

漢字に変換する

候補から変換する文字を選ぶ

- ＜ ＞：変換する範囲を変える
- 全確定：全ての変換を完了する

カタカナを入力する



- 半角/全角：半角・全角の切換
  - ・半角を選ぶと、全角が表示されます。

英字/数字を入力する



- 半角/全角：半角・全角の切換
  - ・半角を選ぶと、全角が表示されます。
- 大文字/小文字：大文字・小文字の切換
  - ・大文字を選ぶと、小文字が表示されます。

数字/記号を入力する



- 半角/全角：半角・全角の切換
  - ・半角を選ぶと、全角が表示されます。
- ∧ ∨：ページ切換

お手入れ

本体・液晶画面のお手入れ

- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。（塗装が変質するおそれがあります）
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

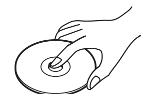
お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので使用しないでください。

ディスクの取り扱い

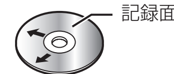
■持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク


シールやテープ、のりが付着している


プリンターで作成したラベル


プロテクトフィルム、保護シート


ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

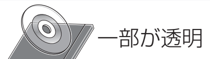
破損・変形したディスク


そっている

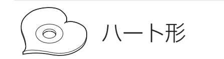

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク


全体が透明


一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク


ハート形


カード型


三角形


バリがある

再生できるディスクについて

メディア＼フォーマット	DVD-VIDEO	DVD-VR	CD-DA	MP3※3	WMA※3
DVD	○	×	×	×	×
DVD-R/RW※1	○	○	×	×	×
CD	×	×	○	×	×
CD-R/RW※2	×	×	○	○	○

※1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
※2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
※3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

お願い

- DVDは、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

お知らせ

- DVDのカラオケ機能は、未対応です。

再生できないディスク

- 8 cmディスク※4
- NTSC以外の方式（PAL、SECAM方式など）で記録されたDVD
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVD
- AVCREC方式で録画されたDVD
- AVCHD方式で撮影したDVD
- DVD-Video、DVD-VR以外のデータを保存したDVD
- ファイナライズされていないDVD
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- クローズセッションされていないCD
- CD-ROM（MP3、WMAを除く）
- CD-RW（MP3、WMA、CD-DAを除く）
- CD-R（MP3、WMA、CD-DAを除く）
- フォトCD※5
- dts-CD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA※6
- VSD
- CVD
- DivX Videoディスク
- Blu-ray Disc
- BD-ROM
- BD-R
- BD-RE
- DualDisc※7
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM　など

※4 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
※5 再生するとディスクの内容が壊れるおそれがあります。
※6 ファーストセッションが音楽データ（CD-DA）の場合は、再生できます。
※7 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

DVDに記載されているマークについて

■ リージョン番号

発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられた番号。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。

- **本機のリージョン番号は、「2」です。**
  ディスクに「2」（2を含むもの）または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ（横：縦の比）※8

4：3の標準サイズ



レターボックス



16：9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準（4：3）のときは、レターボックスで再生されます。



モニターの画面サイズが標準（4：3）のときは、パン＆スキャンで再生されます。



※8 モニターに映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

DVD-R/RWディスクについて

DVDフォーマット（DVD-Video、DVD-VR）以外のデータを保存したDVD-R/RWディスクは再生できません。

片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

CD-R/RWディスクについて

CD-DA、MP3、WMA以外のデータを保存したCD-R/RWディスクは、再生できません。

ディスクの使用上の注意書をよく読んでお使いください。

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

データ作成時の留意点

SD動画ファイルについて

自宅で録画したテレビ番組※1、市販のSD動画ソフト、ビデオカメラなどで撮影した動画※2を再生できます。

※1 当社製HDDレコーダーなどで録画した番組を、SD VIDEO規格でSDメモリーカードに保存したもの。
他にも、録画機能付きハイビジョンテレビ・ポータブルテレビ・携帯電話などで録画ができます。
※2 当社製デジタルビデオカメラなどで撮影したAVCHD形式の動画。

■本機で再生できるビデオファイル

- SD VIDEO規格
  (ISDB-T Mobile Video Profile)準拠
  SD VIDEO規格
  (H.264 Mobile Video Profile)準拠
  AVCHD規格※3準拠
  ※3 AVCHD 3D/Progressiveには対応していません。
- 圧縮方式　：MPEG-4 AVC/H.264
- ファイル数：99まで
- 容　　量　：1ファイルにつき4 GBまで
- 再生時間　：1ファイルにつき26.5時間まで

データ作成時の留意点

MP3/WMAファイルについて

本機では、CD-R/RW・SDメモリーカード・USBメモリーに保存したMP3/WMAファイルを再生することができます。

■ MP3とは

MPEG1 Audio Layer3の略称。MPEGは、ビデオCDなどに採用の映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

- MP3PRO、MP3iは再生できません。

■ WMAとは

Windows Media™ Audioの略称。WMAは、米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式のひとつで、MP3とほぼ同等の音質を保ちながら、MP3の約半分のファイルサイズに圧縮ができます。

- WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceは、再生できません。

お願い

- **拡張子は、正しく付けてください**
  MP3ファイル以外のファイルに拡張子「mp3(MP3)」を、WMAファイル以外のファイルに拡張子「wma(WMA)」を付けないでください。拡張子が正しくない場合や、拡張子を付けていない場合は、本機で再生できません。

お知らせ

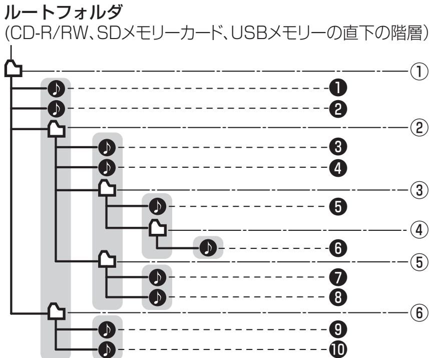
- 本機には、エンコーダソフトやライティングソフトは付属していません。
- 再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。
- CD-R/RWドライブ、SDメモリーカードリーダー/ライター、USBメモリーの相性やエンコーダ、ライティングソフトの種類・バージョンなどによって、正常な再生や表示ができない場合があります。
- 多くの階層や複雑な構成でデータを作成すると、再生までに時間がかかる場合があります。必要のないファイルやフォルダは、書き込まないようにしてください。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- プレイリスト機能には対応していません。

再生順序について

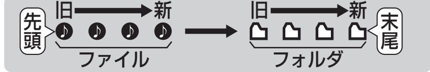
MP3/WMAファイルが入ったフォルダのみ本機に表示されます。

■ 階層と再生順序のイメージ

再生順序：♪ ファイル ❶〜❿
フォルダ ①〜⑥



同じ階層(　で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ替えて再生します。(下記)



- ファイルやフォルダを追加・削除・移動などをしたときの操作状況によっては、書き込まれた日時順にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーでも、使用する機器(プレーヤー)により異なる場合があります。
- ライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。

タイトル表示について

- タグ情報がある場合は、曲名などを表示します。
- 本機のGracenoteデータベースを利用したアルバム名・曲名などの検索表示はできません。

SDメモリーカード

- **SDメモリーカードは使用する前に本機で初期化(P.166)するか、パソコンで「フォーマッター」を使って初期化(P.26)してください。**
- **SDメモリーカードの「PRIVATE」フォルダに、MP3/WMAファイルを保存しないでください。「PRIVATE」フォルダ内のMP3/WMAファイルは再生されません。**

CD-R/RW

ISO9660レベル1/レベル2またはRomeo、Jolietに準拠した形式でCD-R/RWに保存してください。

- ISO9660フォーマットとはファイルおよびフォルダに関する論理フォーマット(国際標準規格)で、下記の対応表のような文字数制限などがあります。
- Romeo・JolietとはWindows上で使うための、ファイル・フォルダに関する論理フォーマットです。
- 詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

お知らせ

- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク(CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど)は、正常再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。

USBメモリー

■ 本機で再生できるUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- ファイルシステム：FAT 16、32
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの
- USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0(12 Mbps)

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、動作しない場合があります。

MP3/WMA対応表

項目	内容	
対応規格	・MP3(MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3 LSF)　・WMA	
最大階層	8階層	
最大フォルダ数	3000(ルートフォルダおよび再生対象ファイルがない空フォルダも含む)	
最大ファイル数	・CD-R/RW：255　・SDメモリーカード、USBメモリー：9999(1フォルダ内：255)	
最大表示文字数	CD-R/RW	・フォルダ名/ファイル名：半角32文字(全角16文字) ・再生画面：半角24文字(全角12文字)
	SDメモリーカード USBメモリー	・フォルダ名：半角27文字(全角13文字) ・ファイル名：半角32文字(全角16文字) ・再生画面：半角24文字(全角12文字)
MP3		
ビットレート サンプリング周波数	MPEG1 LAYER3 32〜320 kbps　32、44.1、48 kHz	MPEG2 LAYER3 LSF 8〜160 kbps　16、22.05、24 kHz
	VBR(可変ビットレート)対応	
チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル	
ID3タグ	Ver1.0、1.1、2.2、2.3	
WMA		
ビットレート サンプリング周波数	VBR(可変ビットレート)対応	
	WMA7 32 kbps-32 kHz　48 kbps-32 kHz　64 kbps-44.1 kHz　96 kbps-44.1 kHz　128 kbps-44.1 kHz WMA8 16 kbps-16、22.05 kHz-1 ch　20 kbps-22.05、32 kHz-1 ch　20 kbps-16、22.05 kHz　22 kbps-22.05 kHz 32 kbps-44.1 kHz-1 ch　32 kbps-22.05、32、44.1 kHz　40 kbps-32 kHz　48 kbps-44.1 kHz-1 ch 48 kbps-32、44.1 kHz　64 kbps-44.1 kHz　80 kbps-44.1 kHz　96 kbps-44.1 kHz　128 kbps-44.1、48 kHz 160 kbps-44.1、48 kHz　192 kbps-44.1、48 kHz WMA9 16 kbps-16、22.05 kHz-1 ch　20 kbps-22.05、32、44.1 kHz-1 ch　20 kbps-22.05 kHz　22 kbps-16、22.05 kHz 32 kbps-44.1 kHz-1 ch　32 kbps-22.05、32、44.1 kHz　40 kbps-32 kHz　48 kbps-44.1 kHz-1 ch　48 kbps-32、44.1 kHz 64 kbps-44.1、48 kHz　80 kbps-44.1 kHz　96 kbps-44.1、48 kHz　128 kbps-44.1、48 kHz 160 kbps-44.1、48 kHz　192 kbps-44.1、48 kHz　VBR-44.1、48 kHz	
WMAタグ	ASF-HEADER対応	

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote,Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

● エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア(以下「Gracenote ソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenote データ」とする)などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

MD5 Message-Digest Algorithm

Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

BLUETOOTHについて

■使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

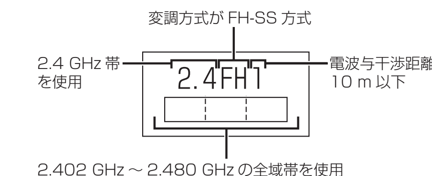
> 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。
>
> 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
>
> 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。(P.211)

■機器設定(無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■周波数表示の見方(製品銘板に記載)



■使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■使用制限

- 全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
  - ・BLUETOOTH Audio
    →Advanced Audio Distribution Profile(A2DP)
    →Audio/Video Remote Control Profile(AVRCP)
  - ・ハンズフリー通話
    →Hands-Free Profile(HFP)
  - ・電話帳転送
    →Object Push Profile(OPP)または Phone Book Access Profile(PBAP)
  - ・「ここいこ♪」/「Drive P@ss」
    →Serial Port Profile(SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

DVD言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称
0101	アファル語
0102	アブハズ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0405	ドイツ語
0426	ブータン語
0512	ギリシャ語
0514	英語
0515	エスペラント語
0519	スペイン語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0618	フランス語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガリシア語
0714	グァラニ語
0721	グジャラート語
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	インターリンガ
0905	インターリング

コード	言語名称
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0920	イタリア語
0923	ヘブライ語
1001	日本語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1115	韓国語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラーティー語
1319	マレー語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1412	オランダ語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オロモ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	パシュトー語
1620	ポルトガル語
1721	ケチュア語
1813	レトロマンス語
1814	ルンディ語
1815	ルーマニア語

コード	言語名称
1821	ロシア語
1823	ルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンゴ語
1908	セルビアクロアチア語
1909	シンハラ語
1911	スロバキア語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	スワティ語
1920	ソト語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	ティグリニア語
2011	トルクメン語
2012	タガログ語
2014	ツワナ語
2015	トンガ語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベク語
2209	ベトナム語
2215	ボラピューク語
2315	ウォロフ語
2408	コサ語
2515	ヨルバ語
2608	中国語
2621	ズールー語

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自車位置測位の仕組み

■GPS（Global Positioning System）

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。本機ではこのGPS衛星の電波を受信して自車の位置を測位します。

■現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所（GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所）で、2分程度で測位します。
電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

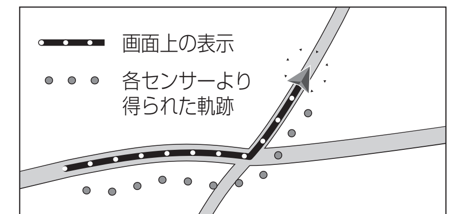
■準天頂衛星「みちびき」

宇宙航空研究開発機構（JAXA）によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。米国のGPS衛星に加え、日本の真上から電波を送る「みちびき」によって、受信の難しいビル街や山間部でも測位が可能になり、さらに測位の精度が向上します。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり・電波を利用できなくなることがあります。

■マップマッチング

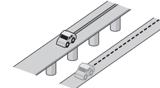
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自車マークを表示させる機能です。



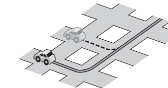
自車位置精度について

走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

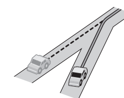
- 高速道路と一般道路が近くにある



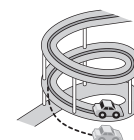
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF（電源OFF）状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

自車位置精度について(続き)

GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で3Dセンサー補正の状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面で3Dセンサー補正の センサーリセット を選んでください。(P.18)
  - ・別の車に載せかえた
  - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。地図の主なデータ収録地域は、首都高速、名古屋高速、阪神高速、広島高速、北九州高速、福岡高速、東京外環自動車道、京葉道路、東京湾アクアライン連絡道、第三京浜道路、保土ヶ谷バイパス、小田原厚木道路、名古屋第二環状自動車道、伊勢湾岸自動車道、近畿自動車道、第二京阪道路、昭和通り(東京都)、国道23号(愛知県)、新御堂筋(大阪府)です。

ルート探索・ルート案内について

次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。(P.197)複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例:「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・主要施設・周辺ジャンル検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

周辺ジャンル検索する範囲

基準点を中心に、施設を最大200件表示します。

■ルート沿いの施設を探す場合(ルートサイド検索)

基準点付近のルート沿いの施設を探します。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。
http://guide2.e-mapcode.com/

DSRCについて

DSRCを受信するためには、別売のDSRC車載器が必要です。

■DSRCの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路のDSRCを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、DSRCの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/電波・光ビーコンについて

電波・光ビーコンを受信するためには、別売のVICSビーコンユニットが必要です。

■FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■電波ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。)
- アンテナの上に物を置く

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

■光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター
受付時間　9：30～17：45
（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
電話番号　0570－00－8831
- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号　03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位（以下、VICSリンクと称します）を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図データベースについて

地図データベースについて

- いかなる形式においても著作者に無断でこの全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、（一財）日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 13-113）
  ©2013 一般財団法人 日本デジタル道路地図協会
  2013年3月発行データ使用
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図50 mメッシュ（標高）を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認 承認番号 平25情使、第460-003号）
- この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- 本地図データは、（一財）日本デジタル道路地図協会、（株）ゼンリン、（株）昭文社、（株）トヨタマップマスターの地理情報に基づいて、パナソニック（株）が2014年7月に作成したものです。
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは、2013年10月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- この地図に使用している交通規制データを無断で複写複製、加工または改変することはできません。
- この地図に利用しているVICSリンクデータベースは（一財）日本デジタル道路地図協会と（公財）日本交通管理技術協会がその著作権を有します。
- この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータに基づき作成したものを使用しています。
- この地図に使用しているボトルネック踏切データは、国土交通省のデータに基づき作成したものを使用しています。

お知らせ

- この地図データは、パナソニックカーナビステーション CN-AS300D/CN-AS300WD専用です。
- この地図データは、調査・作成時期などの都合で、現状のものと異なる場合があります。また、その後の道路の変更、施設・住所の移転、住所表示の変更があった部分については、現状のものと異なる場合があります。
- この地図データは、災害の影響による道路状況や施設情報等の変化については反映されていない場合があります。
- この地図データを無断で複製、複写することを禁止します。
- この地図データを業務用に使用することはできません。
- この地図データがお客様の特定の目的に適合することを当社は保証するものではありません。
- この地図データの内容は予告なく変更することがあります。
- この地図データの誤字・脱字・位置ずれなどの表記または内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- この地図データにより、お客様にいかなる損害が発生したとしても、当社は一切の責任を負いかねます。

市街地図について

- エリアにより（主に都市周辺部において）異なる地図データを使用しています。そのため、地図の接合部において地図表示の方法に相違がある場合があります。（接合部において、色の違い、道路・鉄道・施設等の表現の相違が生じる場合があります。）
- 市街地図には、ルート探索できない道路も表示されます。

電話番号検索/名称（施設名）検索について

- 施設名称、位置等のデータは、電話帳データをもとに整備を行っていますが、電話帳データに登録されている施設データの内容によっては、検索した施設がお客様の意向に沿わない場合があります。
  例：
  1. その施設そのものが表示される（広大な敷地を有する施設等においては、適切な場所を表示しない場合があります。）
  2. その施設を管理している施設が表示される
  3. その施設の連絡先（事務所等）が表示されるなど
- 電話番号検索は、11桁までの番号に対応しています。
- 市外局番は、2014年1月変更分まで対応しています。
- 検索された個人宅は、プライバシー保護のため住所表示は行いません。
- 市外・市内局番は、必ず入力してください。
- PHS、携帯電話は検索対象外です。ただし、該当する場所を登録ポイントとして登録し、電話番号を一緒に登録している場合は、電話番号検索から検索することができます。（最大11桁まで）
- 公開電話番号および登録者のデータは（株）トヨタマップマスターが2014年3月版ハローページ（個人・法人含む）および2014年1月版タウンページに収録の情報に基づいて作成した約2390万件のデータを使用しています。
- NTTハローページおよびタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合があります。
- **本機の個人情報について**
  本機には、電話番号検索などの機能を利用するため、50音順電話帳（ハローページ）および職業別電話帳（タウンページ）に掲載されております公開電話番号登録者氏名、電話番号、住所の個人情報が使用されています。当該個人情報に対するお問い合わせなどにつきましては、お客様ご相談センターへご連絡ください。

フェリー航路について

全てのフェリー航路を収録しているものではありません。

住所検索について

- 住所索引データは、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。
- 住所索引データには、通称の住所名称は収録していません。
- 住所索引データの整備状況により、周辺部分までしか検索できない場合があります。
- 同一市区町村に同じ名称の大字名、小字名が複数存在するときは、同じ地点を検索する場合があります。
- 住所索引データには、個人宅以外の事業所などのデータも含まれています。
- 複数の世帯が同じ住所の場合は、各世帯までの検索はできません。

抜け道データについて

抜け道データは、トヨタマップマスターが（株）昭文社発行の「渋滞ぬけみちデータ」に基づき作成したものを使用しています。

- 抜け道データ収録エリア
  関東（2014年1月現在）
  名古屋・中部（2014年1月現在）
  京阪神（2014年1月現在）
- 抜け道は、推奨ルートではありません。実際の走行に当たっては、交通規制や道路標識に従って走行してください。また、抜け道を通っても早く到着するとは限りません。
- （株）昭文社のぬけみちデータによるもので、全ての抜け道を収録しているものではありません。

高速・有料道路料金について

- 案内される金額は2014年3月現在の料金です。これ以降に開通、料金変更した道路については実際に請求される金額と異なる場合があります。
- 案内される金額は、現金払いの場合の料金です。
- 案内される金額は割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。

ETCに関するデータについて

ETC料金所の運用によって、ETC拡大図の案内が実際と異なる場合があります。（閉鎖中や、一般レーンとして運用中のレーンを、ETCレーンとして案内する場合があります。）

地図データベースについて

市街地図の収録エリア

北海道	室蘭市、江別市、砂川市、北広島市、札幌市、小樽市、赤平市、夕張市、網走市、美唄市、紋別市、釧路市、石狩市、函館市、旭川市、帯広市、北見市、岩見沢市、伊達市、留萌市、苫小牧市、稚内市、芦別市、士別市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、歌志内市、深川市、名寄市、登別市、恵庭市、音更町、富良野市、北斗市、釧路町、新十津川町、南幌町、幕別町、当別町、七飯町、長沼町、鷹栖町、東神楽町、芽室町
青森	田舎館村、おいらせ町、八戸市、青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、弘前市、平川市、三沢市、むつ市、藤崎町、南部町、つがる市、六戸町、五戸町
岩手	矢巾町、滝沢市、奥州市、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、金ヶ崎町、平泉町
宮城	名取市、多賀城市、岩沼市、七ヶ浜町、利府町、塩竈市、大河原町、富谷町、仙台市、東松島市、角田市、柴田町、亘理町、石巻市、大崎市、気仙沼市、白石市、松島町、色麻町、加美町、栗原市、登米市、涌谷町、大和町、村田町、大郷町
秋田	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、仙北市
山形	三川町、天童市、河北町、寒河江市、中山町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大石田町、高畠町
福島	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、西郷村、南相馬市、伊達市、田村市、三春町、桑折町、鏡石町
茨城	つくばみらい市、常総市、古河市、結城市、取手市、ひたちなか市、守谷市、坂東市、東海村、八千代町、五霞町、境町、利根町、龍ヶ崎市、潮来市、水戸市、下妻市、つくば市、筑西市、土浦市、日立市、牛久市、大洗町、那珂市、阿見町、かすみがうら市、鹿嶋市、常陸太田市、石岡市、高萩市、北茨城市、美浦村、河内町、笠間市、小美玉市、茨城町
栃木	小山市、下野市、真岡市、上三川町、壬生町、野木町、宇都宮市、足利市、栃木市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、佐野市、芳賀町
群馬	伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、吉岡町、富岡市、前橋市、桐生市、渋川市、高崎市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、甘楽町、草津町、昭和村、中之条町、みなかみ町
埼玉	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、白岡市、伊奈町、三芳町、滑川町、川島町、吉見町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町、ふじみ野市、嵐山町、鳩山町、本庄市、毛呂山町、美里町、寄居町、秩父市、飯能市、神川町、小川町、横瀬町
千葉	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、富里市、酒々井町、白井市、芝山町、東金市、袖ヶ浦市、長生村、栄町、館山市、木更津市、匝瑳市、旭市、富津市、成田市、大網白里市、山武市、銚子市、市原市、香取市、勝浦市、鴨川市、君津市、南房総市、いすみ市、白子町、横芝光町、睦沢町、長柄町、長南町
東京	足立区、荒川区、板橋区、江戸川区、大田区、葛飾区、北区、江東区、品川区、渋谷区、新宿区、杉並区、墨田区、世田谷区、台東区、中央区、千代田区、豊島区、中野区、練馬区、文京区、港区、目黒区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、青梅市、あきる野市
神奈川	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、真鶴町、湯河原町、箱根町、松田町、相模原市、秦野市、南足柄市、山北町、清川村
新潟	弥彦村、田上町、新潟市、聖籠町、燕市、見附市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、村上市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、妙高市、湯沢町、佐渡市、刈羽村
富山	射水市、滑川市、高岡市、小矢部市、砺波市、舟橋村、黒部市、富山市、魚津市、氷見市、南砺市、入善町
石川	野々市市、川北町、内灘町、津幡町、能美市、加賀市、金沢市、かほく市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、羽咋市、白山市、穴水町
福井	あわら市、鯖江市、坂井市、福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市、勝山市、越前町、永平寺町
山梨	昭和町、中央市、西桂町、甲斐市、甲州市、山梨市、甲府市、富士吉田市、都留市、大月市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、市川三郷町、富士河口湖町、富士川町、北杜市、忍野村
長野	小布施町、坂城町、小諸市、千曲市、御代田町、中野市、諏訪市、軽井沢町、安曇野市、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、下諏訪町、山形村、高山村、山ノ内町、南箕輪村、木曽町、野沢温泉村、信濃町、東御市、南木曽町、朝日村、飯綱町
岐阜	岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、安八町、北方町、坂祝町、富加町、可児市、関ケ原町、輪之内町、美濃加茂市、土岐市、海津市、神戸町、垂井町、恵那市、大垣市、高山市、中津川市、関市、飛騨市、美濃市、瑞浪市、山県市、川辺町、養老町、郡上市、下呂市、本巣市、大野町、八百津町、御嵩町
静岡	清水町、函南町、熱海市、磐田市、袋井市、焼津市、三島市、伊東市、湖西市、伊豆の国市、沼津市、富士市、下田市、長泉町、藤枝市、静岡市、浜松市、富士宮市、掛川市、御殿場市、裾野市、河津町、伊豆市、島田市、森町、松崎町、西伊豆町、東伊豆町、南伊豆町、小山町
愛知	名古屋市、豊橋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、北名古屋市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、愛西市、弥富市、あま市、みよし市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、豊川市、岡崎市、新城市、田原市、豊田市
三重	四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、鈴鹿市、桑名市、名張市、菰野町、伊勢市、亀山市、松阪市、伊賀市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、津市、玉城町、紀宝町

滋賀	近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、栗東市、豊郷町、彦根市、大津市、米原市、愛荘町、竜王町、東近江市、多賀町、長浜市、湖南市、甲良町
京都	宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町、木津川市、宇治田原町、亀岡市、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、与謝野町、笠置町、南山城村
大阪	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫	神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、太子町、小野市、加西市、猪名川町、姫路市、相生市、赤穂市、西脇市、三木市、たつの市、加東市、洲本市、三田市、豊岡市、福崎町、朝来市、丹波市、篠山市、南あわじ市
奈良	大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、奈良市、桜井市、高取町、明日香村、五條市、山添村、吉野町、下市町
和歌山	和歌山市、岩出市、有田市、海南市、橋本市、御坊市、白浜町、田辺市、新宮市、紀美野町、紀の川市、美浜町、みなべ町、上富田町、高野町、湯浅町
鳥取	境港市、日吉津村、米子市、鳥取市、倉吉市、伯耆町、三朝町
島根	松江市、安来市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、江津市、津和野町
岡山	玉野市、早島町、倉敷市、笠岡市、岡山市、里庄町、井原市、津山市、備前市、総社市、高梁市、新見市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、真庭市、矢掛町、美咲町、吉備中央町
広島	府中町、海田町、熊野町、坂町、広島市、竹原市、福山市、呉市、東広島市、大竹市、尾道市、廿日市市、三原市、府中市、三次市、庄原市
山口	和木町、山陽小野田市、防府市、下松市、光市、柳井市、下関市、宇部市、山口市、萩市、長門市、美祢市、周南市、平生町、岩国市、田布施町
徳島	松茂町、北島町、徳島市、小松島市、藍住町、鳴門市、石井町、阿南市、佐那河内村、板野町
香川	坂出市、宇多津町、琴平町、善通寺市、丸亀市、高松市、さぬき市、直島町、観音寺市、東かがわ市、多度津町、三木町、まんのう町、三豊市、綾川町
愛媛	松前町、松山市、八幡浜市、上島町、宇和島市、伊予市、今治市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、東温市、砥部町
高知	高知市、南国市、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市
福岡	北九州市、福岡市、筑後市、大川市、中間市、小郡市、春日市、大野城市、古賀市、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、遠賀町、小竹町、大木町、広川町、糸田町、大任町、吉富町、太宰府市、苅田町、大牟田市、田川市、柳川市、那珂川町、鞍手町、行橋市、飯塚市、宗像市、久留米市、直方市、筑紫野市、みやま市、宇美町、篠栗町、川崎町、福津市、糸島市、筑前町、大刀洗町、八女市、朝倉市、豊前市、香春町、赤村、上毛町、嘉麻市、みやこ町、宮若市、岡垣町、桂川町、築上町
佐賀	鳥栖市、基山町、みやき町、上峰町、神埼市、多久市、佐賀市、唐津市、伊万里市、武雄市、鹿島市、吉野ヶ里町
長崎	長与町、時津町、佐世保市、大村市、長崎市、島原市、佐々町、諫早市、五島市、平戸市、松浦市、雲仙市、東彼杵町、波佐見町
熊本	合志市、菊陽町、嘉島町、熊本市、荒尾市、長洲町、益城町、玉東町、玉名市、八代市、山鹿市、人吉市、水俣市、天草市、菊池市、宇土市、大津町、御船町、相良村、山江村、和水町、南小国町
大分	大分市、別府市、杵築市、中津市、宇佐市、臼杵市、日田市、佐伯市、津久見市、竹田市、豊後高田市、由布市、日出町
宮崎	宮崎市、高鍋町、新富町、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、門川町、国富町
鹿児島	鹿児島市、枕崎市、奄美市、南さつま市、薩摩川内市、鹿屋市、霧島市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、伊佐市、姶良市、南九州市
沖縄	那覇市、宜野湾市、浦添市、豊見城市、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町、うるま市、糸満市、沖縄市、嘉手納町、宮古島市、石垣市、名護市、南城市、恩納村、金武町、読谷村

- 全面積カバー率
  - 太字　：95 %以上
  - 細字　：80 %以上
  - 斜太字：50 %以上
  - 斜細字：50 %未満[中心部（役所）を含む]
  - 斜細字：50 %未満[中心部（役所）を含まない]

  を収録

ジャンル一覧

企業名：2014年1月現在

一覧の見かた

■ 分類
● ジャンル
・小分類

主要施設一覧

● 店
・デパート
・ショッピングモール
・アウトレットモール

● 車
・アウディ
・アルファロメオ
・いすゞ
・キャデラック
・クライスラー
・ジープ
・シトロエン
・シボレー
・ジャガー
・スズキ
・スバル
・ダイハツ
・トヨタ店
・トヨタカローラ
・トヨペット
・ネッツトヨタ
・レクサス
・日産
・UDトラックス
・BMW
・日野自動車
・フィアット
・フェラーリ
・フォード
・フォルクスワーゲン
・プジョー
・ベントレー
・ポルシェ
・ボルボ
・ホンダ
・マセラティ
・マツダ
・オートザム
・三菱自動車
・三菱ふそう
・MINI
・メルセデスベンツ
・ヤナセ
・ランドローバー
・ランボルギーニ
・ルノー
・ロータス
・イエローハット
・オートアールズ
・オートウェーブ
・オートバックス
・コクピット
・ジェームス
・タイヤ館
・モンテカルロ
・ロータスクラブ

● 宿泊
・ホテル

● 遊び
・ゴルフ場
・温泉
・遊園地
・動植物園
・水族館
・スキー場
・キャンプ場
・マリーナ
・競技場
・公営娯楽

● 公共
・役所
・警察署
・公園

● 医療
・病院

● 交通
・駅
・空港
・港
・高速IC・SA・PA
・有料IC・SA・PA
・道の駅
・交差点

● 文化
・名所・旧跡
・城・城跡
・神社・寺
・美術・博物館
・資料館
・ホール
・国際展示場

● 他
・式場

周辺ジャンル一覧

■ 食べる・飲む

● 食べる・飲む全て

● レストラン

● ファミリーレストラン
・ファミリーレストラン全て
・藍屋
・大戸屋
・CASA
・ガスト
・グラッチェガーデンズ
・COCO' S
・サイゼリヤ
・さと
・サンマルク
・ジョイフル
・ジョナサン
・ジョリーパスタ
・デニーズ
・トマト&オニオン
・バーミヤン
・華屋与兵衛
・ビッグボーイ
・びっくりドンキー
・ファミール
・フォルクス
・フレンドリー
・夢庵
・レッドロブスター
・ロイヤルホスト

● ファストフード
・ファストフード全て
・ケンタッキー
・サブウェイ
・すき家
・ドムドムバーガー
・なか卯
・ファーストキッチン
・フレッシュネスバーガー
・マクドナルド
・松屋
・ミスタードーナツ
・モスバーガー
・吉野家
・ロッテリア

● うどん・そば
・うどん・そば全て
・うどん・そば店
・立食うどん・そば

● 寿司
・寿司全て
・寿司
・回転寿司
・持ち帰り寿司

● ラーメン

■ 食べる・飲む（続き）

● カレー

● パスタ

● お好み焼・たこ焼
・お好み焼・たこ焼全て
・お好み焼
・たこ焼

● イタリア料理

● フランス料理

● 中華料理
・中華料理全て
・広東料理
・四川料理
・上海料理
・北京料理
・ぎょうざ・しゅうまい

● 各国料理
・各国料理全て
・インド料理
・スペイン料理
・タイ料理
・メキシコ料理
・ロシア料理
・韓国料理
・台湾料理
・朝鮮料理

● 割ぽう・懐石
・割ぽう・懐石全て
・割ぽう・料亭
・懐石料理

● 和食
・和食全て
・うなぎ
・おでん
・てんぷら
・ろばた焼
・京料理
・郷土料理
・沖縄料理
・小料理
・鳥料理
・料理・仕出し
・屋形船

● 肉料理
・肉料理全て
・焼肉・ホルモン
・ステーキ
・とんかつ
・焼鳥
・串カツ
・牛たん
・ジンギスカン

● 海鮮料理
・海鮮料理全て

■ 食べる・飲む（続き）

● 海鮮料理（続き）
・かき料理
・かに料理
・ふぐ料理
・魚料理

・鍋料理
・鍋料理全て
・しゃぶしゃぶ
・すきやき
・ちゃんこ
・もつ鍋

● 弁当
・弁当全て
・持ち帰り弁当
・弁当・仕出し

● コーヒー・喫茶
・コーヒー・喫茶全て
・喫茶店
・コーヒー専門店
・紅茶専門店
・中国茶専門店
・甘味処
・茶屋
・漫画喫茶
・インターネットカフェ
・カラオケ喫茶

● バー・酒場
・バー・酒場全て
・スナック
・バー・クラブ
・パブ・ビストロ
・ビアホール
・居酒屋

■ 買う・借りる

● 買う・借りる全て

● コンビニエンスストア
・コンビニエンスストア全て
・ココストア
・サークルK
・サンクス
・スパー
・スリーエフ
・セイコーマート
・セーブオン
・セブンイレブン
・デイリーヤマザキ
・ファミリーマート
・ポプラ
・ミニストップ
・ヤマザキショップ
・ローソン
・ローソンストア100

■ 買う・借りる（続き）

● スーパーマーケット

● ディスカウントストア

● デパート

● ショッピングモール

● アウトレットモール

● ホームセンター

● CD・ビデオ
・CD・ビデオ全て
・CDレコード店
・CD・ビデオレンタル
・中古CDレコード店

● レンタルショップ
・レンタルショップ全て
・レンタルショップ
・貸衣装

● リサイクルショップ
・リサイクルショップ全て
・リサイクルショップ
・古着

● ケーキ・菓子・パン
・ケーキ・菓子・パン全て
・アイスクリーム
・せんべい
・パン
・菓子
・洋菓子
・和菓子

● 花・園芸
・花・園芸全て
・園芸
・植木
・生花

● 100円ショップ

● 雑貨
・雑貨全て
・アクセサリー
・ファンシー
・日用雑貨
・輸入雑貨
・贈答品
・みやげ
・民芸品

● 化粧品

● 文具・事務用品

● おもちゃ
・おもちゃ全て
・ゲームソフト
・ラジコン
・模型

● 薬
・薬全て
・漢方薬・薬草
・薬局・薬店

■ 買う・借りる（続き）

● 衣服
・衣服全て
・紳士服洋品
・婦人服洋品
・子供服
・呉服
・ジーンズ
・ブティック
・ランジェリー
・ベビー・マタニティー

● スポーツ用品
・スポーツ用品全て
・アウトドア用品店
・ゴルフ用品店
・サーフ用品店
・スキー用品店
・ダイビング用品店
・テニス用品店
・釣具・釣り餌

● 靴・鞄
・靴・鞄全て
・靴
・鞄

● 宝石・貴金属

● カメラ・時計
・カメラ・時計全て
・カメラ
・時計

● 眼鏡・コンタクト
・眼鏡・コンタクト全て
・眼鏡
・コンタクト

● 電化製品
・電化製品全て
・エディオン
・ケーズデンキ
・コジマ
・コスモスベリーズ
・Joshin
・ニノミヤ
・ノジマ
・ビックカメラ
・100満ボルト
・ベイシア電器
・ベスト電器
・マツヤデンキ
・ヤマダ電機
・ヨドバシカメラ
・ラオックス

● 情報機器
・情報機器全て
・パソコン
・携帯電話

■ 買う・借りる（続き）

● 食料品
・食料品全て
・食肉
・鮮魚・海産物
・野菜・果物
・惣菜
・米
・酒
・茶
・健康・自然食品
・生協

● 本
・本全て
・書店
・古本

● 家具・インテリア

● ガラス・陶磁器
・ガラス・陶磁器全て
・ガラス食器
・陶磁器

● チケット
・チケット全て
・チケット売買
・プレイガイド

● その他買う・借りる
・その他買う・借りる全て
・手芸品
・仏壇仏具神具
・たばこ

■ 泊まる

● 泊まる全て

● ホテル

● 旅館

● ビジネスホテル

● 公共宿舎

● 民宿

● ペンション

● カプセルホテル

● ブティックホテル

● その他泊まる

■ 見る・遊ぶ

● 見る・遊ぶ全て

● 旅行
・旅行全て
・観光案内
・旅館等予約センター
・旅行代理店

● 温泉

● サウナ・風呂
・サウナ・風呂全て
・サウナ

企業名：2014年1月現在

周辺ジャンル一覧

■ 見る・遊ぶ（続き）
● サウナ・風呂（続き）
・温泉浴場
・健康ランド
・銭湯
・スーパー銭湯
● スポーツ施設
・スポーツ施設全て
・競技場
・ゴルフ練習場
・乗馬クラブ
・スカイスポーツ
・スキー場・スノボ場
・スケート場
・スポーツクラブ
・卓球場
・テニスコート
・バッティングセンター
・ビリヤード
・プール
・ボウリング場
・ボクシングジム
・モータースポーツ
● カラオケ
● ゲームセンター
● 動・植物園
・動・植物園全て
・動物園
・植物園
● 水族館
● ゴルフ場
● 遊園地
● キャンプ場
● ビーチ
● マリーナ
● 娯楽
・娯楽全て
・オートレース
・ボートレース
・競馬場
・競輪場
・場外車馬券売り場
・パチンコ・スロット店
● 劇場
● 映画館
● ライブハウス
● 趣味
・趣味全て
・占い
・ペットショップ
・ペットホテル
・ペット美容室
・囲碁・将棋

■ 見る・遊ぶ（続き）
● 趣味（続き）
・書画骨董品商
・雀荘
・釣り船
・釣堀・管理釣場

■ 車関連施設
● 車関連施設全て
● ガソリンスタンド
・ガソリンスタンド全て
・出光石油
・エッソ石油
・エネオス
・キグナス石油
・コスモ石油
・JA-SS
・昭和シェル石油
・ゼネラル石油
・SOLATO
・ホクレン
・三井石油
・モービル石油
● 駐車施設
・駐車施設全て
・駐車場
・パーキングメータ
● カー用品
・カー用品全て
・アップガレージ
・イエローハット
・オートアールズ
・オートウェイ
・オートウェーブ
・オートバックス
・コクピット
・ジェームス
・タイヤ館
・モンテカルロ
● カーディーラー
・カーディーラー全て
・アウディ
・アルファロメオ
・いすゞ
・キャデラック
・クライスラー
・ジープ
・シトロエン
・シボレー
・ジャガー
・スズキ
・スバル
・ダイハツ
・トヨタ

■ 車関連施設（続き）
● カーディーラー（続き）
・レクサス
・日産
・UDトラックス
・BMW
・日野自動車
・フィアット
・フェラーリ
・フォード
・フォルクスワーゲン
・プジョー
・ポルシェ
・ボルボ
・ホンダ
・ベントレー
・マセラティ
・マツダ
・三菱自動車
・三菱ふそう
・MINI
・メルセデスベンツ
・ヤナセ
・ランドローバー
・ランボルギーニ
・ルノー
・ロータス
● レンタカー
● 自転車・バイク
・自転車・バイク全て
・自転車
・オートバイ
● 中古車買取
● 自動車整備
・自動車整備全て
・ロータスクラブ
● 鈑金・塗装
● 洗車
● ロードサービス

■ 公共施設
● 公共施設全て
● 役所
● 警察署
● 消防署
● 図書館
● 公園
● 裁判所
● 保健所
● 郵便局

■ 医療機関
● 医療機関全て
● 総合病院

■ 医療機関（続き）
● 病院・医院・診療所
● 眼科
● 形成外科
● 外科
● 肛門科
● 産婦人科・産院
● 歯科・矯正
・歯科・矯正全て
・矯正歯科
・歯科
・歯科口腔外科
・小児歯科
● 耳鼻咽喉科
● 小児科
● 神経科・精神科
● 心療内科
● 整形外科
● 性病科
● 内科
● 泌尿器科
● 皮膚科
● 美容外科
● あん摩・はり・整体
・あん摩・はり・整体全て
・あん摩マッサージ
・カイロ・整体
・はり・きゅう
・接骨・柔道整復
● リハビリ
● 動物病院・獣医師
● その他医療機関

■ 交通機関
● 交通機関全て
● 駅
● 空港
● 港
● 高速IC
● 有料IC
● SA・PA
● 道の駅
● ハイウェイオアシス

■ 文化施設
● 文化施設全て
● 名所・旧跡
● 神社
● 寺
● 教会
● 城・城跡
● 美術館
● 博物館

■ 文化施設（続き）
● 資料館
● ホール
● プラネタリウム
● 天文台
● カルチャーセンター
● 教室
・教室全て
・ギター教室
・ゴルフ教室
・パソコン教室
・スイミング教室
・スキー・スノボ教室
・スポーツ教室
・ダンス教室
・フラメンコ教室
・社交ダンス教室
・テニス教室
・バイオリン教室
・バレエ教室
・ピアノ教室
・フラワーデザイン教室
・英語スクール
・音楽教室
・華道教室
・絵画教室
・書道教室
・乗馬教室
・茶道教室
・着付教室
・陶芸教室
・幼児教室
● 道場
・道場全て
・合気道場
・空手道場
・剣道場
・拳法
・柔道場
・太極拳
・テコンドー道場
・ヨガ

■ 金融機関
● 金融機関全て
・銀行
・銀行全て
・みずほ銀行
・三井住友銀行
・三菱東京UFJ銀行
・りそな銀行
● 信用金庫
● 信用組合
● 農協

■ 金融機関（続き）
● 労働金庫
● その他金融機関

■ 教育施設
● 教育施設全て
● 小学校
● 中学校
● 高等学校
● 高等専門学校
● 大学
● 保育園
● 幼稚園
● 学童保育所
● 盲学校
● 養護学校
● 聾学校

■ 広域避難場所※1

■ その他
● その他全て
● 理容・美容・アロマ
・理容・美容・アロマ全て
・理容店
・美容院
・エステティック
・アロマテラピー
・ネイルサロン
・日焼けサロン
● クリーニング
● コインランドリー
● 写真
・写真全て
・写真館
・写真現像
● 式場
・式場全て
・結婚式場
・斎場・セレモニーホール
・霊園
・ペット霊園・葬祭
● 住宅展示場
● 不動産
● リフォーム
● 車いす・足の不自由な方へ
・車いす・足の不自由な方へ全て
・介護サービス
・福祉施設
・介護福祉用品
・バリアフリートイレ
● 運送
・運送全て

■ その他（続き）
● 運送（続き）
・宅配便運送
・バイク便
・ピアノ運送
・引越運送
・その他運送

※1「施設の名称で探す」(P.54)のジャンル変更時のみ

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

さくいん

商標などについて

- 本製品は、Microsoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Media、およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoft もしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- vicsは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- DSRC、ETCは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- "DVD Logo" は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- BLUETOOTHのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- タウンページ、ハローページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
  - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (http://www.mpegla.com)をご参照ください。



- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- この製品とiPod、iPhoneを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Lightning は、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

- 本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。

仕　様

			AS300	AS300W
電源				
電源電圧			DC12 V (試験電圧 14.4 V)マイナスアース	
消費電流			2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)	
液晶ディスプレイ				
画面寸法(幅×高さ×対角)			7V型ワイド　157 ㎜×82 ㎜×177 ㎜	
映像入力			RGB (ナビゲーション画面)	
画素数			1 152 000 画素 (縦480×横800×3)	
有効画素数			99.99 %	
表示方式			透過型カラーフィルター方式	
駆動方式			TFT (薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式	
使用光源			内部光 (LED)	
タッチパネル			抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
アンプ				
定格出力			18 W×4	
最大出力			50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス			4 Ω (4～8 Ω 使用可能)	
接続端子				
ビデオ入力レベル			映像:NTSC方式　1.0 Vp-p(75 Ω 3.5φ 4極ミニジャック) 音声:ステレオ　2.0 Vrms MAX(3.5φ 4極ミニジャック)	
カメラ入力レベル			映像:NTSC方式　1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
ビデオ出力レベル			映像:NTSC方式　1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
HDMI入力			・HDMI端子:　1系統(19ピン typeA端子) ・対応している映像信号:720p, 1080i, 480p(16:9、4:3) Field Rate: 59.94 Hz, 60 Hz ・対応している音声信号:リニアPCM(最大2 ch、サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)	
ナビゲーションユニット				
外形寸法(幅×高さ×奥行き)			178 ㎜×100 ㎜×183 ㎜ (取付奥行き寸法165 ㎜)	205 ㎜×104 ㎜×176 ㎜ (取付奥行き寸法161 ㎜)
質量			約2.3 kg	
動作温度			－10 ℃～+60 ℃	
DVDプレーヤー				
信号方式			Y=1.0 Vp-p　Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式　1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性		DVD	5 Hz～22 kHz	
		CD	5 Hz～20 kHz	
信号対雑音比(SN比)			90 dB (IHF、A)	
ワウ・フラッター			測定限界以下	
MP3デコーダー	ビットレート	MPEG1	64 kbps～320 kbps	
		MPEG2	64 kbps～160 kbps	
	サンプリング周波数	MPEG1	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	
		MPEG2	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	

FMチューナー	
受信周波数	76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度(SN比、30 dB)	19 dBf
SN比	60 dB
ステレオ分離度	35 dB
実用選択度(±400 kHz)	90 dB以上
AMチューナー	
受信周波数	522 kHz～1 629 kHz
実用感度(SN比、20 dB)	29 dB μV
イメージ妨害比	80 dB以上
地上デジタルTVチューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz～710 MHz (13CH～52CH)
入力信号レベル	－75 dBm～－20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 1 000 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2 402 MHz～2 480 MHz
RF出力	－4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
GPSアンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	26 ㎜×14 ㎜×30 ㎜
質量	約50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)
受信感度	－155 dBm
受信方式	パラレル12チャンネル(最大追尾衛星数20基)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ)	118 ㎜×81 ㎜
質量	約170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

● 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
● 寸法・質量はおおよその数値です。
● イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
● 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
● URLは、予告なく変更になることがあります。

■使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com.jp/support/

パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧なれます。

■修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://panasonic.co.jp/pas/customer/ad_service.html

パナソニック お客様ご相談センター

電話  **0120-50-8729**（ゴー パナソニック）

※ 携帯電話·PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511

※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30（365日）

FAX **045-938-1573**

※ 通信料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30（土·日·祝日·当社休日を除く）

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(P.211) へご連絡ください。

- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 (　　　　　　　　　　)
固有番号	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「拡張ユニット情報」(P.19)で、番号をご確認ください。 (　　　　　　　　　　)

パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社

〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地

YEFM0600536　F0315-0